小橋工業(株)のホームページ(以下、弊社サイト)においては、カタログ·取扱説明書・パーツリスト等の電子データの閲覧、ダウンロードのサービス(以下、本サービス)をご提供しております。

本サービスをご利用の際には、以下の注意事項をご確認ください。

電子データの取扱いについて

電子データの内容について

■本サービスにおいては、弊社製品のカタログ、取扱説明書、パーツリスト等、製品に関する全ての印刷物を網羅するものではありません。

■カタログ、取扱説明書、パーツリストの内容は、製品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。 その為、弊社サイト内に掲載される電子データの内容は、販売店等で配布、掲示されるカタログ、製品購入時に 同梱する取扱説明書、印刷物として存在しているパーツリストの内容とは異なる場合がございます。

表記内容は、発行当時の情報であり、弊社純正部品の名称、小売単価、各営業所の名称、所在地などの情報が 現在と異なる場合があります。

また、製品安全上の取り扱い、環境対応につきましては、製品販売時の法令、規制に適合するものであり、製品販売後の法令、規制の変更内容を反映していない場合があります。予めご了承ください。

著作権について

本サービス内の電子データにつきましては、弊社(小橋工業株式会社)が著作権その他知的財産権を保有します。 無断で他のウェブサイトや印刷媒体に転載することや複製、翻訳等はできません。 但し、お手持ちの製品ご使用の為、1部に限り印刷することができます。

保証について

弊社の製品保証、安全性の保証は製品付属の書面に基づく保証に限られており、弊社サイト内の電子データに基 づく保証は提供いたしません。

お問合せについて

ご使用の製品の取り扱い及び、使用上の安全等に関するお問合せは、ご購入店にご相談頂きますよう、お願いいたします。

免責事項

弊社サイトのご利用に起因するソフトウェア、ハードウェア上の事故その他の損害等につきましても、一切の責任を 負いません。

弊社サイトのご利用に際して生じたお客さまと第三者との間のトラブルにつきましては、一切責任を負いません。 弊社サイトのサービスは予告なく中止、または内容や条件を変更する場合がございます。

以上

ハイパーロータリ

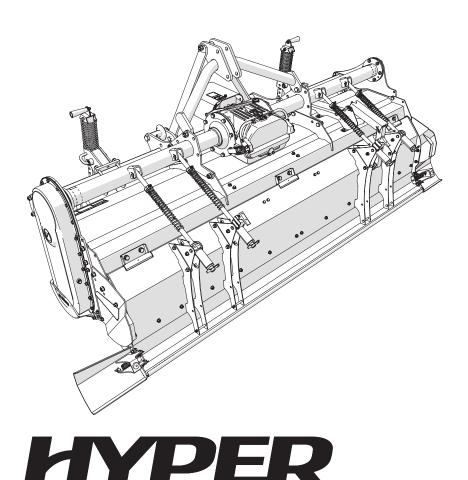
SRV-1 • SRZ-1 シリーズ 取扱説明書

お役立ちガイド

このたびは作業機をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 特に、「安全について」(→ p.4) は、必ずお読みいただき、 安全にお使いください。
- お読みになった後も、必ず作業機の近くに保管し、いつでも読むことができるようにしてください。



KOBASHI

目次

必ず読む▼

はじめに

▶ p.2

詳細目次

▶ p.3

安全について

▶ p.4

使いかた▽

各部の名称

ī ▶ p.13

開梱・組付け

▶ p.15

ジョイントの取付け準備

▶ p.16

トラクタへの装着 OL、3L、4L 仕様 (JIS 規格)

▶ p.17

p.36

トラクタへの装着 2L

2L ▶ **p.27**

移動・圃場への出入り

作業のしかた **▶ p.37**

クイックアシストの操作方法

耕うん爪の取付け

▶ p.50

▶ p.46

保守・点検

▶ p.61

消耗品一覧

▶ p.74

アタッチメント・オプション一覧

▶ p.77

| ' '

格納・運搬・保管 ▶ p.80

必要に応じて▼

主要諸元

トラクタ別装着表 OL、3L、4L(JIS 規格)

S 規格》 **▶ p.93**

トラクタ別装着表 2L

▶ p.98

フロントウエイト装着表

▶ p.109

▶ p.81

異常診断一覧表

▶ p.127

廃棄について

▶ p.129

用語解説

▶ p.130

2024.09 0142234 A00635900-A

はじめに

作業機を操作する前にこの取扱説明書をよく読み、正しい取扱方法を理解してください。この取扱説明書は、 作業機の近くに保管して、操作手順に不安が生じたときにはいつでも読み返せるようにしてください。

使用目的・使用範囲

この作業機は水田・畑の耕うん・砕土整地用です。 使用目的以外の作業や作業機・部品の改造などは、 決してしないでください。故障した場合は、保証の 対象になりません。

取扱上の注意

- 当社は、以下のことを守らないで生じた損害 または傷害に対しては一切責任を負うことが できませんので厳守してください。
 - ・取扱説明書記載の指示事項を守ってください。
 - ・必ず適応トラクタで作業してください。
 - ・作業機・部品を改造しないでください。
 - ・操作・保守作業は、通常必要とされる注意 をして作業してください。
- 危険性に関する警告は、作業機の本体に貼付 けた警告表示ラベル、およびこの取扱説明書 に記載してあります。
- この取扱説明書には、知り得る限りの危険性 を記載しています。この取扱説明書に記載し た警告や指示を守ってください。 また、これら以外にも事故防止対策に関して、 十分な配慮が必要です。
- この取扱説明書は、日本語を母国語とする人 を対象に作成されています。日本語を母国語 としない人がこの作業機を取扱う場合は、必 ずお使いになる方に安全指導を行ってくださ い。

貸出時および譲渡時の注意

- 作業機を譲渡または貸与する場合は、この取 扱説明書を十分理解してから作業するように 指導してください。また、この取扱説明書を 作業機に添付してお渡しください。
- この作業機は国内での使用を前提としていま す。したがって、海外諸国の規格への適用は 保証できません。また、海外諸国では使用言 語が違うため、国外への持ち出し・転売はし ないでください。

取扱説明書について

- この取扱説明書は、作業機の組み立て、操作、 および保守の方法を説明するものです。
- この取扱説明書の内容は作業機の改良のた め、予告なく変更する場合があります。 最新の情報については、当社 Web サイトか らもご確認いただけます。

当社ホームページアドレス https://www.kobashiindustries.com/

- この作業機とこの取扱説明書の図とは異なる ことがあります。 また、作業機内部の説明を容易にするため、 図の一部を省略していることがあります。あ らかじめご了承ください。
- この取扱説明書は著作権を当社が有します。 当社の事前の文書による同意なしに、この取 扱説明書の全体もしくは部分的にも複写、翻 訳しないでください。また、読み取り可能な、 どのような電子装置や機械にも転写しないで ください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合 は、速やかにお買い求めの販売店にご注文く ださい。
- この取扱説明書に記載されている会社名およ び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- さらに詳しい情報が必要となる場合や、ご質 問などがある場合、または内容につき不明な 点がありましたらお買い求めの販売店へお問 い合わせください。

詳細目次

詳細目次3安全について4警告表示について4安全に作業するために4道路走行時の注意10警告表示ラベルと機番プレート11サービスと保証について12各部の名称130L, 3L, 4L 仕様 (JIS 規格)132L 仕様14開梱・組付け15ジョイントの取付け準備16注意事項16切断方法16トラクタへの装着 0L、3L、4L(JIS 規格)17注意事項17大ラクタへの装着21装着後のトラクタとの調整24トラクタへの装着 2L27注意事項27大ラクタからの取外し25トラクタからの取外し30装着後のトラクタとの調整32トラクタからの取外し34移動・圃場への出入り36注意事項36注意事項36	はじめに ・・・・・・・・・・・ 2
警告表示について 4 安全に作業するために 4 道路走行時の注意 10 警告表示ラベルと機番プレート 11 サービスと保証について 12 各部の名称 13 OL, 3L, 4L 仕様 (JIS 規格) 13 2L 仕様 14 開梱・組付け 15 ジョイントの取付け準備 16 注意事項 16 切断方法 16 トラクタへの装着 OL、3L、4L (JIS 規格) 17 注意事項 17 装着前の準備 17 トラクタへの装着 2L 27 注意事項 27 注意事項 27 技意事項 27	詳細目次・・・・・・・3
安全に作業するために4道路走行時の注意10警告表示ラベルと機番プレート11サービスと保証について12各部の名称130L, 3L, 4L 仕様(JIS 規格)132L 仕様14開梱・組付け15ジョイントの取付け準備16対断方法16トラクタへの装着 0L、3L、4L(JIS 規格)17注意事項17装着前の準備17トラクタへの装着21装着後のトラクタとの調整24トラクタへの装着 2L27注意事項27大ラクタへの装着30装着後のトラクタとの調整32トラクタからの取外し34移動・圃場への出入り36	安全について ・・・・・・ 4
0L, 3L, 4L 仕様(JIS 規格)132L 仕様14開梱・組付け15ジョイントの取付け準備16注意事項16切断方法16トラクタへの装着 0L、3L、4L17注意事項17装着前の準備17トラクタへの装着21装着後のトラクタとの調整24トラクタからの取外し25トラクタへの装着 2L27注意事項27大ラクタへの装着30装着後のトラクタとの調整30装着後のトラクタとの調整30装着後のトラクタとの調整30装着後のトラクタとの調整32トラクタからの取外し34移動・圃場への出入り36	安全に作業するために・・・・・・・・・・4道路走行時の注意・・・・・・・10警告表示ラベルと機番プレート・・・・・11
2L 仕様14開梱・組付け15ジョイントの取付け準備16注意事項16切断方法16トラクタへの装着 OL、3L、4L17注意事項17装着前の準備17トラクタへの装着21装着後のトラクタとの調整24トラクタからの取外し25トラクタへの装着 2L27注意事項27決方クタへの装着30装着後のトラクタとの調整32トラクタからの取外し34移動・圃場への出入り36	各部の名称 ・・・・・・ 13
ジョイントの取付け準備・・・16注意事項・・・16切断方法・・・16トラクタへの装着 OL、3L、4L(JIS 規格)・・・17注意事項・・・17大ラクタへの装着・・・17トラクタへの装着・・・21装着後のトラクタとの調整・・・24トラクタからの取外し・・・25トラクタへの装着 2L注意事項・・・・27注意事項・・・27大ラクタへの装着・・・30装着後のトラクタとの調整・・・27トラクタからの取外し・・34移動・圃場への出入り・・36	0L, 3L, 4L 仕様(JIS 規格)・・・・・・13 2L 仕様・・・・・・14
注意事項 16 切断方法 16 トラクタへの装着 OL、3L、4L (JIS 規格) 17 注意事項 17 装着前の準備 17 トラクタへの装着 21 装着後のトラクタとの調整 24 トラクタからの取外し 25 トラクタへの装着 2L 27 注意事項 27 装着前の準備 27 大き事項 27 装着前の準備 27 大ラクタへの装着 30 装着後のトラクタとの調整 32 トラクタからの取外し 34	開梱・組付け ・・・・・・ 15
切断方法 16 トラクタへの装着 OL、3L、4L (JIS 規格) 17 注意事項 17 装着前の準備 17 トラクタへの装着 21 装着後のトラクタとの調整 24 トラクタからの取外し 25 トラクタへの装着 2L 27 注意事項 27 装着前の準備 27 技着前の準備 27 技着第の半備 30 装着後のトラクタとの調整 32 トラクタへの装着 30	ジョイントの取付け準備・・・・・・・・16
(JIS 規格)17注意事項17装着前の準備17トラクタへの装着21装着後のトラクタとの調整24トラクタからの取外し25トラクタへの装着 2L27注意事項27装着前の準備27トラクタへの装着30装着後のトラクタとの調整32トラクタからの取外し34移動・圃場への出入り36	
注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
注意事項27装着前の準備27トラクタへの装着30装着後のトラクタとの調整32トラクタからの取外し34移動・圃場への出入り36	装着前の準備・・・・・・・・・・・17トラクタへの装着・・・・・・・21装着後のトラクタとの調整・・・・・24
装着前の準備・・・・・27トラクタへの装着・・・・30装着後のトラクタとの調整・・・32トラクタからの取外し・・・34移動・圃場への出入り・・・36	トラクタへの装着 2L · · · · · 27
	装着前の準備・・・・・・・・・・27 トラクタへの装着・・・・・・30 装着後のトラクタとの調整・・・・・32
注意事項36	
作業のしかた ・・・・・・・・・・・・ 37	
注意事項37作業機姿勢の確認37作業速度と耕うん軸回転速度38作業深さの調整40エプロンの調整42圃場の回りかた45	作業機姿勢の確認37作業速度と耕うん軸回転速度38作業深さの調整40エプロンの調整42

クイックアシストの操作方法・・・・・・・46
注意事項 · · · · · · · 46 使用方法 · · · · · 47
耕うん爪の取付け・・・・・・・50
注意事項 · · · · · · · 50
耕うん爪の種類と用途・・・・・・・・50
耕うん爪について・・・・・・51
保守・点検・・・・・・・・・・・61
注意事項 · · · · · · · · 61 保守・点検の準備 · · · · · · 61
保守・点検一覧表・・・・・・・・62
作業内容・・・・・・・63
消耗品一覧 74
アタッチメント・オプション一覧 ・・・・・・ 77
格納・運搬・保管・・・・・・・・80
注意事項 · · · · · · · 80
主要諸元 · · · · · · 81
トラクタ別装着表 OL、3L、4L
(JIS 規格) · · · · · · 93
(JIS 規格) · · · · · · 93
(JIS 規格)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(JIS 規格)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(JIS 規格)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(JIS 規格)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(JIS 規格)93SRV・SRZ T-4L/3L 仕様93トラクタ別装着表 2L98SRV -2L 仕様98SRZ -2L 仕様104フロントウエイト装着表109SRV T-0L/3L/4L109SRV-2L115
(JIS 規格)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
(JIS 規格)93SRV・SRZ T-4L/3L 仕様93トラクタ別装着表 2L98SRV -2L 仕様98SRZ -2L 仕様104フロントウエイト装着表109SRV T-0L/3L/4L109SRV-2L115SRZ T-0L/3L/4L122
(JIS 規格)93SRV・SRZ T-4L/3L 仕様93トラクタ別装着表 2L98SRV -2L 仕様98SRZ -2L 仕様104フロントウエイト装着表109SRV T-0L/3L/4L109SRV-2L115SRZ T-0L/3L/4L122SRZ-2L124
(JIS 規格)・・93SRV・SRZ T-4L/3L 仕様・・93トラクタ別装着表 2L・・98SRV -2L 仕様・・98SRZ -2L 仕様・・104フロントウエイト装着表・・109SRV T-0L/3L/4L・・109SRV-2L・・115SRZ T-0L/3L/4L・・122SRZ T-0L/3L/4L・・122SRZ-2L・・124異常診断一覧表・・127廃棄について・・129注意事項・・129
(JIS 規格)93SRV・SRZ T-4L/3L 仕様93トラクタ別装着表 2L98SRV -2L 仕様98SRZ -2L 仕様104フロントウエイト装着表109SRV T-0L/3L/4L109SRV-2L115SRZ T-0L/3L/4L122SRZ -2L124異常診断一覧表127廃棄について129

安全について

ここに示した注意事項は、作業機を安全に正しく使用していただき、使用者や他の方々への危害や財産への損 害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

警告表示について

警告レベルの定義

誤った取扱いをすると、生じることが想定される内 容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示する ために、「危険」、「警告」、「注意」に区分して記載 しています。

誤った取扱いをしたときは、死亡、 ⚠ 危 険 後遺症などの大きな被害の可能性 が高いことを意味します。 誤った取扱いをしたときは、死亡、 ⚠ 警告 後遺症などの大きな被害を負う恐 れがあることを意味します。 誤った取扱いをしたときは、軽 ⚠ 注 意 度の傷害が発生する可能性があ ることを意味します。

その他の表示

上記以外の表示は、次のとおりです。

	誤った取扱いをしたときは、作
取扱上の注意	業機が故障する可能性があるこ
	とを意味します。
	作業機本来の能力が発揮できな
お知らせ)	いこと、あるいは、特に知って
	おいていただきたいことを意味
	します。

絵表示

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使っ て表しています。



禁止(してはいけないこと)を示します。



強制(すること)を示します。



注意を示します。

安全に作業するために

全般

危険



使用目的以外の作業や作業機・ 部品の改造をしないでくださ



* 事故・大ケガ・故障につながる 恐れがあります。



取扱説明書はいつでも読むこと ができるように、作業機と一緒 _{必ず実行} に大切に保管してください。



* 事故・大ケガ・故障につながる 恐れがあります。



取扱説明書をよく読み、作業機・ 部品の使いかたを理解してから _{必ず実行}使用してください。



トラクタの『取扱説明書』も併 せてよく読んでください。

* 事故・大ケガ・故障につながる 恐れがあります。



操作、作動しているときは周り の人はもちろん、本人も作業機 必ず実行 から離れ、かつ周囲との距離が 十分ある状態で行ってくださ



* 作業機に挟まれ、事故・大ケ ガ・故障につながる恐れがあり ます。



故障・異常に気付いたら、直ち に作業を中止し、修理してから _{必ず実行}使用してください。



* 事故・大ケガにつながる恐れが あります。

⚠ 警告



適応トラクタ以外には装着しな いでください。

主要諸元表を熟読の上、適応馬 力内のトラクタに装着してくだ さい。



* 特にトラクタ馬力が小さい場合、 トラクタとの重量バランスが悪 くなり、事故・大ケガにつなが る恐れがあります。



次のような状態では、運転しな いでください。

- 飲酒運転
- いねむり運転
- 病気や薬物の作用で正常な運 転ができないとき







作業機の操作に熟練し、必要な 運転免許証を携帯し、心身とも に健康な状態で運転してくださ

* 事故・大ケガにつながる恐れが あります。



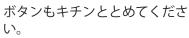
作業機を他人に貸出す場合は、 取扱説明書も添付し正しい取扱 _{必ず実行}いを指導してください。



* 事故・大ケガ・故障につながる 恐れがあります。



作業中の服装は、ヘルメット、 丈夫な手袋、すべらない靴、キ _{必ず実行} チンとした作業服を着用してく ださい。





* 回転部分に巻込まれ、事故・大 ケガにつながる恐れがありま す。

⚠ 注 意



共同作業者がある場合は、動作 ごとに合図を徹底してくださ



* 作業機が急に動き、事故・ケガ につながる恐れがあります。



作業前点検

介注意



各部のボルト、ナットなどの緩 みや、ピンの脱落がないか確認 _{必ず実行}してください。



* 事故・ケガ・故障につながる恐 れがあります。

トラクタへの着脱

⚠警告



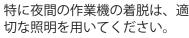
トラクタと作業機の着脱の際 は、いつでも逃げられる安全な ブレーキで止めてください。



* 事故・大ケガにつながる恐れが あります。



作業機の着脱・調整は、平坦で 十分な広さがあり地盤のしっか _{必ず実行}りした場所で行ってください。





* 事故・大ケガにつながる恐れが あります。



取付け各部のトメピンがすべて 確実に装着されているか確認し _{必ず実行} てください。



* 事故・大ケガ・故障につながる 恐れがあります。



作業機の着脱は、基本的に1人 で作業を行ってください。



必ず実行 * 作業機が急に動き、事故・大ケ ガにつながる恐れがあります。



トラクタを移動して作業機を装 着する場合は、トラクタと作業 機の間に人が入らないように注 意してください。



* 事故・ケガにつながる恐れがあ ります。



| 注意



2人以上で着脱を行う場合は、 お互いに合図を徹底してくださ

必ず実行 い。



* 作業機が急に動き、事故・ケガ につながる恐れがあります。



ジョイントのノックピンが確実 に PTO 軸溝、または作業機入 _{必ず実行} 力軸溝にはまったか確認してく ださい。



* ジョイントが抜け、事故・ケガ につながる恐れがあります。

カバーの取付け

小危険



ジョイントなど、作業機のカ バー類は必ず取付けてくださ





* 巻込まれて、死亡事故・大ケガ につながる恐れがあります。

トラクタへの装着

危険



作業機とトラクタとの重量バラ ンスを確認してください。

- 必ず実行・トラクタの前輪に最低限 20 %以上のウエイトがかかるよ うに、フロントウエイトを取 付けてください。
 - ・ 作業機に泥が付着して重くな る場合があるため、泥を取除 いてください。



- アタッチメントなどを取付け て使用する場合も、バランス を確認しフロントウエイトを 取付けてください。
- * 事故・大ケガにつながる恐れが あります。 作業機を装着すると、重量バラ ンスが変わります。

⚠注意



作業機に他のアタッチメントを 取付ける場合は、事前に必ずア _{必ず実行} タッチメントの『取扱説明書』 をよく読んでください。



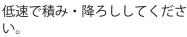
* 事故・ケガ・故障につながる恐 れがあります。

トラックへの積み・降ろし

⚠ 危 険



途中でクラッチを切ったり、変 速を中立にしたりしないでくだ さい。





* 転倒などで事故・大ケガにつな がる恐れがあります。



積み・降ろしの場所は、平坦で 安全な場所で行ってください。

必ず実行 *事故・大ケガにつながる恐れが あります。





アユミ板は、滑り止めの付いて いる丈夫なものを使用してくだ

確実に固定し、傾斜角度、平行 度を確認してください。



* 事故・大ケガにつながる恐れが あります。



積み・降ろしの際は、トラック が移動しないようしっかりとサ _{必ず実行} イドブレーキをかけてくださ い。



* 事故・大ケガにつながる恐れが あります。



トラクタの左右のブレーキペダ ルを連結し、脱輪しないように _{必ず実行}してください。



* ブレーキが片効きをし、転倒な どし事故・大ケガにつながる恐 れがあります。

⚠ 警告



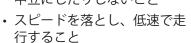
走行するときは次のことを守っ てください。

- 必ず実行・ 左右のブレーキペダルを連結 すること
 - 作業機の回転を止めること
 - 作業機の落下速度調節レバー を締めて、必ず油圧ロックを すること
 - * 事故・大ケガにつながる恐れが あります。



坂道での走行は次のことを守っ てください。

必ず実行・ クラッチを切ったり、変速を 中立にしたりしないこと



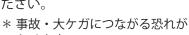


- エンジンブレーキを使用し、 急ブレーキをかけないこと
- * 事故・大ケガにつながる恐れが あります。



作業機は左右がトラクタの機体 幅より広いため、走行時は注意 してください。

移動時は、作業機の折りたため る箇所は折りたたみ走行してく ださい。





あります。

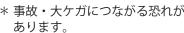
注意してください。 トラクタの重量バランスが変わ

危险

作業機を装着しての積み・降ろ

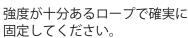
しは、泥の付着などがあるため

ります。 * 事故・大ケガにつながる恐れが





積み・降ろしの際、折りたため る作業機は折りたたみ、EX エ プロンも折りたたみ、トラック の荷台からはみ出さないように 注意してください。



* 事故・大ケガにつながる恐れが あります。

·般走行

⚠ 危 険



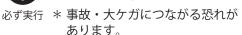
高速運転、急発進、急ブレーキ、 急旋回をしないでください。



* 事故・大ケガにつながる恐れが あります。



周囲の人やものに注意して旋回 してください。



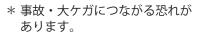


⚠警告



禁止

トラクタ・作業機には、運転者 以外の人を乗せないでください。





⚠ 注 意



路肩に草が茂っている場所を走 行するときは、路肩の強度に注 意してください。



* 事故・ケガにつながる恐れがあ ります。

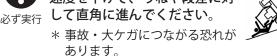


圃場への出入り

⚠ 警告



圃場に入るときは、必ず前進で 速度を下げて、うねや段差に対





圃場の出口が傾斜している場合 は、バックして上がるか、また 必ず実行 は丈夫なアユミ板を使用してく ださい。



* 事故・大ケガにつながる恐れが あります。



うねや段差に対しては、作業機 を低くして重心を下げ、直角に _{必ず実行} 進んでください。



* 事故・大ケガにつながる恐れが あります。

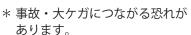
作業中

危険



いねむり運転、わき見運転をし ないようにあらかじめ体調を整 _{必ず実行}えてください。







⚠ 警告



作業機の下にもぐったり、足を ふみこんだりしないでくださ



* 事故・大ケガにつながる恐れが あります。



作業中は、周りに人を近寄らせ ないでください。

- 禁止 ・特に子供には十分注意するこ
 - ・ 補助作業者がいる場合は、動 作ごとに合図をかわすこと。
 - * 事故・大ケガにつながる恐れが あります。

小警告



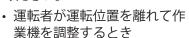
回転部分など、動くところには 触れないでください。



* 事故・大ケガにつながる恐れが あります。



次の作業をする場合は、必ずト ラクタの駐車ブレーキをかけ、 _{必ず実行} PTO シフトレバーを「中立」の 位置にし、エンジンを停止して ください。





- ・ 爪軸などへの草やワラのから み付きを取除くとき
- * 事故・大ケガにつながる恐れが あります。

介注意



作業機のカバーは、取外さない でください。



* 土礫が飛散するため、ケガにつ ながる恐れがあります。

(取扱上の注意)

ぬかるみにはまっても作業機は絶対に外さない でください。

牽引点を低くし、他の車に引き上げてもらって ください。

故障につながる恐れがあります。

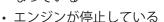
作業中の点検

⚠ 警 告



作業機の点検を行うときは以下 のことを確認してから作業して 必ず実行ください。

- トラクタの駐車ブレーキをか けている
- PTO シフトレバーが中立に なっている



- トラクタのキーを抜いている
- 油圧ロックを行っている
- * 事故・大ケガにつながる恐れが あります。



点検のために外したカバー類 は、必ず元どおりに取付けてく



* 事故・大ケガにつながる恐れが あります。

企注意



ラジエータやマフラには触れな いでください。



* 火傷をする恐れがあります。



点検整備に必要な工具類は、適 切な管理を行い、正しく使用し _{必ず実行} てください。



* 整備不良で事故につながる恐れ があります。

トラクタ停車

⚠ 警 告



傾斜に止める場合は、タイヤに 必ず車止めをしてください。



● 必ず実行 *事故・大ケガにつながる恐れが あります。

⚠注意



平らな場所に止め、作業機を降 ろしてエンジンを止め、駐車ブ レーキをかけてください。



必ず実行

* 事故・ケガにつながる恐れがあ ります。



その他

⚠警告



作業機指定の PTO 回転速度を 守ってください。

必ず実行 * 低速回転用の作業機を高速回転 で使用すると、作業機が異常作 動し事故・大ケガ・故障につな がる恐れがあります。



トラクタのエンジン始動時は、 周りに人がいないか、作業機が 下がっているか確認してくださ



* 作業機が不意に下がり、事故・ 大ケガにつながる恐れがありま す。

道路走行時の注意

運転免許について

特定小型特殊自動車(全幅 1.7m 以下、全高 2.0m 以下、全長 4.7m 以下、かつ最高速度 15km/h 以下 のトラクタ) であっても、作業機を装着した場合に 何れかの寸法を超えるときは、大型特殊自動車の運 転免許(『農耕用に限る』を含む)を取得している 必要があります。

作業機について

トラクタに作業機を装着して道路走行する場合は、 道路運送車両法の保安基準を満たしていなければな りません。

トラクタと作業機の組合せで保安基準を満たす処置 を行うことで道路走行できるようになります。 詳細内容については一般社団法人日本農業機械工業 会ホームページに掲載の『作業機付きトラクタの公

※ 一般計団法人

日本農業機械工業会ホームページアドレス http://www.jfmma.or.jp/

道走行ガイドブック』を参照してください。

より詳しい情報を必要とする場合や、ご質問がある 場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせくださ い。特に反射ラベルなどの法律で表示義務のあるも のは道路走行する前に運行前点検を行い、汚損や破 損していれば必ず表示内容が他の車両や歩行者から 確認できるように処置してください。

トラックでの運搬

⚠ 危 険

作業機をトラックで運搬する際



は折りたためる箇所は折りたた _{必ず実行}んでください。また、作業機が 動かないように強度が十分ある ロープで確実に固定してくださ



* 事故・大ケガにつながる恐れが あります。



積み・降ろしの際、落下防止措 置を行ってください。

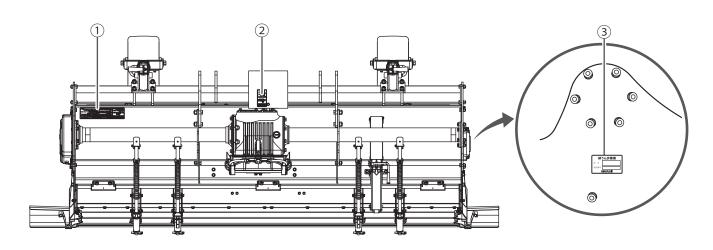
必ず実行 * トラックのあおりを不用意に開 けると作業機が滑り落ち、事故・ 大ケガにつながる恐れがありま



警告表示ラベルと機番プレート

この作業機には、警告表示ラベルを貼って注意喚起しています。よくお読みになって、理解した上で作業してください。

- ・いつも汚れや泥をとり警告表示ラベルがハッキリと見えるようにしてください。
- 警告表示ラベルが損傷や破損したときは、新しいものと交換してください。
- 警告表示ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品に、取外した部品と同じ場所に警告表示ラベルを貼ってください。





サービスと保証について

保証書

この作業機には保証書を添付しています。保証書は お客様が保証修理を受けられる際に必要となるもの です。保証内容は保証書をご覧ください。お読みに なった後は大切に保管してください。

アフターサービス

作業機の調子が悪いときに点検、処置してもなお不 具合があるときは、下記の点を明確にして、お買い 上げいただいた販売店まで連絡してください。

- お客様名
- 作業機の型式と製造番号 (「警告表示ラベルと機番プレート」(→p.11))
- ご使用状況(作業速度、回転速度はいくらで、 どんな作業をしていたときに)
- どのくらい使用されましたか(約○○アール・ 約○○時間使用後)
- 不具合が発生したときの状況を、できるだけ詳 しくお教えください。

補修用部品の供給年限

この作業機の補修用部品の供給年限(期間)は、製 造打切り後9年といたします。

したがって、その後のご注文に対しては、在庫限り の供給とさせていただきます。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品 をお買い求めください。

市販類似品をお使いになりますと、作業機の不調や 作業機の寿命を短くする原因になります。

また、部品の改造はしないでください。

型式について

この取扱説明書では、同じシリーズの型式の作業機 について併記しています。

お買い上げいただいた作業機の型式名を保証書およ び型式ラベルで確認し、該当箇所をお読みください。

各部の名称

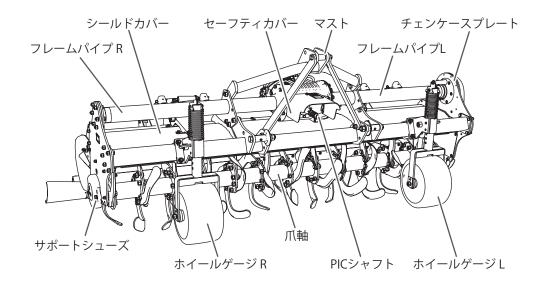
この取扱説明書では、0L, 3L, 4L 仕様と 2L 仕様を併記しています。お客様が購入された作業機の型式を確認し、該当箇所をお読みください。

作業機本体の各部の名称と前後左右の定義を記載しています。

OL, 3L, 4L 仕様(JIS 規格)

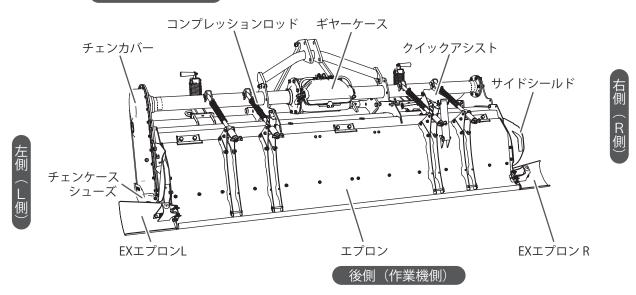
■前面(トラクタとの接続側)

図は SRV を示します。 SRZ の場合も名称は同様です。



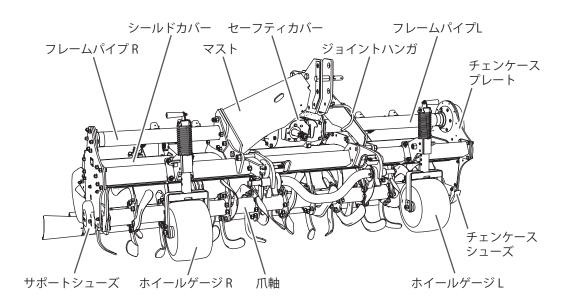
■背面

前側(トラクタ側)



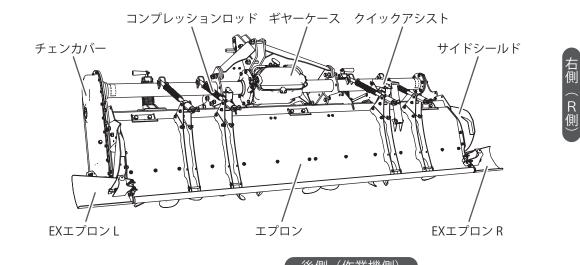
■前面(トラクタとの接続側)

図は SRV を示します。 SRZ の場合も名称は同様です。 SRZ の場合は、マストステーが追加になります。



■背面

前側(トラクタ側)



開梱・組付け

作業機は鉄枠梱包されています。別冊の『開梱・組付け要領書』に従って開梱・組付けしてください。

ジョイントの取付け準備

トラクタによっては、標準のジョイントが長い場合があります。 以下の手順で、ジョイントの取付け準備を行ってください。

(取扱上の注意)

- 長過ぎるジョイントを装着すると、トラクタの PTO 軸と作業機の入力軸を突き、破損させます。
- 短過ぎるジョイントを装着すると、ジョイント の噛み合わせが不足して、チューブが破損しま す。

<u></u> 注意



高速カッタを使用する場合は、十分注意 して作業してください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。



高速カッタ、または金ノコを使用する場 合は、手袋を着用してください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。

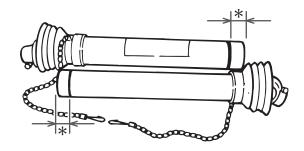


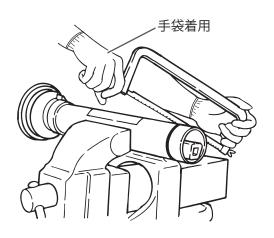
ジョイント切断時にセーフティカバーを 取外した場合は、ジョイントに取付けて _ _{必ず実行} ください。

* ケガにつながる恐れがあります。

(取扱上の注意)

- ジョイント切断寸法は、「トラクタ別装着表 OL、 3L、4L (JIS 規格)」(→ p.93)、「トラクタ別 装着表 2L」(→ p.98) で確認してください。
- 1 金ノコまたはカッタで、セーフティカバー をオス、メス両方、長い分だけ切断(*) します。

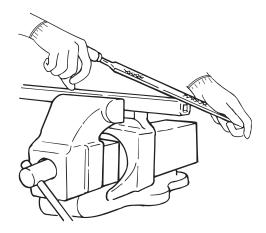




2 切りとったセーフティカバーと同じ長さで、 チューブシャフトを金ノコ、またはカッタ でオス、メス両方切断します。



3 切り口をヤスリでなめらかにして、切り粉 を取除きます。



グリスを塗布して、オスとメスを組合せま す。

トラクタへの装着 OL、3L、4L (JIS 規格)

トラクタへの装着と取外しについて記載しています。

注意事項

⚠ 警告



平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。

必ず実行 * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



作業機の着脱は、基本的に一人で作業を 行ってください。

必ず実行 * 作業機が急に動き、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



トラクタを移動して作業機を装着する場合は、トラクタと作業機の間に人が入らないように注意してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

注意



夜間の場合は適切な照明を用いてください。

必ず実行 * 事故・ケガにつながる恐れがあります。



2 人以上で着脱を行う場合は、お互いに 合図を徹底してください。

必ず実行 * 作業機が急に動き、ケガにつながる恐れがあります。

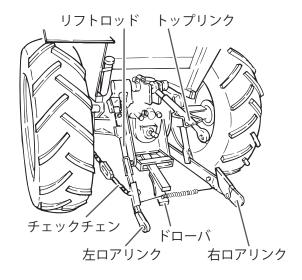
装着前の準備

トラクタの準備

この作業機の装着方法は、標準 3 点リンク式のヒッチです。

ドローバーがジョイントに干渉する場合は、ドローバーの位置を変えるか、取外してください。

取付け位置は、「トラクタ別装着表 OL、3L、4L(JIS 規格)」(\rightarrow p.93)を参照の上、トップリンク長さやリフトロッド位置を確認し、取付けてください。



オートヒッチアームの取付け

↑ 警告



必ずトラクタの駐車ブレーキをかけてエ ンジンを停止し、PTO 軸への動力が切れ さい。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

注意



オートヒッチアームは、JIS 規格に準拠し たものを使用してください。

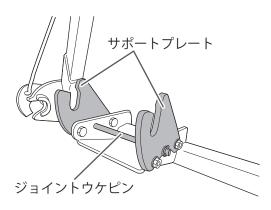
必ず実行 類似規格のものは、使用しないでくださ

* 故障し、事故・ケガにつながる恐れがあ ります。

オートヒッチアームの状態を確認します。

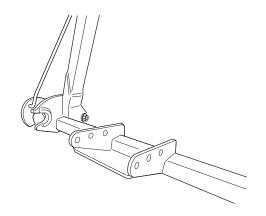
(a) 4 セットの場合

サポートプレートとジョイントウケピンが 確実に取付けてあることを確認します。

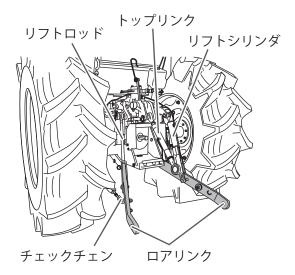


(b) 3 セットの場合

サポートプレート、ジョイントウケピンが ないことを確認してください。



2 トラクタのポジションコントロールレバー を下げ、ロアリンクをいっぱいまで下げま す。



・3点リンクの取付け位置は、「トラクタ別装着表 OL、3L、4L(JIS 規格)」(→ p.93)を参照の上、 トップリンク長さやロアリンク、リフトロッド の穴位置を指定の位置に取付けてください。

(取扱上の注意)

- トップリンク長さは目安の長さです。作業時に 再度水平を確認し調整を行ってください。
- 3 オートヒッチアームとトップリンクを取付 けます。

注意

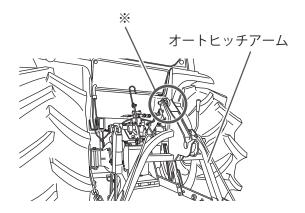


取付け後は、各ピン部の抜け止めがされ ているか確認してください。

必ず実行 * 作業機が脱落し、事故・ケガにつながる 恐れがあります。

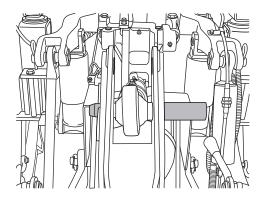
• 取付け後は、ガンマピン(または R ピン)で抜 け止めをしてください。トップリンクとガンマ ピン(または R ピン)はトラクタ付属品を使用 してください。

・付属のトップリンクピンは、カテゴリーⅠ、Ⅱ 形兼用です。

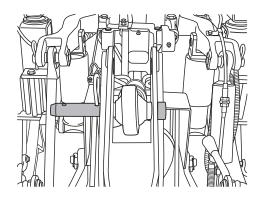


※印の拡大図を以下に示します。

< I 形の場合 >



< Ⅱ形の場合 >

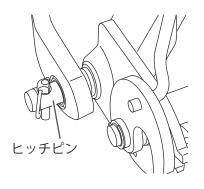


4 オートヒッチアームの左右ヒッチピンをト ラクタのロアリンクに取付けます。

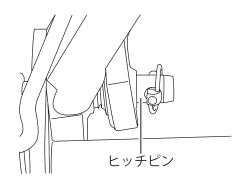
お知らせ)

- 左右のロアリンクにオートヒッチのロアリンク ピンを取付けてください。
- トラクタによっては、内側セットと外側セット があります。「トラクタ別装着表 OL、3L、4L (JIS 規格)」(→ p.93) で確認してください。
- ・取付け後は、ガンマピンで抜け止めをしてくだ さい。
- ・標準のヒッチピンはⅡ形です。
- トラクタのロアリンク穴がI形の場合は、I形 のヒッチピンに交換してください。

<ヒッチピンが外向きの場合>



<ヒッチピンが内向きの場合>



ジョイントの取付け(4セットの場合)

4 セットの場合、作業機をトラクタに装着する前に ジョイントを取付けます。

3 セットの場合は、作業機をトラクタに装着した後 でジョイントを取付けてください。「ジョイントの 取付け(3セットの場合)」(→p.23)

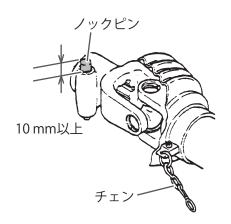
⚠ 警告



ジョイントを取付けるときは必ずトラク タのエンジンを止め、PTO シフトレバー 必ず実行 がニュートラル(OFF)の位置になって いることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

- ジョイントの広角側をトラクタの PTO 軸に 取付けます。
 - (1) ジョイントのノックピンを押しながら PTO 軸 に挿入し、PTO 軸の溝にノックピンをはめ込み、 抜け止めをします。
 - (2) トラクタ側と作業機側のノックピンの取付け状 態を確認します。
 - ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
 - ピンの頭が 10 mm 以上出ているか。



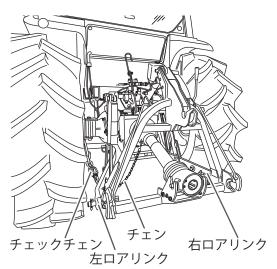
- 2 ジョイントのラベル面を上にし、手でジョ イントを折り曲げます。
 - 軸の細い部分からサポートプレートの長穴に セットします。



3 ジョイントセーフティカバーのチェンを固 定し、回り止めをします。

取扱上の注意

このとき作業機をいっぱい下げてもチェンが緊 張しないように、たるみを持たせてください。



- 4 チェックチェンを張って、オートヒッチアー ムをトラクタの中心部に合わせます。
 - ロアリンクの左右の高さも均等にします。
- 5 各部のトメピンやトップリンクピンの抜け 止めが確実にされていることを確認します。

(JIS 規格

トラクタへの装着

1 作業機を装着する姿勢にします。

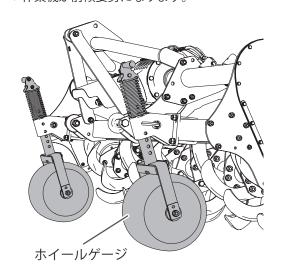
(1) ホイールゲージの穴位置を調節します。

操作は「ホイールゲージの調整」(→p.40)を

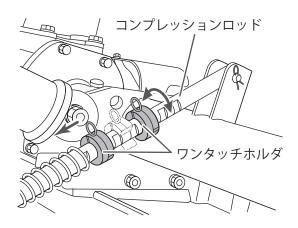
参照してください。

SRV: 上から3~7番目 SRZ: 上から4~8番目

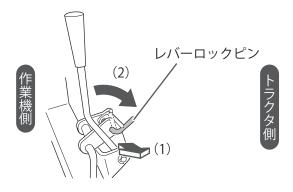
⇒作業機が前傾姿勢になります。



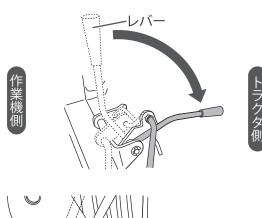
(2) コンプレッションロッドの一番下の溝に、ワン タッチホルダをセットします。

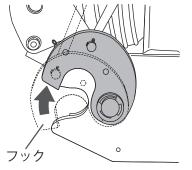


- 2 オートヒッチアームのロックを解除します。
 - (1) レバーロックピンを引っ張ります。
 - (2) レバーロックピンを解除方向へ回します。 ⇒レバーのロックが解除されます。



- (3) レバーをトラクタ側へ倒します。
 - ⇒オートヒッチフックのロックが解除され、フッ クが開きます。





企注意

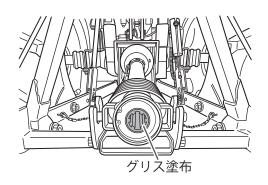


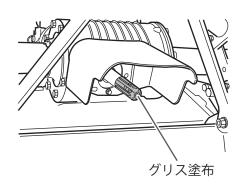
レバーを倒した状態で、作業機昇降装置 を上下すると、レバーとトラクタが干渉 _{必ず実行} する場合があります。干渉に注意して装 着してください。

> 干渉する場合は、干渉しない位置まで下 げてからレバーを操作してください。

* トラクタが破損し、事故・ケガにつなが る恐れがあります。

3 4 セットの場合は、作業機の入力軸とジョイ ントの結合部に十分にグリスを塗布します。





4 作業機をトラクタに取付けます。

(取扱上の注意)

最初の装着時には、作業機をゆっくり上げなが ら、トラクタと作業機が干渉しないか確認して ください。

特に、キャビン付きトラクタの場合には、背面 のガラスを割らないように注意してください。

トラクタによっては、スイッチひとつで自動で 最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手 動で干渉の有無を確認してから使用してくださ い。

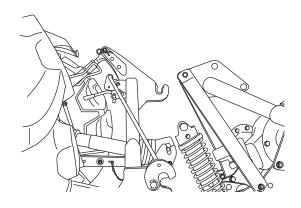
また、作業機が勢いよく上がるため、10 cm 以 上の余裕を持って上げ規制をしてください。

- ポジションコントロールレバーを徐々に上げ て、ジョイントが一番縮んだ状態でもジョイン トが突かないことを確認してください。
- ・トップリンクやロアリンクの取付け位置、およ びリフトロッドやトップリンクの長さを変えた 場合にも、干渉の有無を確認してください。
- 左右の水平調節についても注意してください。

- (1) トラクタの PTO の変速をニュートラルにしま す。
- (2) オートヒッチアームを下げます。
- (3) トラクタをゆっくりバックさせ、作業機に近づ けます。 マストのピンの下側にオートヒッチアームの フックを合わせます。

(取扱上の注意)

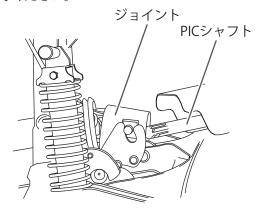
• トラクタと作業機が正対するようにしてくださ



- (4) ポジションコントロールレバーを「上げる」に し、フックに合わせて作業機をゆっくりと持ち 上げます。
 - ⇒ジョイントのスプライン部は、自動的に接続さ れます。

(取扱上の注意)

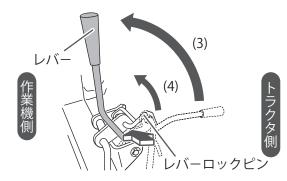
・ ジョイントと PIC シャフトが噛み合わなかった などの場合、ポジションコントロールレバーを 下げ、一度トラクタを前進させてからやり直し てください。



また、トップリンクの長さが適切か確認してく ださい。「トラクタ別装着表 OL、3L、4L(JIS 規格)」(→ p.93) で確認してください。

5 オートヒッチアームをロックします。

- (1) 作業機のガイドカラーとオートヒッチアーム が、しっかりと入っていることを確認します。
- (2) 作業機の入力軸とジョイントのスプラインが、 しっかりと入っていることを確認します。
- (3) 確認できたらレバーを上に起こします。 ⇒作業機とオートヒッチアームがロックされます。
- (4) レバーロックピンをロック方向に回します。 ⇒ レバーロックピンとレバーがロックされます。



(取扱上の注意)

レバーロックピンは作業中の作業機の誤解放を 防止するものです。

作業するときは、必ずロックしてください。

ジョイントの取付け(3セットの場合)

3 セットの場合、作業機をトラクタに装着した後で ジョイントを取付けてください。

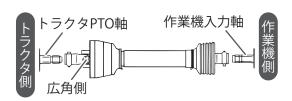
⚠ 警 告



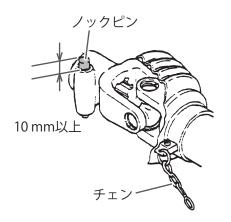
ジョイントを取付けるときは必ずトラク タのエンジンを止め、PTO シフトレバー _{必ず実行} がニュートラル (OFF) の位置になって いることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

1 ジョイントの広角側をトラクタの PTO 軸、 反対側を作業機入力軸に取付けます。



- (1) ジョイントのノックピンを押しながら PTO 軸ま たは作業機側入力軸に挿入し、各軸の溝にノッ クピンをはめ込み、抜け止めをします。
- (2) トラクタ側と作業機側のノックピンの取付け状 態を確認します。
 - ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
 - ピンの頭が 10 mm 以上出ているか。



2 ジョイントセーフティカバーのチェンを固 定し、回り止めをします。

(取扱上の注意)

このとき作業機をいっぱい下げてもチェンが緊 張しないようにたるみを持たせてください。

装着後のトラクタとの調整

チェックチェンの調整

左右の横振れを確認し、必要に応じてチェックチェ ンを調整してください。

- 1 作業機を持ち上げた状態で、作業機の入力 軸とトラクタの PTO 軸を後方より見て直線 上に合わせます。
- 2 左右の横振れが 10 mm 以内になっているこ とを確認します。
 - 10 mm を超える場合は、10 mm 以内になるよ うに左右均等にチェックチェンを張ります。

リフトロッドの調整

左右の水平を確認し、必要に応じてリフトロッドを 調整してください。

- 1 作業機を持ち上げ、後方より見て左右が水 平になるようにします。
- トラクタの油圧水平スイッチを操作し、リ フトロッドを調整します。
 - 油圧水平スイッチがない場合は、リフトロッド を回して調整します。

トップリンクの調整

トップリンクの長さは、「トラクタ別装着表 OL、 3L、4L (JIS 規格)」(→ p.93) を参照して調整し てください。

作業開始前には、作業機姿勢の確認を行ってくださ $(\rightarrow p.37)_{\circ}$

企警告



トップリンクの調整は、作業機を接地さ せてから行ってください。

必ず実行 *トップリンクが抜けて、作業機が落下し、 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

(取扱上の注意)

トップリンク長さを変更した場合は、トップリ ンク長さを調整し直してください。

また使用により長さが変化していないか確認し てください。作業機やジョイントを破損する恐 れがあります。

ジョイントの確認

広角ジョイントの場合、ジョイント伸縮部と作業機 の入力軸とが直線に近いほど異音が少なくなりま す。

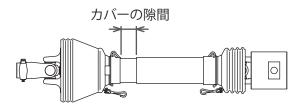
取扱上の注意

• トラクタによっては、作業機を最上位置に上げた状態で回転させると、異音が発生することがあります。

ジョイントに負荷がかかり、損傷の原因になる恐れがあります。

この場合、PTO を切るか、回転しても振動や音が出ない位置に作業機の最上位置を規制してください。

- 1 ゆっくり作業機を上げます。
- 2 ジョイントが一番縮んだ状態で、軸を突かないことを確認します。
- 3 作業機を上下してカバーの隙間が下表の範囲であることを確認します。



ジョ	ョイントの 種類	ジョイントの 切断寸法 (mm)	カバーの隙間 (mm)
4	KGC94M	-	27 ~ 338
セッ	KGC84M	-	27 ~ 238
F	KGC79M	-	27 ~ 188
	KGC95	-	30 ~ 373
3セット	KGC90	-	30 ~ 323
	KGC80	-	30 ~ 223
		30	30 ~ 193
		40	30 ∼ 183

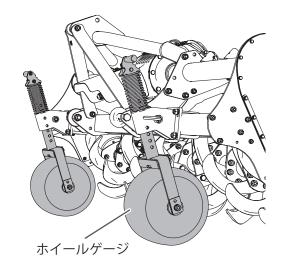
トラクタからの取外し

⚠警告

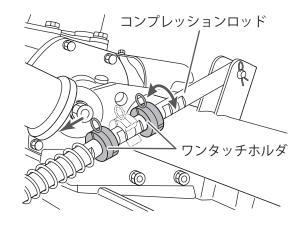


作業機を取外す場合は、平坦で地盤の しっかりした場所で、取外しのためのス ペースが十分にとれる場所で行ってくだ さい。

- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。
- 1 トラクタから取外す姿勢にします。
 - (1) ホイールゲージの穴位置を、作業機をトラクタに装着したときと同じ位置にします。
 - ⇒作業機が前傾姿勢になります。



(2) コンプレッションロッドの一番下の溝に、ワンタッチホルダをセットします。



2 ジョイントを取外します。(3 セットの場合)

⚠ 警告



ジョイントを取外すときは必ずトラクタ のエンジンを止め、PTO シフトレバーが _{必ず実行} ニュートラル(OFF)の位置になってい ることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

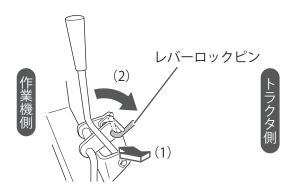


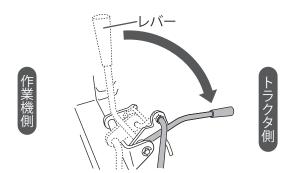
ジョイントを取外すときは、作業機を接 地させてから行ってください。

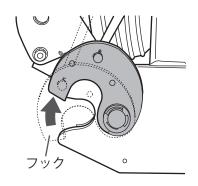
必ず実行 * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

3 オートヒッチアームのロックを解除します。

- (1) レバーロックピンを引っ張ります。
- (2) レバーロックピンを解除方向へ回します。 ⇒レバーのロックが解除されます。
- (3) レバーをトラクタ側へ倒します。
 - ⇒オートヒッチフックのロックが解除され、フッ クが開きます。







注意



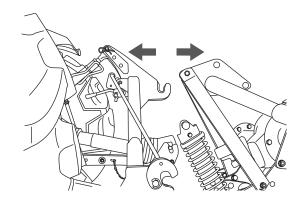
レバーを倒した状態で、作業機昇降装置 を上下すると、レバーとトラクタが干渉 ー 必ず実行 する場合があります。干渉に注意して装 着してください。

> 干渉する場合は、干渉しない位置まで下 げてからレバーを操作してください。

*トラクタが破損し、事故・ケガにつなが る恐れがあります。

4 作業機を下げます。

- (1) トラクタの PTO の変速をニュートラルにしま す。
- (2) ポジションコントロールレバーを「下げる」に します。
- (3) 作業機を下げて接地させ、トラクタをゆっくり 前進させます。
 - 外れない場合は、場所が平坦でないかトラクタ がまっすぐ前進していないなどの原因がありま す。動作をやり直してください。
 - ⇒作業機は外れます。



トラクタへの装着 2L

トラクタへの装着と取外しについて記載しています。

注意事項

⚠ 警告



平坦で十分な広さがあり、地盤のしっかりした場所で行ってください。

必ず実行 * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



作業機の着脱は、基本的に 1 人で作業を 行ってください。

必ず実行 * 作業機が急に動き、事故・大ケガにつながる恐れがあります。



トラクタを移動して作業機を装着する場合は、トラクタと作業機の間に人が入らないように注意してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠注意



夜間の場合は適切な照明を用いてくださ い。

必ず実行 *事故・ケガにつながる恐れがあります。



2人以上で着脱を行う場合は、お互いに合図を徹底してください。

・ 水 作業機が急に動き、ケガにつながる恐れがあります。

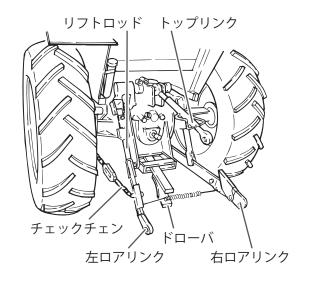
装着前の準備

トラクタの準備

この作業機の装着方法は、標準 3 点リンク式のヒッチです。

ドローバーがジョイントに干渉する場合は、ドローバーの位置を変えるか、取外してください。

取付け位置は、「トラクタ別装着表 2L」(\rightarrow p.98) を参照の上、トップリンク長さやリフトロッド位置を確認し、取付けてください。



オートヒッチバーの取付け

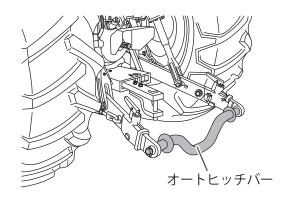
危険



必ずトラクタの駐車ブレーキをかけてエ ンジンを停止し、PTO 軸への動力が切れ さい。

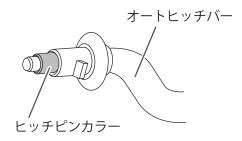
* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

- トラクタのポジションコントロールレバー を下げ、ロアリンクをいっぱいまで下げま す。
- 2 オートヒッチバーをトラクタのロアリンク に取付けます。



取扱上の注意

オートヒッチバーはカテゴリーⅡ形です。 カテゴリーⅢ形のトラクタに取付ける場合は、 付属のヒッチピンカラー (SRZ351 だけ) をオー トヒッチバーに取付けてください。



カテゴリーⅢ形のトラクタに取付ける場合、 ロアリンクとトラクタミッションが干渉し ないか注意してください。

ジョイントの取付け(作業機側)

企警告

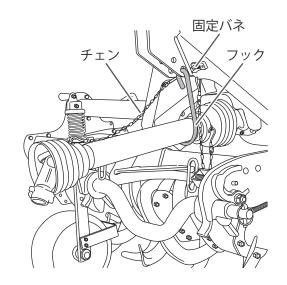


ジョイントを取付けるときは必ずトラク タのエンジンを止め、PTO シフトレバー _{必ず実行} がニュートラル(OFF)の位置になって いることを確認してください。

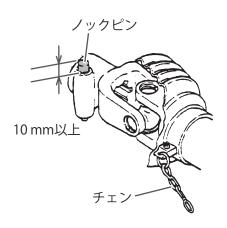
* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

■ CV・SV 仕様以外の場合

- **1** ジョイントのスライド部が抜けないように、 2本のチェンを連結します。
- 2 ジョイントハンガのフックを固定バネから 取外して、下げます。
- 3 ジョイントのアウター側をフックに乗せ、 作業機側入力軸に取付けます。



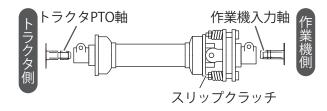
- (1) ジョイントのノックピンを押しながら作業機側 入力軸に挿入し、軸の溝にノックピンをはめ込 み、抜け止めをします。
- (2)トラクタ側と作業機側のノックピンの取付け状態を確認します。
 - ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
 - ・ ピンの頭が **10 mm 以上**出ているか。



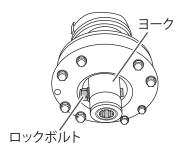
■ CV・SV 仕様の場合

取扱上の注意

・ 必ずスリップクラッチ側を作業機側入力軸に取付けてください。

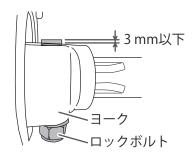


1 ヨークに仮止めされているロックボルトを 取外します。



ジョイントのスライド部が抜けないように、 2本のチェンを連結します。

- 3 ジョイントハンガのフックを固定バネから 取外して、下げます。
- 4 ジョイントのスリップクラッチ側をフック に乗せ、作業機側の入力軸に取付けます。
 - (1) ジョイントを入力軸の溝とロックボルト固定位置が合うように挿入します。
 - (2) ロックボルトをヨークに挿入し、150 N・m で 締付けてジョイントを固定します。
 - (3) ロックボルト頭(ナットと反対側)の取付け状態を確認します。
 - ロックボルトが確実にはまっているか
 - ロックボルト頭はヨークからの飛び出しが 3 mm 以下であるか



トラクタへの装着

企警告



装着作業中、トラクタを止めるときはそ の都度エンジンを切り、駐車ブレーキを _{必ず実行}かけてください。

> *トラクタと作業機に挟まれ、事故・大ケ ガにつながる恐れがあります。

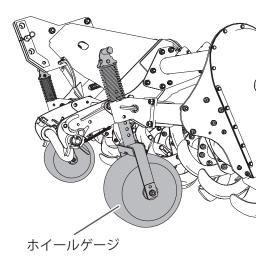
1 作業機を装着する姿勢にします。

(1) ホイールゲージの穴位置を調節します。

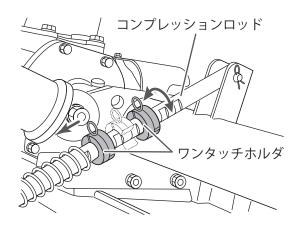
操作は「ホイールゲージの調整」(→p.40)を 参照してください。

SRV: 上から1~7番目 SRZ: 上から1~8番目

⇒作業機が前傾姿勢になります。



(2) コンプレッションロッドの一番下の溝に、ワン タッチホルダをセットします。

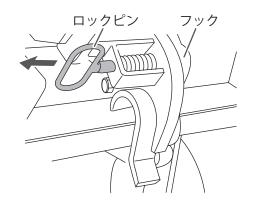


2 オートヒッチフックのロックを解除します。

- (1) ロックピンを引っ張ります。
 - ⇒オートヒッチフックのロックが解除され、フッ クが開きます。

ロックピンはオートヒッチバーがドッキングさ れると、自動的に入り込みロックされます

(2) ロックピンを下図の位置にしておきます。



3 作業機をトラクタに取付けます。

取扱上の注意

• 最初の装着時には、作業機をゆっくり上げなが ら、トラクタと作業機が干渉しないか確認して ください。

特に、キャビン付きトラクタの場合には、背面 のガラスを割らないように注意してください。

トラクタによっては、スイッチひとつで自動で 最上部まで上昇する機構がありますが、必ず手 動で干渉の有無を確認してから使用してくださ い。

また、作業機が勢いよく上がるため、10 cm 以 上の余裕を持って上げ規制をしてください。

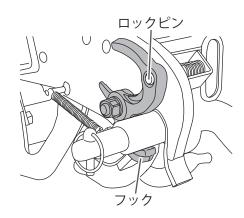
- ポジションコントロールレバーを徐々に上げ て、ジョイントが一番縮んだ状態でもジョイン トが突かないことを確認してください。
- トップリンクやロアリンクの取付け位置、およ びリフトロッドやトップリンクの長さを変えた 場合にも、干渉の有無を確認してください。
- ・左右の水平調節についても注意してください。
- (1) トラクタの PTO の変速をニュートラルにしま す。
- (2) オートヒッチバーを下げます。
- (3) トラクタをゆっくりバックさせ、作業機に近づ けます。

作業機のヒッチブラケット開口部にオートヒッ チバーを取付けます。

(取扱上の注意)

- トラクタと作業機が正対するようにしてくださ
- ジョイントとトラクタが干渉しないようにして ください。

(4) 装着後、ロックピンが確実にフックに入り込ん でロックされているか確認します。



4 トラクタのトップリンクを作業機のマスト に、付属のトップリンクピンで取付けます。

(お知らせ)

- ・付属のトップリンクピンは、カテゴリーⅡ、Ⅲ 形兼用です。
- トップリンクの長さは、「トラクタ別装着表 2L」 (→p.98) で確認してください。

ジョイントの取付け(トラクタ側)

⚠警告

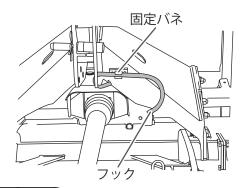


ジョイントを取付けるときは必ずトラク タのエンジンを止め、PTO シフトレバー ₋ 必_{ず実行} がニュートラル(OFF)の位置になって いることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

抜け止めのために連結していたジョイント のチェンを外します。

2 ジョイントハンガのフックをジョイントか ら取外し、固定バネにはめ込みます。



(取扱上の注意)

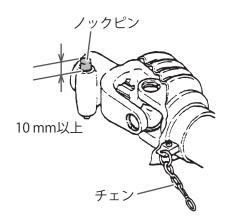
- ・トラクタの PTO 軸にジョイントを取付けると きは、必ずジョイントハンガのフックからジョ イントを取外してください。
- 3 ジョイントをトラクタの PTO 軸に取付けま す。
 - (a) CV・SV 仕様以外の場合

ジョイントのカバーには PTO 側を示すラベル が貼付けられています。

(b) CV・SV 仕様の場合

ジョイントのカバーには PTO 側を示すトラク タの図が描かれています。

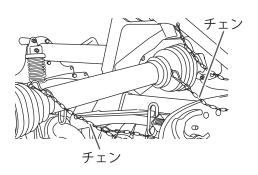
- (1) ジョイントのノックピンを押しながら PTO 軸 に挿入し、PTO 軸の溝にノックピンをはめ込み、 抜け止めをします。
- (2) トラクタ側のノックピンの取付け状態を確認し ます。
 - ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
 - ピンの頭が 10 mm 以上出ているか。



4 トラクタ PTO 側のジョイントセーフティカ バーのチェンを固定し、回り止めをします。

(取扱上の注意)

• このとき作業機を上げ下げしてもチェンが緊張 しないようにたるみを持たせてください。



⚠ 注 意



取付け後は、各ピンの抜け止めがされて いることを確認してください。

* 作業機が脱落し、事故・ケガにつながる 恐れがあります。

装着後のトラクタとの調整

チェックチェンの調整

左右の横振れを確認し、必要に応じてチェックチェ ンを調整してください。

- 作業機を持ち上げた状態で、作業機の入力 軸とトラクタの PTO 軸を後方より見て直線 上に合わせます。
- 2 左右の横振れが 10 mm 以内になっているこ とを確認します。
 - 10 mm を超える場合は、10 mm 以内になるよ うに左右均等にチェックチェンを張ります。

リフトロッドの調整

左右の水平を確認し、必要に応じてリフトロッドを 調整してください。

作業機を持ち上げ、後方より見て左右が水 平になるようにします。

- 2 トラクタの油圧水平スイッチを操作し、リ フトロッドを調整します。
 - ・ 油圧水平スイッチがない場合は、リフトロッド を回して調整します。

トップリンクの調整

トップリンクの長さは、「トラクタ別装着表 2L」 (→ p.98) を参照して調整してください。

魚警告



トップリンクの調整は、作業機を接地さ せてから行ってください。

必ず実行 *トップリンクが抜けて、作業機が落下し、 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

(取扱上の注意)

トップリンク長さを変更した場合は「トラクタ 別装着表 2L」(→ p.98) に合わせて修正して ください。

また使用により長さが変化していないか確認し てください。作業機やジョイントを破損する恐 れがあります。

ジョイントの確認

シングルジョイントの場合、トラクタの PTO 軸と 作業機の入力軸とが平行に近いほど異音が少なくな ります。

介注意



(ジョイント B895SA の場合)

作業機を使用中、スリップクラッチに触 れないでください。

* 火傷をする恐れがあります。



(ジョイント B895SA の場合)

スリップクラッチの周囲には可燃性のも 必ず実行 のを置かないようにし、長時間スリップ しないようにしてください。

* 火災の恐れがあります。

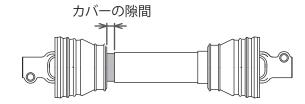
取扱上の注意

トラクタによっては、作業機を最上位置に上げ た状態で回転させると、異音が発生することが あります。

ジョイントに負荷がかかり、損傷の原因になる 恐れがあります。

この場合、PTO を切るか、回転しても振動や音 が出ない位置に作業機の最上位置を規制してく ださい。

- ゆっくり作業機を上げます。
- 2 ジョイントが一番縮んだ状態で、軸を突か ないことを確認します。
- 3 作業機を上下してカバーの隙間が下表の範 囲であることを確認します。



ジョイントの 種類	ジョイントの 切断寸法(mm)	カバーの隙間 (mm)
KG97	-	25 ~ 490
KG87	-	25 ~ 390
	-	0 ~ 245
B895SA	20	0 ~ 215
	50	0 ∼ 195
KGD106A	-	28 ~ 428
KGD96A	-	28 ~ 328
KGD91A	-	28 ~ 278
	30	28 ~ 248

トラクタからの取外し

⚠警告

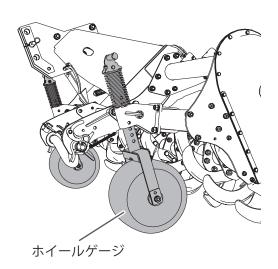


作業機を取外す場合は、平坦で地盤の しっかりした場所で、取外しのためのス ー 必ず実行 ペースが十分にとれる場所で行ってくだ さい。

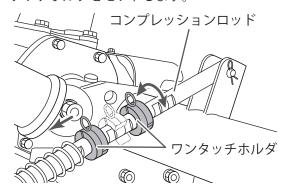
* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

1 トラクタから取外す姿勢にします。

- (1) ホイールゲージの穴位置を、作業機をトラクタ に装着したときと同じ位置にします。
 - ⇒作業機が前傾姿勢になります。



(2) コンプレッションロッドの一番下の溝に、ワン タッチホルダをセットします。



2 作業機を下げます。

- (1) トラクタ PTO の変速をニュートラルにします。
- (2) ポジションコントロールレバーを「下げる」に します。
- (3) 作業機を下げ、接地させます。

ジョイントの取外し(トラクタ側)

1 ジョイントを取外します。

⚠警告



ジョイントを取外すときは必ずトラクタ のエンジンを止め、PTO シフトレバーが _{必ず実行} ニュートラル(OFF)の位置になってい ることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

ジョイントを取外すときは、作業機を接 地させてから行ってください。

必ず実行 * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

- (1) セーフティーカバーのチェンを取外します。
- (2) トラクタ PTO 軸側のジョイントのノックピン を押しながら、ジョイントを引抜きます。
- (3) ジョイントハンガのフックを固定バネから取外 して下げ、ジョイントを乗せます。
- (4) ジョイントのスライド部が抜けないように、2 本のチェンを連結します。

2 トップリンクを取外します。

- (1) ホイールゲージが接地し、作業機が安定するま でトップリンクの長さを調整します。
- (2) トップリンクに力がかからなくなったところで トップリンクを取外します。

3 オートヒッチフックのロックを解除します。

⚠注意

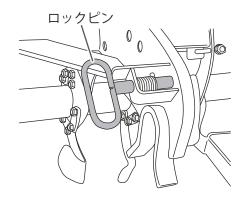


ロックを解除する際は、十分注意してく ださい。

注意

* オートヒッチバーが急に下り外れて、事 故・大ケガにつながる恐れがあります。

- (1) ロックピンを引っ張ります。
 - ⇒オートヒッチフックのロックが解除され、フッ クが開きます。
- (2) ロックピンを下図の位置にしておきます。



4 作業機をトラクタから取外します。

- (1) ポジションコントロールレバーを「下げる」に します。
 - ⇒作業機は外れます。

(取扱上の注意)

- 外れない場合は、場所が平坦でないなどの原因 があります。動作をやり直してください。
- トップリンクを外した状態で、作業機を大きく 上下させないでください。作業機が転倒する恐 れがあります。

移動・圃場への出入り

移動・圃場への出入りについての注意事項を以下に示します。 よく読み、内容を理解してから作業を行ってください。

危険



トラックへの積み込みや坂の上りの場 合、トラクタの前輪が浮き上がるときは、 フロントウエイトを付け、作業機を下げ てから上ってください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 警告



圃場に入るときは、必ず前進で速度を下 げ、うねや段差に対して直角に進んでく 必ず実行ださい。

うねが高いときは丈夫で滑り止めのある アユミ板を使用し、傾斜角が 14°以下に なるようにしてください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



移動の際は作業機を持ち上げ、油圧ロッ クをし、左右のブレーキを連結し、チェッ クチェンが張れていることを確認してく ださい。

* 転倒事故につながる恐れがあります。



前後左右に気をくばり、安全を確認しな がら走行してください。

必ず実行

高速運転、急発進、急ブレーキ、急旋回 はしないでください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注 意



移動の際は、EX エプロンをたたんでく ださい。

* 事故・ケガにつながる恐れがあります。

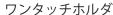
⚠ 注 意

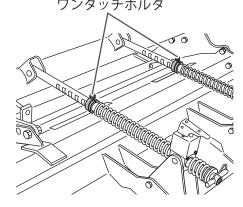


作業機の運搬、またはトラクタへ装着し ての移動は、エプロンが上下に揺れない ようにゆっくり移動してください。

エプロン調整に使用するワンタッチホル ダを、エプロンが揺れない位置まで下げ てください。

* エプロンが上下に大きく揺れ、機体が破 損し、事故・ケガにつながる恐れがあり ます。





作業のしかた

ここでは作業のしかたについて詳しく記載しています。

作業前によく読み、内容を理解してから作業をしてください。

危険



運転中トラクタと作業機の周囲には、補 助作業者や他の人を絶対に近づけないで ください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



次の作業をする場合は、必ずトラクタの 駐車ブレーキをかけ、PTO シフトレバー ー 必ず実行 を「中立」の位置にし、エンジンを停止 してください。

- 運転者が運転位置を離れて作業機を調 整するとき
- 爪軸などへの草やワラのからみ付きを 取除くとき
- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



傾斜地での急旋回は、ゆっくりと注意し て行ってください。

必ず実行 * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠注意



(SRZ の場合)

トラクタ PTO 変速設定は 1000 rpm に 設定してください。

* 事故・ケガ・故障につながる恐れがあり ます。



必ず実行

うね畦付近の作業は、作業機をうねに 引っかけないように、ゆっくりと注意し て行ってください。

* 事故・ケガ・故障につながる恐れがあり ます。

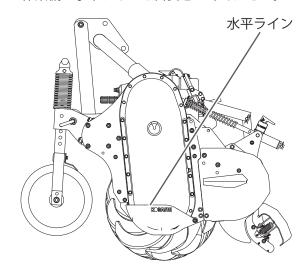
業機姿勢の確認

トップリンク長さを確認し、作業機の前後姿勢が正 しいか確認してください。

またトラクタ側の左右傾き調整を行い、作業機が左 右水平であるか確認してください。

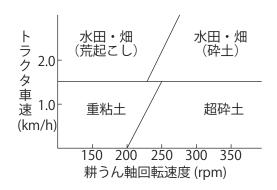
(お知らせ)

• 作業機の水平ラインを目安としてください。



作業速度と耕うん軸回転速度

(a) 作業目的と土地条件に合わせて、トラクタの車 速と耕うん軸回転速度を決めてください。 下図は作業の目安としてください。



- (b) 枕地耕うんは車速を落として耕うんしてくださ い。
- (c) エンジン回転は SRV の場合は、PTO 変速「1」 にて、PTO 軸を回転速度 540 rpm まで上げてく ださい。

一部チェンジギヤーの組合せでは、1000 rpm での使用が可能です。「耕うん軸回転速度の選 択」(→ p.39) の表に従って調整してください。 SRZ の場合は、PTO 変速を 1000 rpm に設定し てください。

エンジン回転を落として使用する場合は、PTO 変速を適宜上げて、車速に合った耕うん軸回転 速度を確保してください。

(取扱上の注意)

- 逆転土寄せ作業はしないでください。
- ・土地条件に応じた作業速度、PTO 軸回転速度、 深さを選んでください。

なお、石の多い圃場では、作業速度は遅くし、 PTO 軸回転速度も下げて使用してください。

耕うん軸回転速度

この作業機の耕うん軸回転速度は、チェンジギヤー の交換により変更できます。チェンジギヤーケース カバーを外してチェンジギヤーを交換してくださ

企警告



必ずトラクタのエンジンを止め、PTO シ フトレバーがニュートラル (OFF) の位 _{必ず実行}置になっていることを確認してください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠注意



耕うん作業後は手で触れないでくださ

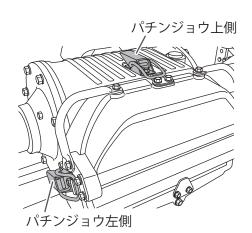
必ず実行 *オイル温度が80度以上になり、火傷す る恐れがあります。

■チェンジギヤーケースカバーの開け方

1 パチンジョウの3か所のうちはじめに左→ 右を取外し、その後、上の順に取外します。

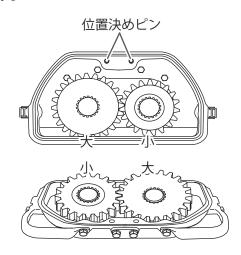
(取扱上の注意)

開けるときは、オイルがあふれないように作業 機を前傾にしてください。

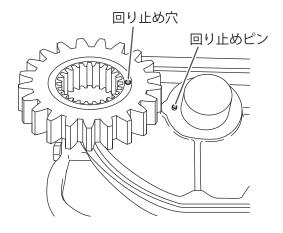


■チェンジギヤーの交換方法

- 1 予備のチェンジギヤーの左右位置は、大き さが組込ギヤーの逆に組込みます。
 - 左が大きい場合は、右に大きいギヤーを入れます。



- 2 左側の予備ギヤーは回り止めのピンと穴を 合わせて組込みます。
 - ピンと穴が正しく組込まれた状態でないと、 チェンジギヤーカバーの取付けができません。



■チェンジギヤーケースカバーの閉め方

1 パチンジョウの3か所のうちはじめに上を 固定し、その後、左→右の順に固定します。

取扱上の注意

- ・ 交換後は、パッキンが溝からはみ出さないよう に注意してください。
- 2 か所の位置決めピンに合わせてチェンジギャーカバーを取付けてください。
- ・必ず予備のギヤーをチェンジギヤーケースカバーに組込んで使用してください。

耕うん軸回転速度の選択

表中の②、〇、OP は以下を示します。

・ ◎:標準組込み耕うん軸回転速度

• ○:予備組込み耕うん軸回転速度

• OP: T > 3 > 3 > 5

SRV

トラクタ PTO 軸回転速度が 540 rpm の場合を示します。

ギヤ 組合		耕うん軸	HS • KZ • E • HSW • KZW •	A	S•HJ•J
А	В	回転速度	CV・SV 仕様	仕様	仕様
29	20	167 rpm	OP	OP	OP
28	21	181 rpm	OP	OP	0
27	22	197 rpm	0	0	0
26	23	214 rpm	OP	0	OP
25	24	232 rpm	0	OP	OP
24	25	252 rpm	0	OP	OP
23	26	273 rpm	OP	0	OP
22	27	297 rpm	0	0	0
21	28	323 rpm	OP	OP	0
20	29	351 rpm	OP	OP	OP

下表に示すギヤー組合せの場合は、トラクタ PTO 軸回転速度を 1000 rpm で使用可能です。

ギヤ 組合	アー	耕うん軸	HS·KZ· E·HSW· KZW·	A	2 ∙ HÍ ∙ 1
А	В	回転速度	CV・SV 仕様	仕様	仕様
29	20	309 rpm	OP	OP	OP
28	21	336 rpm	OP	OP	0
27	22	365 rpm	0	0	0
26	23	396 rpm	OP	0	OP

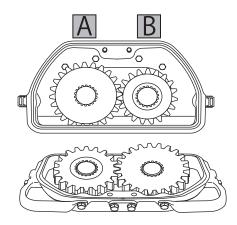
トラクタ PTO 回転速度を上げる場合は、耕うん軸回転速度が $160 \sim 400 \text{ rpm}$ の範囲に収まるようにチェンジギヤーを交換してください。

■ SRZ

トラクタ PTO 軸回転速度が 1000 rpm の場合を示 します。

ギ† 組合		耕うん軸	HS・KZ・E 仕様	J 仕様
А	В	回転速度	江水	1上作来
36	15	163 rpm	OP	OP
35	16	179 rpm	OP	OP
34	17	195 rpm	0	OP
33	18	213 rpm	OP	OP
32	19	232 rpm	OP	OP
31	20	252 rpm	OP	0
30	21	273 rpm	OP	OP
29	22	296 rpm	0	0
28	23	321 rpm	OP	OP
27	24	347 rpm	OP	ОР

トラクタ PTO 回転速度を上げる場合は、耕うん軸 回転速度が 160~400 rpm の範囲に収まるように チェンジギヤーを交換してください。



(取扱上の注意)

• SRZ の場合、チェンジギヤーは A に大きい方、 B に小さい方を組んでください。大小を逆に組 むと故障につながる恐れがあります。

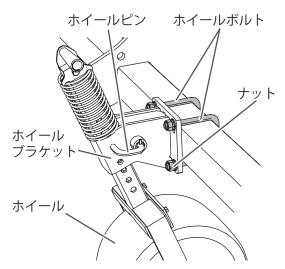
作業深さの調整

作業深さの調整は、ホイールゲージの上下調整、オー トロータリ(オプション)、またはトラクタの油圧 ポジションコントロールレバーで行ってください。

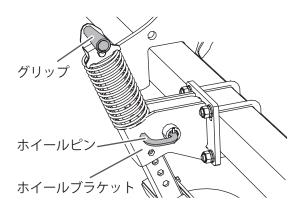
ホイールゲージの調整

耕深を安定させるために、以下を行ってください。

- ホイールブラケットを左右に動かし、トラ クタのタイヤトレッドとホイール位置を調 整します。
 - 左右調整はホイールブラケットを取付けている ホイールボルトのナットを緩めてください。
- 2 ホイールボルトのナットを締めて固定しま す。



- 3 ホイールゲージ高さを上下に調整して希望 の耕深を選びます。
 - 調整はホイールピンをホイールブラケットの上 下 2 個の穴に差し替えることにより、1.5 cm 間 隔で耕深を調整できます。



・ 爪回転半径の底から、ホイールゲージ接地面までの高さの目安は下記です。

(a) SRV (HS・KZ) の場合

最下げ〜最上げ:3 cm ~ 22.5 cm (1.5 cm 間隔)

仕様により± 1.5 cm 程度の差があります。

(b) SRZ (HS・KZ) の場合

最下げ〜最上げ : -1 cm 〜 20 cm (1.5 cm 間隔)

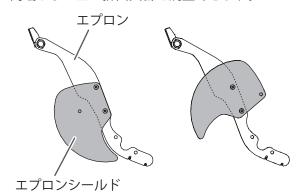
仕様により± 1.0 cm 程度の差があります。

(取扱上の注意)

- 左右ホイールゲージの穴位置は同じにしてください。作業機が傾いたり、作業機が損傷したりする恐れがあります。
- ホイールゲージの上下調整は、グリップを持って行ってください。
- ホイールピンの操作はホイールピン以外の部分を持たないようにしてください。

エプロンシールドの調整

エプロンシールドの向きを変えることで、エプロン 両端からの土の排出具合を調整できます。



(取扱上の注意)

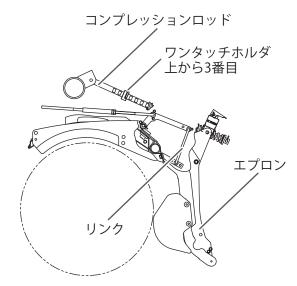
- ・必ずエプロンにエプロンシールドを取付けた状態で作業機を使用してください。作業機が破損する恐れがあります。
- エプロンシールドは、必ず図に示すいずれかの 向きで取付けてください。誤った向きで取付け た場合、作業機が破損する恐れがあります。

オートロータリ仕様(オプション)

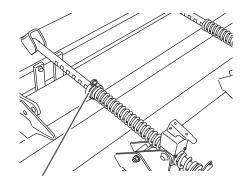
■オートロータリを取付けた場合の 耕深調節

トラクタの『取扱説明書』と『オートロータリ取付け要領書』を参照してください。

■オートロータリ作業時の取扱いに ついて



- (a) オートロータリを使用して作業を行うときは、 上図のようにワンタッチホルダを上から 3 番目 より下の位置にセットしてください。 1、2 番目の位置で使用すると、センサーまた はトラクタ本体が破損します。
- (b) エプロンをはね上げる場合は、オートロータリ 金具のリンク部分を取外してください。
- (c) オートロータリと作業機破損防止のため、移動・ 運搬時はワンタッチホルダをエプロンが上下に 大きく揺れない位置にセットしてください。



ワンタッチホルダ

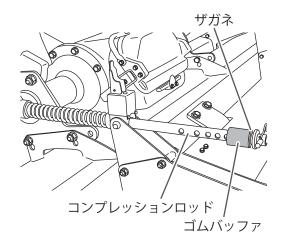
エプロンの調整

エプロンを調整することにより使用目的に応じた作 業機の性能(仕上がり精度、砕土、反転)を発揮す ることができます。

この作業機にはクイックアシストが装備されてい ます。操作方法は「クイックアシストの操作方法」 (→ p.46) を参照してください。

取扱上の注意

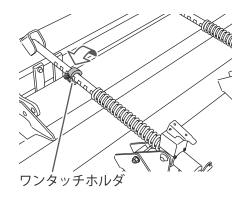
- 耕うん作業は必ずクイックアシストのロックが かかった状態で使用してください。
- はね上げロック装置を用いてエプロンをはね上 げた状態での耕うん作業、路上走行、トラクタ との脱着作業は行わないでください。
- コンプレッションロッド下側にゴムバッファを 装着した状態が標準状態です。ゴムバッファを 装着せずに作業を行うと、作業機が破損する恐 れがあります。



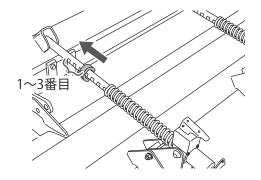
-般耕うんの場合

ワンタッチホルダを上から1~3番目の溝にセッ トし、上側のスプリングを弱めに効かせ、エプロン で押さえ過ぎないようにします。

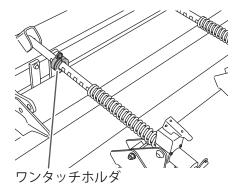
- ワンタッチホルダのコイル部分を横に向け ます。
 - ⇒解除されます



2 ワンタッチホルダを上から1~3番目の溝 に移動します。



- 3 ワンタッチホルダのコイル部分を上に向け ます。
 - ⇒ロックされます



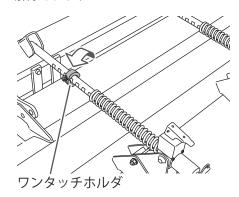
(取扱上の注意)

すべてのワンタッチホルダ位置は同じにしてく ださい。作業機が損傷する恐れがあります。

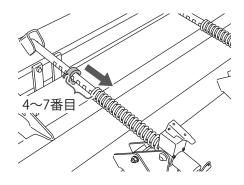
砕土耕うんの場合

ワンタッチホルダを上から4~7番目の溝にセットし、上側のスプリングを効かせ、エプロンの押さえを強くします。

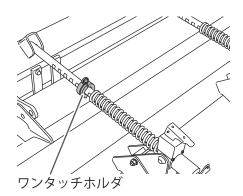
- 1 ワンタッチホルダのコイル部分を横に向けます。
 - ⇒解除されます



ワンタッチホルダを上から4~7番目の溝 に移動します。



- 3 ワンタッチホルダのコイル部分を上に向けます。
 - ⇒ロックされます



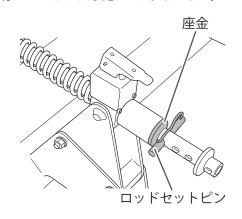
取扱上の注意

すべてのワンタッチホルダ位置は同じにしてく ださい。作業機が損傷する恐れがあります。

石の多い、湿田、粘土質圃場での耕うん

ワンタッチホルダを最上位置までいったん逃がし、 上側のスプリングをフリーにし、ロッドセットピン を下から2~6番目の穴に挿し、エプロンを少し 上げた状態にすると、土はけがよく所要馬力も少な くなります。

最上げ位置まで上げたワンタッチホルダは、いずれ かの溝にセットした状態にしてください。



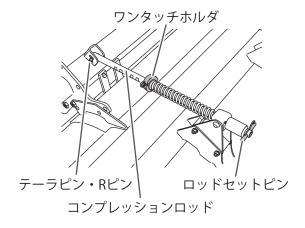
(取扱上の注意)

- エプロンをロッドセットピンで少し上げた状態では、クイックアシストの操作はできません。 クイックアシストを使用してエプロンをはね上げる場合は、ロッドセットピンを元の位置に戻しエプロンを一番下ろした状態にして行ってください。
- エプロンをロッドセットピンなどで上げた状態では、オートロータリを使用した作業はできません。

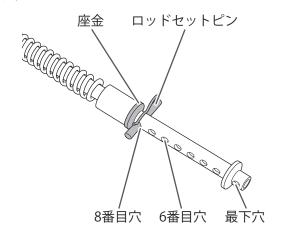
■さらにエプロンを高い位置にした い場合

以下の方法で、エプロンをさらに高い位置まで上げ ることができます。

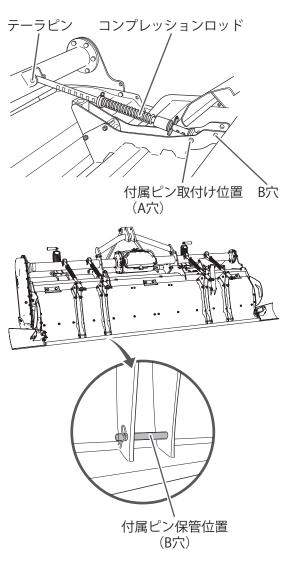
1 テーラピンを取外して、すべてのコンプレッ ションロッドを作業機から取外します。



2 ロッドセットピンを、コンプレッションロッ ド最下穴および6~8番目の穴に固定しま す。



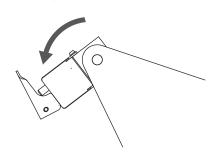
3 コンプレッションロッド最下穴とエプロン A 穴を、エプロンB穴の付属ピンを使って取 付けます。



4 すべてのコンプレッションロッドとフレームパイプを、テーラピンを使って取付けます。

(お知らせ)

コンプレッションロッドを取付ける前に、中央2か所のはね上げロック装置を必ず前方に倒してください。



EX エプロン

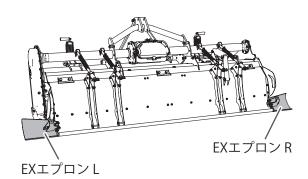
企注意



EX エプロンを開くときに、支点周りで 指や手を挟まないようにしてください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。

隣接部に盛る土をならす場合などに開いてください。





移動の際は、EX エプロンをたたんでく ださい。

必ず実行 *事故・ケガにつながる恐れがあります。

圃場の回りかた

⚠ 注 意



耕うん作業を行いながらの旋回は行わないでください。

禁止

* エプロン両端や EX エプロン、サイドディスクが破損し、事故・ケガにつながる恐れがあります。



旋回を行うときは、作業機を持ち上げてください。

必ず実行

* エプロン両端や EX エプロン、サイドディスクが破損し、事故・ケガにつながる恐れがあります。

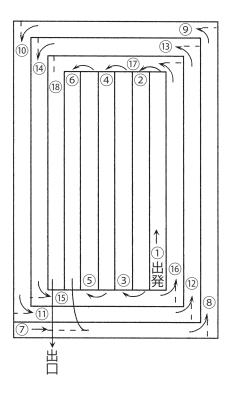


旋回時は周囲の障害物に注意してくだ さい。

注意

* エプロン両端や EX エプロンが破損し、 事故・ケガにつながる恐れがあります。

一般的に行われている隣接耕うんです。参考にしてください。うね際耕うんにおいては、サポートハウジングがうね際(チェンケース側が内側)になる方向で行ってください。



クイックアシストの操作方法

クイックアシストはガススプリングを使用した、エプロンはね上げ補助装置です。 クイックアシストを使用することで、エプロンはね上げ作業の負荷を軽減することができます。

注意事項

傷害事故防止のため、クイックアシストを操作する 場合、およびエプロンの上げ・下げ操作をする場合 は次のことを守ってください。

介危険



作業機が落下・転倒しないよう以下の作 業を行ってください。

- 必ず実行 ・ トラクタに装着した状態で操作をする
 - トラクタの駐車ブレーキをかける
 - エンジンを停止して油圧ロックを行う
 - 台などを作業機の下に置く
 - * 事故・大ケガにつながる恐れがあります

⚠ 注 意



作業機の周囲に補助作業者や他の人を 絶対に近づけないでください。

* ケガにつながる恐れがあります。



平坦で十分な広さがあり地盤のしっかり した場所で行ってください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。



エプロンを操作する場合は、エプロンの 幅方向中央付近を両手でしっかりと持っ ー 必ず実行 てください。また、エプロン周辺の各可 動部や摺動部に手を置かないでくださ

* ケガにつながる恐れがあります。



作業は丈夫な手袋を着用し、作業中に周 辺部品に接触しないよう、注意して行っ _{必ず実行} てください。

* ケガにつながる恐れがあります。



エプロンハネアゲロックレバーの操作 は、しっかりとレバーを持って指を挟ま _{必ず実行} ないようにしてください。

* ケガにつながる恐れがあります。

(取扱上の注意)

- 耕うん作業は必ずアシスト装置のロックがか かった状態で使用してください。守らないと、 作業機が破損します。
- エプロンをはね上げて保持する場合、必ずはね 上げロックを使用してください。
- エプロンをはね上げた状態での耕うん作業 (「■さらにエプロンを高い位置にしたい場合」 (→ p.44) を除く)、路上走行、トラクタとの 脱着作業は行わないでください。

(お知らせ)

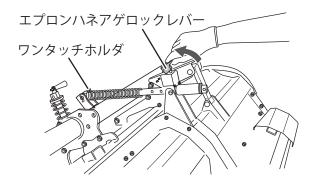
- オートロータリを取付けている場合は、オート ロータリ金具のリンク部分を取外し、はね上げ 操作を行ってください。
- クイックアシストを使用してエプロンをはね上 げる場合は、ロッドセットピンを元の位置に戻 し、エプロンを一番下ろした状態にして行って ください。
 - エプロンをロッドセットピンで持ち上げた状態 では、クイックアシストの操作はできません。 $(\rightarrow p.43)$
- 土や石がクイックアシスト周辺に付着している 場合は、きれいに清掃を行ってください。 支点部、摺動部へグリスアップしてから、エプ ロンのはね上げ作業を行ってください。「■ク イックアシスト」(→ p.68)

使用方法

エプロンをはね上げるとき

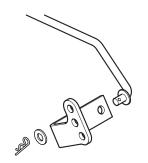
爪交換などの保守・点検作業のときに、エプロンを はね上げて自動ロックすることができます。ここで は、その手順を説明します。

1 ワンタッチホルダを最上げ位置まで上げ、 2 か所のエプロンハネアゲロックレバーを起 こします。



取扱上の注意

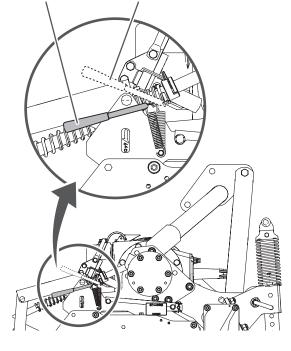
オートロータリを取付けている場合は、『オートロータリ取付け要領書』を参照してオートロータリ金具のリンク部分を取外してください。



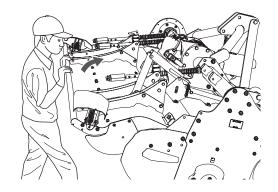
2 エプロンを押し下げながら、アシストハンドルを持ち上げ、アシスト装置のロックを解除します。



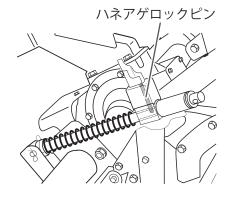




3 両手でエプロンを持ち上げます。



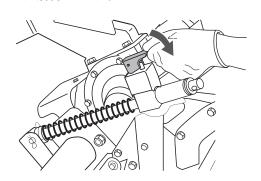
⇒ハネアゲロックピンがコンプレッションロッド の穴に入りロックされていることを確認します。



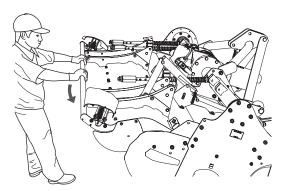
エプロンを下ろすとき

はね上げたエプロンを下ろすときの手順を説明しま す。

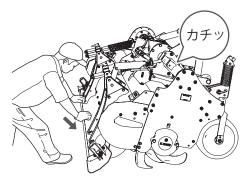
1 2 か所のエプロンハネアゲロックレバーを倒 し、解除します。



2 エプロンを少し持ち上げ、はね上げロック を解除し、ゆっくりとエプロンを下へ押し 下げます。



3 エプロンを下まで下ろした後、待機状態に あるアシスト装置のロックが「カチッ」と 音がする(ロック状態)までエプロンを押 し下げます。

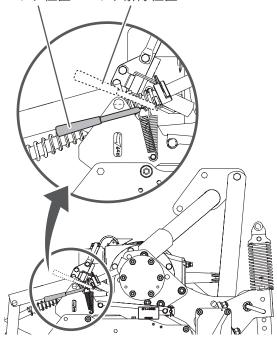


4 エプロンを押し下げると同時に、ロックが確実にかかっていることを確認します。

(取扱上の注意)

・ロックが不十分の場合、十分な整地性能を発揮 できません。また、作業機を破損する恐れがあ ります。

ロック位置 ロック解除位置



エプロンのはね上げ動作を途中で止めたときは?

エプロンのはね上げ動作を途中で止め、エプロンを下ろした場合などは、「エプロンを下ろすとき」の手順②(→p.48)のロック待機状態への自動移行が行われないため、エプロンを押し下げてもロックがかかりません。

この場合はアシストハンドルを下に押し、ロック待機状態にした後、エプロンを押し下げ、ロックをかけてください。

耕うん爪の取付け

耕うん爪が摩耗すると作業状態が悪くなるため、早めに交換してください。 以下の手順で、耕うん爪を交換してください。

介危険



作業機が落下しないよう以下の作業を 行ってください。

- 必ず実行・トラクタの駐車ブレーキをかける
 - エンジンを停止して油圧ロックを行う
 - 台などを作業機の下に置く
 - * 事故・大ケガにつながる恐れがあります。

⚠ 注 意



平坦で十分な広さがあり、地盤のしっか りした場所で行ってください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。



エプロンをしっかりと固定して、落下し ないようにしてから行ってください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。



ボルト、ナットを緩めたり、締付けたり する場合は、メガネレンチが確実に入っ _ _{必ず実行} た状態で作業してください。

* ケガにつながる恐れがあります。



作業は丈夫な手袋を着用して行ってくだ さい。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。

(取扱上の注意)

・ 爪の交換は、1 本ずつ外して同じ形状、同じ刻 印の爪を取付けてください。

一度に全部外して交換すると、配列を誤る恐れ があります。

爪の配列を誤ると、異常な振動が発生したり、 仕上がりが悪くなったりします。

・ 爪はしっかりと締付けてください。

ボルト (M16): 156.8 ~ 192.0 N・m

 $(1600 \sim 1960 \, \text{kgf} \cdot \text{cm})$

ボルト (M12): 130.0 ~ 150.0 N・m

 $(1326 \sim 1530 \text{ kgf} \cdot \text{cm})$

新しく交換した場合は緩みやすいため、作業開 始1時間で増締めをしてください。

耕うん爪の種類と用途

SRV

フランジ仕様

耕うん爪の種類	 用途 	仕様 (1 フランジの 爪取付け本数)
快速爪 (HS2995Z)	一般耕うん用	HS (4 本)
快適爪 (KZ2705)	一般耕うん用 (すき込み・耐久)	KZ (4 本)
強力爪 (113EZ)	一般耕うん用 (強度・耐久)	E (4 本)
快速爪 (HS2596Z)	一般耕うん用 (高速)	A (エース) (4 本)
S Л (SE3012Z)	畑砕土用 (浅)	S (4 本)
S Л (SE2412Z)	畑砕土用 (浅)	HJ (6 本)
S Л (SE3012Z)	畑砕土用 (深)	J (6本)
L Л (С29130)	礫地用	CV (6 本)
S Л (S30130)	畑砕土用 (礫)	SV (6 本)

ホルダ仕様

耕うん爪の種類	用途	仕様
快速爪 (HS2660Z)	一般耕うん用	HSW
快適爪(KZ3545)	一般耕うん用 (すき込み・耐久)	KZW

■ SRZ

フランジ仕様

耕うん爪の種類	用途	仕様 (1 フランジの 爪取付け本数)		
快速爪 (HS2995Z)	一般耕うん用	HS (4 本)		
快適爪 (KZ2705)	一般耕うん用 (すき込み・耐久)	KZ (4 本)		
強力爪(113EZ)	一般耕うん用 (強度・耐久)	E (4 本)		
S 爪 (SE3012Z)	畑砕土用 (深)	J (6 本)		

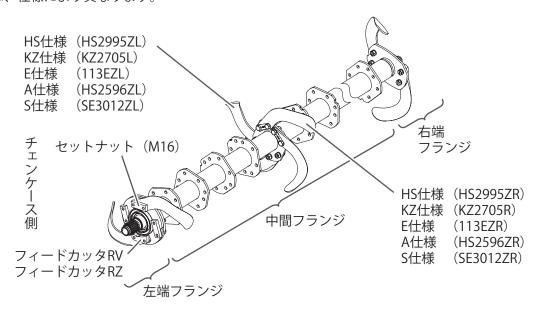
耕うん爪について

SRV(HS・KZ・E・A・S 仕様)、SRZ(HS・KZ・E 仕様)

■爪配列

爪配列はらせん配列です。

爪の形状は、仕様により異なります。



■耕うん爪、取付けボルト

	耕う	ん爪		取付けボルト(P1.5 8T)								
型式	左 (L)	右 (R)	M16 × 39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 40 BT SW	M16 × 45 BT SW	M16 × 55 BT SW	フィード カッタ RV	フィード カッタ R	セット ナット M16		
SRV221 (HS·KZ·E·A·S)	22	22	41	82	2	4	4	1	1	3		
SRV241 (HS·KZ·E·A·S)	24	24	45	90	2	4	4	1	1	3		
SRV261 (HS·KZ·E·A·S)	26	26	49	98	2	4	4	1	1	3		
SRV281 (HS·KZ·E·A·S)	28	28	53	106	2	4	4	1	1	3		
SRV301 (HS·KZ·E·A·S)	30	30	57	114	2	4	4	1	1	3		

	耕う	ん爪	取付けボルト(P1.5 8T)								
型式	左 (L)	右 (R)	M16 × 39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 40 BT SW	M16 × 50 BT SW	M16 × 60 BT SW	フィード カッタ RZ	セット ナット M16		
SRZ241 (HS·KZ·E)	24	24	45	90	2	4	4	2	3		
SRZ261 (HS·KZ·E)	26	26	49	98	2	4	4	2	3		
SRZ281 (HS·KZ·E)	28	28	53	106	2	4	4	2	3		
SRZ301 (HS·KZ·E)	30	30	57	114	2	4	4	2	3		
SRZ351 (HS·KZ·E)	36	36	69	138	2	4	4	2	3		

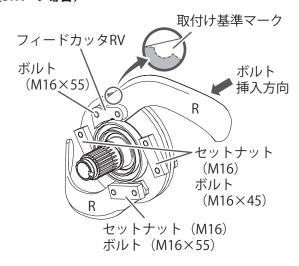
■左端フランジへの取付け

耕うん爪 R(2本)をフランジの左外側面に内向き に取付けてください。

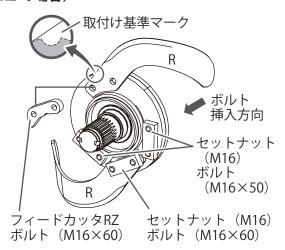
この場合、フランジ側からボルトとSワッシャを入 れ、フィードカッタまたはセットナットで耕うん爪 を挟んで固定します。

- 取付け基準マーク位置にフィードカッタ RV も しくはフィードカッタ RZ を使用します。
- 反対位置はセットナットを使用します。

(SRV の場合)

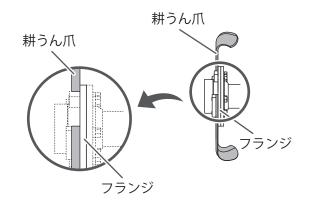


(SRZ の場合)



(取扱上の注意)

耕うん爪 R (2本) は、フランジの左外側面に 取付けてください。作業機が損傷する恐れがあ ります。



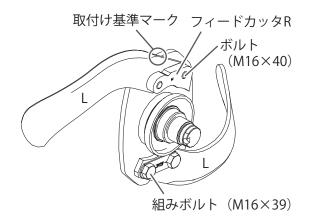
■右端フランジへの取付け

耕うん爪 L(2本)をフランジの右外側面に内向き に取付けてください。

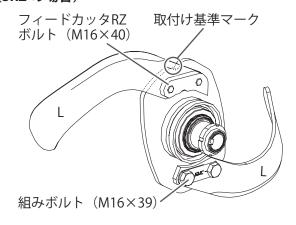
この場合、取付け基準マーク位置はフランジ側から ボルトと S ワッシャを入れ、フィードカッタ R で 耕うん爪を挟んで固定します。

もう一方は爪側から組みボルトを入れ爪を挟み、フ ランジ側のナットとSワッシャで固定します。

(SRV の場合)

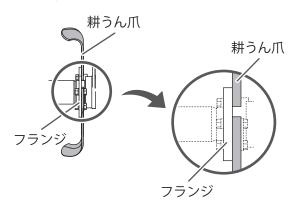


(SRZ の場合)



(取扱上の注意)

耕うん爪 L(2本)は、フランジの右外側面に 取付けてください。作業機が損傷する恐れがあります。



■中間フランジへの取付け

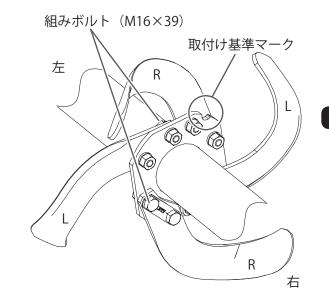
各フランジに耕うん Π L・R(各 2 本)を取付けてください。

(取扱上の注意)

・ 耕うん爪を取付けるときは、フランジへの取付け面に注意してください。 耕うん爪 L・R(各1本)を1組とし、1組はフランジの左側面に、もう1組は右側面に取付けてください。

(SRV、SRZ 共通)

取付け基準マークのところに耕うん爪 R をフランジの左側面に取付けます。隣接する耕うん爪 L は同じ左側面に、その他の爪は右側面に取付けます。組みボルト(M16 × 39)は左右それぞれ爪側から挿入し、フランジ側のナットと S ワッシャで固定します。

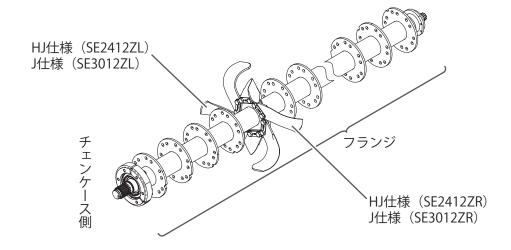


SRV(HJ・J仕様)

■爪配列

爪配列はらせん配列です。

爪の形状は、仕様により異なります。



■耕うん爪・取付けボルト

	耕う	んΠ	取付けボルト(P1.5 8T)							
型式	左 (L)	右 (R)	M16 × 39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 45 BT SW	セット ナット JL	フィード カッタ	コガタ ボルト 2P M10 × 20 P1.5		
SRV201 (J)	33	33	66	132	6	3	1	2		
SRV221 (J)	36	36	72	144	6	3	1	2		
SRV241 (J)	39	39	78	156	6	3	1	2		
SRV261 (HJ·J)	42	42	84	168	6	3	1	2		
SRV281 (HJ·J)	45	45	90	180	6	3	1	2		
SRV301 (HJ)	48	48	96	192	6	3	1	2		

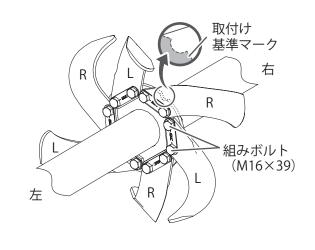
■フランジへの取付け

フランジの左側に L・R 各 3 本の耕うん爪を取付け てください。

取付け基準マークのところにR爪を取付けます。そ の他の爪は、フランジの左側に R、L の順番に取付 けます。組みボルト(M16 × 39)は爪側から挿入し、 フランジ側のナットとSワッシャで固定します。

(取扱上の注意)

・爪を取付けるときは、フランジへの取付け面に 注意してください。

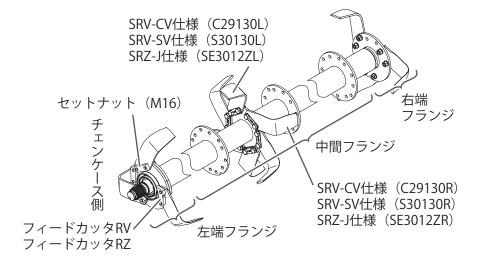


SRV(CV・SV 仕様)、SRZ(J 仕様)

■爪配列

爪配列はらせん配列です。

爪の形状は、仕様により異なります。



■耕うん爪・取付けボルト

	耕うん爪			取付けボルト(P1.5 8T)								
型式	左 (L)	右 (R)	M16 × 39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 40 BT SW	M16 × 45 BT SW	M16 × 55 BT SW	フィード カッタ RV	フィード カッタ R	セット ナット M16		
SRV201CV SRV201SV	24	24	44	88	2	2	6	1	1	3		
SRV221CV SRV221SV	27	27	50	100	2	2	6	1	1	3		

	耕うん爪		取付けボルト(P1.5 8T)								
型式	左 (L)	右 (R)	M16×39 組み BT	M16 NT SW	M16 × 40 BT SW	M16 × 50 BT SW	M16 × 60 BT SW	フィード カッタ RZ	フィード カッタ R	セット ナット M16	
SRZ281J	45	45	86	172	2	2	6	1	1	3	
SRZ301J	48	48	92	184	2	2	6	1	1	3	
SRZ351J	54	54	104	208	2	2	6	1	1	3	

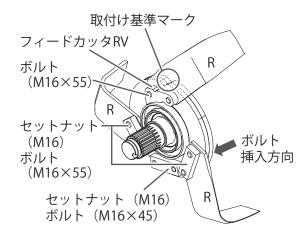
■左端フランジへの取付け

耕うん爪 R (3本) をフランジの左外側面に内向き に取付けてください。

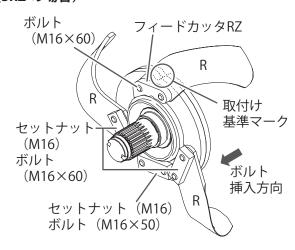
この場合、フランジ側からボルトとSワッシャを入 れ、フィードカッタまたはセットナットで耕うん爪 を挟んで固定します。

- 取付け基準マーク位置にフィードカッタ RV も しくはフィードカッタ RZ を使用します。
- その他の位置はセットナットを使用します。

(SRV の場合)

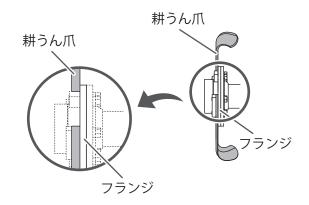


(SRZ の場合)



(取扱上の注意)

・耕うん爪 R (3本) は、フランジの外側面に取 付けてください。作業機が損傷する恐れがあり ます。



■右端フランジへの取付け

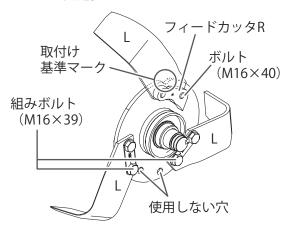
耕うん爪 L (3 本) をフランジの右外側面に内向き に取付けてください。

この場合、取付け基準マーク位置はフランジ側からボルトとSワッシャを入れ、フィードカッタで耕うん爪を挟んで固定します。

その他の位置は爪側から組みボルトを入れ爪を挟み、フランジ側のナットとSワッシャで固定します。

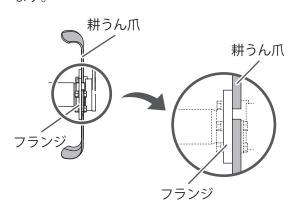
・ 爪は3等分となるよう取り付けてください。取付け基準マークの対面となる2つの穴は使用しません。

(SRV・SRZ 共通)



(取扱上の注意)

耕うん爪L(3本)は、フランジの外側面に取付けてください。作業機が損傷する恐れがあります。



■中間フランジへの取付け

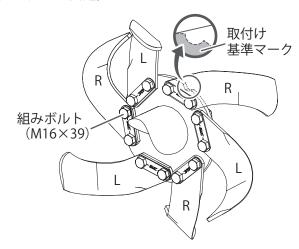
フランジの左側に耕うん爪 L・R(各3本)を取付けてください。

取付け基準マークのところに耕うん爪 R を取付けます。その他の爪は、図のようにフランジの左側面に R-L、R-L、R-L の順番になるように取付けます。 組みボルト($M16 \times 39$)は爪側から挿入し、フランジ側のナットと S ワッシャで固定します。

取扱上の注意

・ 耕うん爪 L (3 本) を取付けるときは、フラン ジへの取付け面に注意してください。

(SRV、SRZ 共通)



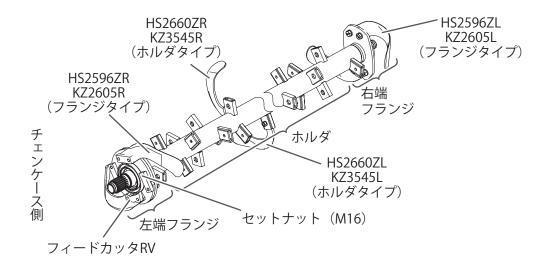
SRV(HSW·KZW 仕様)

■爪配列

爪配列は山形配列です。

両端はフランジタイプ爪、中間はホルダタイプ爪を取付けます。

爪の形状は、仕様により異なります。



■耕うん爪・取付けボルト

(左端/右端フランジ部)

	耕うん爪		取付けボルト(P1.5 8T)							
型式	左 (L)	右 (R)	M16×39 組み BT	M16 NT	M16 × 40 BT	M16 × 45 BT	M16 × 55 BT	カッタ	フィード カッタ R	セットナット
	(L)	(11)		SW	SW	SW	SW	RV		M16
SRV241 (HSW·KZW)	2	2	1	2	2	4	4	1	1	3
SRV261 (HSW·KZW)	2	2	1	2	2	4	4	1	1	3
SRV281 (HSW·KZW)	2	2	1	2	2	4	4	1	1	3
SRV301 (HSW)	2	2	1	2	2	4	4	1	1	3
SRV351 (HSW)	2	2	1	2	2	4	4	1	1	3

(ホルダ部)

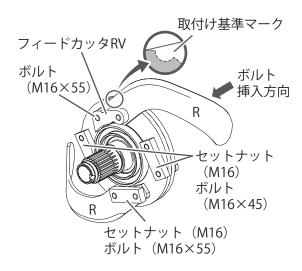
	耕う	ん爪	取付けボルト (P1.25 11T)		
型式	左 (L)	右 (R)	M12 × 30 (B=21) BT NT (6T) SW		
SRV241 (HSW·KZW)	23	23	46		
SRV261 (HSW·KZW)	26	26	52		
SRV281 (HSW·KZW)	28	28	56		
SRV301 (HSW)	29	29	58		
SRV351 (HSW)	34	34	68		

■左端フランジへの取付け

耕うん爪 R(2本)をフランジの左外側面に内向きに取付けてください。

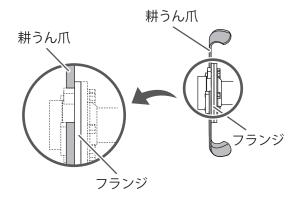
この場合、フランジ側からボルトとSワッシャを入れ、フィードカッタまたはセットナットで耕うん爪を挟んで固定します。

- 取付け基準マーク位置にフィードカッタ RV を 使用します。
- 反対位置はセットナットを使用します。



取扱上の注意

耕うん爪R(2本)は、フランジの外側面に取付けてください。作業機が損傷する恐れがあります。

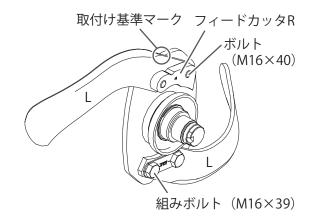


■右端フランジへの取付け

耕うん爪 L(2本)をフランジの右外側面に内向き に取付けてください。

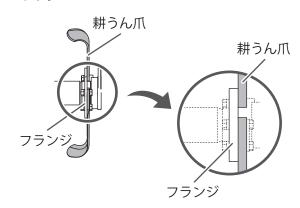
この場合、取付け基準マーク位置はフランジ側から ボルトとSワッシャを入れ、フィードカッタRで 耕うん爪を挟んで固定します。

もう一方は爪側から組みボルトを入れ爪を挟み、フランジ側のナットとSワッシャで固定します。



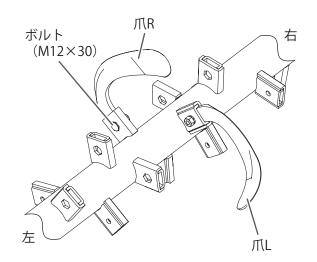
取扱上の注意

耕うん爪L(2本)は、フランジの外側面に取付けてください。作業機が損傷する恐れがあります。



■ホルダへの取付け

作業機後方より見て、右側に丸穴があるホルダに耕 うん爪R、左側に丸穴があるホルダに耕うん爪Lを 差込みます。ボルトは六角穴側から入れ、丸穴側の ナットとSワッシャで固定します。



作業機本来の性能を、十分にまた長期間にわたって発揮させるためには、定期的な保守・点検が必要です。 また、故障を未然に防ぐため、作業機の状態を常に知っておくことも大切です。

危 险



作業機をトラクタに装着して点検を行う 場合は、トラクタのエンジンを止め、駐 車ブレーキをかけてから行ってくださ い。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



作業機を地面に降ろしてから行ってくだ

必ず実行 作業機を持ち上げた状態で点検する必要 がある場合は、トラクタの駐車ブレーキ をかけ、エンジンを停止して油圧ロック を行い、台などを作業機の下に置き、作 業機が落下しないようにしてから行って ください。

* 事故・大ケガにつながる恐れがあります。



エプロンを持ち上げる際は、作業機が落 下・転倒しないよう以下の作業を行って 必ず実行ください。

- トラクタに装着した状態で操作をする
- トラクタの駐車ブレーキをかける
- エンジンを停止して油圧ロックを行う
- 台などを作業機の下に置く
- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります

企注意



平坦で十分な広さがあり、地盤のしっか りした場所で行ってください。

必ず実行 * ケガにつながる恐れがあります。

(取扱上の注意)

ガススプリングのピストンロッドへは、注油し ないでください。

注油すると、シールの耐久性がなくなり、油漏 れが起こる恐れがあります。

- ガススプリングに衝撃を加えないでください。 油漏れ、作動不良、破損の原因になります。
- ガススプリングを分解しないでください。 高圧ガスが封入されているため、分解すると非 常に危険です。

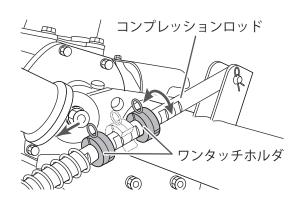
保守・点検の準備

トラクタに装着しての場合

- 1 トラクタを平坦な広い場所に置きます。
- エンジンを止め、駐車ブレーキをかけます。
- 3 作業機を地面に下ろしてから行います。
 - 作業機を持ち上げた状態で点検する必要がある 場合は、油圧ロックを締めます。
- 4 台などを耕うん軸の下に置き、作業機が落 下しないようにします。

作業機単体での場合

- 作業機を平坦な広い場所に置きます。
- 2 ホイールゲージを接地させ、作業機を転倒 させないようにしてください。
- 3 コンプレッションロッドの一番下の溝に、 ワンタッチホルダをセットします。



保守・点検一覧表

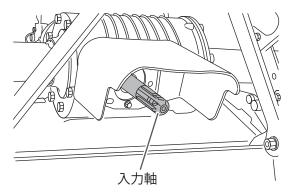
		親	品の場	合					150 時	
No.	作業項目	使い はじめ	1時間使用後	50 時間 使用後	作業前	作業後	1か月ごと	50 時間 ごと	間ごと または 1 年ごと	随時
1	オイル量・オイル漏れの点検 (ギヤーケース、チェンケース、 サポートハウジング)	0			0					
	オイルの交換 (ギヤーケース、チェンケース、 サポートハウジング)			0					0	
	オイルシール・パッキンの点検 (ギヤーケース、チェンケース、 サポートハウジング)								0	
2	グリスアップ・塗布			:						
	① ジョイント									
	(1) グリスニップル				0					
	(2) スプライン				0					
	(3) ノックピン					0				
	(4) シャフト					0				
	② エプロンヒンジ					0				
	③ エプロンハネアゲロックレバー				0					
	④ クイックアシスト				0					
	⑤ 人力軸					0				
	⑥ オートヒッチアームのレバー、 フック					0				
	⑦可動部への注油					0				
	⑧ ホイールゲージ・ グリスニップル(SRZ 仕様)							0		
3	無塗装部へのサビ止め								0	
	エプロンのはね上げ									0
5	セットナット JL の交換 SRV (HJ・J 仕様)									
	各部のボルト・ナットの点検				0	0				
7	耕うん爪、爪ホルダの点検					0				
8	ジョイントのノックピンの点検				0					
9	フローティングシールの保守						0			
10	空転による作動確認				0					
11	警告表示ラベルの点検								0	
12	消耗品の早期交換								0	
13	オイルシールの組替え									0
14	フローティングシールの組替え (SRV 仕様)									0
15	作業機の水洗い					0				

作業内容

オイル量・オイル漏れの点検

■準備

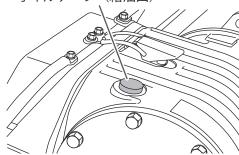
1 入力軸を水平にします。



■ギヤーケース

1 オイルゲージを抜いてから先端をきれいに 拭き、ネジ込まない位置まで再び差込みま す。

オイルゲージ (給油口)



- 🔽 ゲージの切り込み線までオイルがあるか確 認します。
 - ・ 少ない場合は補給します。

	型式	使用オイル		
SRV	全仕様	ギヤーオイル #90		
SRZ	HS・KZ・E 仕様	ギヤーオイル #90		
	J仕様	ギヤーオイル #140		

3 確認後、オイルゲージをしっかりとねじ込 みます。

4 周囲からオイル漏れがないか確認します。 (オイルシール、パッキンなど)

企注意

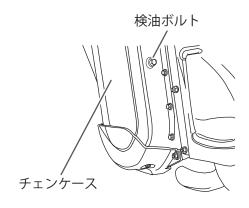


耕うん作業後は手で触れないでくださ

* オイル温度が80度以上になり、火傷す る恐れがあります。

■チェンケース

チェンケースの後部にある検油ボルトを緩 めます。



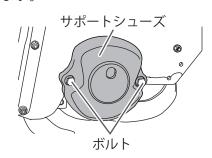
- 2 オイルが検油ボルト面まであるか確認しま す。
 - 少ない場合は、検油ボルト面まで給油口から補 給します。

	型式	使用オイル		
SRV	全仕様	ギヤーオイル #90		
SRZ	HS・KZ・E 仕様	ギヤーオイル #90		
	J仕様	ギヤーオイル #140		

3 チェンケース周囲からオイル漏れがないか 確認します。(オイルシール、パッキンなど)

■サポートハウジング

2本のボルトを緩め、サポートシューズを外 します。

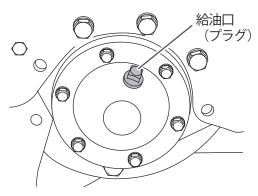


(取扱上の注意)

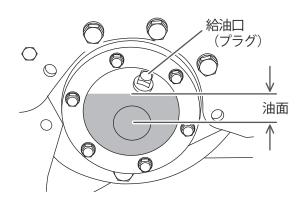
・ サポートシューズ内の 3 本のボルトは緩めない でください。

爪軸が落下し作業機が破損する恐れがありま す。

給油口のプラグを外します。



- 3 油面が軸心から給油口までの範囲であるか 確認します。
 - ・ 少ない場合は補給します。(ギヤーオイル #90)



- 4 プラグのネジ部にシールテープを巻付け、 プラグを検油口に再取付けします。
- 5 給油が終ったらサポートシューズを取付け ます。
- **6** 周囲からオイル漏れがないか確認します。 (オイルシール、パッキンなど)

オイルの交換

⚠注意



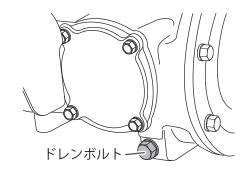
オイル交換を行うときは、必ず別の容器 に受けてから行ってください。

* 地面への垂れ流しや川への廃棄は、環境 汚染につながります。

■ギヤーケース

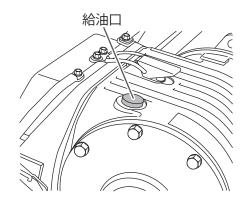
	型式	使用オイル	オイル量
SRV	全仕様	ギヤーオイル #90	3.5 L
CD7	HS・KZ・E 仕様	ギヤーオイル #90	5.5 L
JNZ	J 仕様	ギヤーオイル #140	5.5 L

- 1 ドレンボルトを外して古くなったオイルを 抜きます。
 - SRZ には前後にドレンボルトがあります。



2 古くなったオイルを抜いたら、ドレンボル トを取付けます。

3 規定量のギヤーオイルを給油口から入れま す。



4 周囲からオイル漏れがないか確認します。 (オイルシール、パッキンなど)

■チェンケース

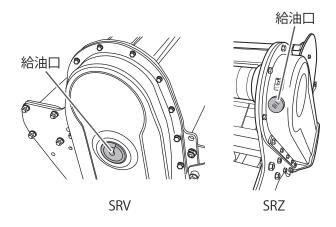
	型式	使用オイル	オイル量
SRV	全仕様	ギヤーオイル #90	4.0 L
CD7	HS・KZ・E 仕様	ギヤーオイル #90	4.2 L
SNZ	J仕様	ギヤーオイル #140	4.2 L

チェンケースシューズを取外し、ドレンボ ルトを外してオイルを抜きます。



2 オイルを抜いたら、ドレンボルトとチェン ケースシューズを取付けます。

規定量のギヤーオイルを給油口から入れま す。

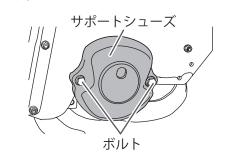


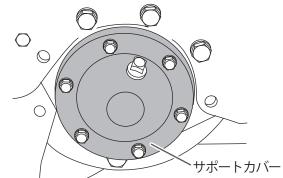
4 周囲からオイル漏れがないか確認します。 (オイルシール、パッキンなど)

■サポートハウジング

型式	使用オイル	オイル量		
SRV、SRZ	ギヤーオイル #90	0.1 L		

2本のボルトを外し、サポートシューズを外 し、サポートカバーを外してオイルを抜き ます。



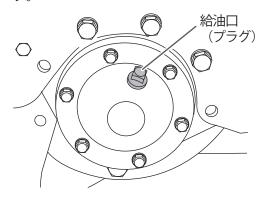


(取扱上の注意)

・ サポートシューズ内の 3 本のボルトは緩めない でください。

爪軸が落下し作業機が破損する恐れがありま す。

- 2 オイルを抜いたら、サポートカバーを取付 けます。
- 3 規定量のギヤーオイルを給油口から入れま す。



- プラグのネジ部にシールテープを巻付け、 プラグを検油口に再取付けします。
- 5 給油が終ったらサポートシューズを取付け ます。
- **6** 周囲からオイル漏れがないか確認します。 (オイルシール、パッキンなど)

グリスアップ・塗布

(取扱上の注意)

• グリスはエピノックグリース AP(N)2 (ENEOS (株)) または同等品(リチウムグリース)を使 用してください。

■ジョイント

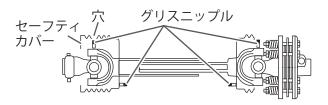
<毎作業前>

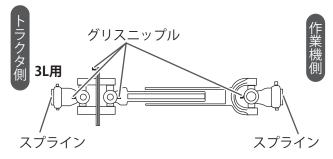
1 ジョイントの各部(グリスニップル、スプ ライン) にグリスアップします。

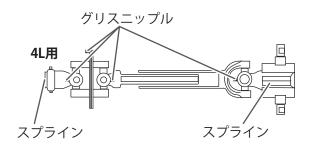
2L用(CV・SV仕様以外)



2L用 (CV・SV仕様だけ)



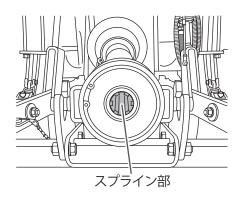




2 4 セットジョイントの場合、スプライン部を 掃除しグリスを塗布します。

(取扱上の注意)

• スプライン部がサビたり傷ついたりすると、装 着できなくなります。ゴミがかからないように してください。



<毎作業後>

1 ノックピンへ注油します。

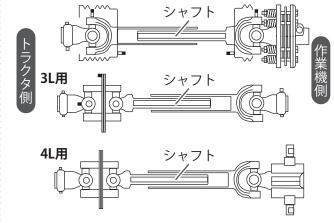


2 ジョイントのシャフト摺動部にグリスを塗 布します。

2L用(CV・SV仕様以外)

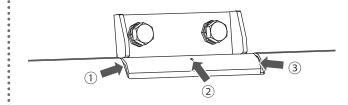


2L用 (CV・SV仕様だけ)



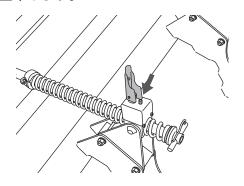
■エプロンヒンジ

エプロンヒンジにグリスを塗布、注入しま す。(下図矢印①~③)



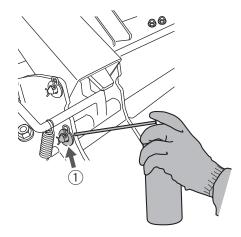
■エプロンハネアゲロックレバー

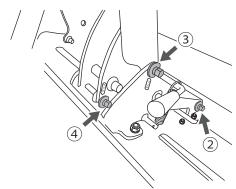
エプロンハネアゲロックレバーへグリスを 塗布します。

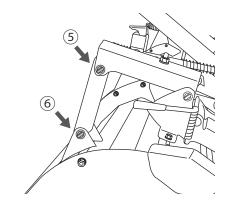


■クイックアシスト

クイックアシストのリンク各部ピン周り(下 図矢印①~⑥) へは、使用時ごとにグリス を塗布します。

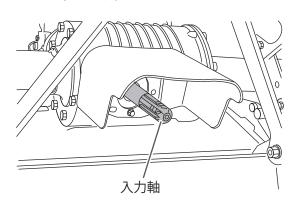






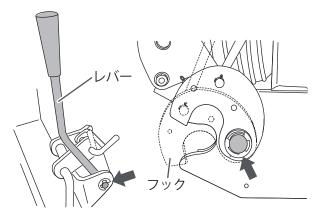
■入力軸

トラクタの PTO 軸と作業機の入力軸にグリ スを塗布します。



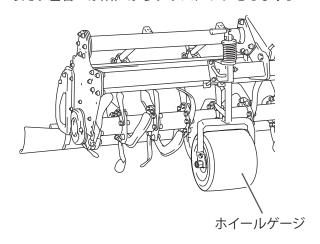
■オートヒッチアームのレバー、フック

オートヒッチアームのレバーとフックの支 点部分にオイルを適量塗布します。

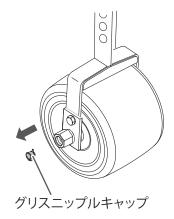


■ホイールゲージ(SRZ 仕様)

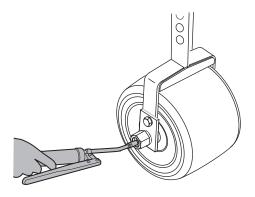
ホイールゲージのグリスニップル (ホイール1個 あたり左右2か所)からグリスアップをします。



グリスニップルキャップを取外します。



- グリスニップルに付着している土を取除き ます。
- 3 新しいグリスが出てくるまで、グリスニッ プルからグリスを注入します。



4 グリスニップルキャップを取付けます。

無塗装部へのサビ止め

無塗装部へは、サビ止めのためのグリスを塗布して ください。

取扱上の注意

• グリスはエピノックグリース AP(N)2 (ENEOS (株)) または同等品(リチウムグリース)を使 用してください。

エプロンのはね上げ

エプロンをはね上げて爪交換などの保守・点検作業 をするとき、ワンタッチでエプロンをはね上げ自動 ロックにすることができます。

介 危 険



エプロンを持ち上げる際は、作業機が落 下・転倒しないよう以下の作業を行って ください。

- トラクタに装着した状態で操作をする
- トラクタの駐車ブレーキをかける
- エンジンを停止して油圧ロックを行う
- 台などを作業機の下に置く
- * 事故・大ケガにつながる恐れがあります

■クイックアシストを使用する場合

「クイックアシストの操作方法」(→ p.46) を参照 してください。

■クイックアシストを使用しない場合

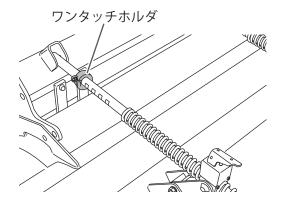
注意



クイックアシストを使用しないでエプロ ンのはね上げを行う場合、アシストハン ドルなどの周辺部品には触れないでくだ さい。

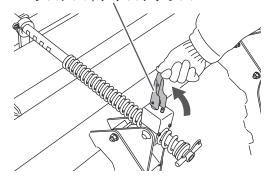
* ケガにつながる恐れがあります。

ワンタッチホルダを最上位置まで上げます。

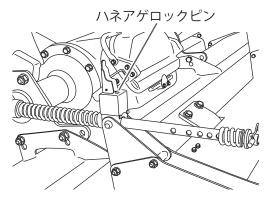


2 エプロンハネアゲロックレバー(2 か所)を 図のように起こします。

エプロンハネアゲロックレバー



3 エプロンを持ち上げます。



⇒ハネアゲロックピンで自動ロックされます。

(取扱上の注意)

オート金具を装備しているときは、リンクして いる部品を取外してください。



ハネアゲロックピンが 2 か所すべて、 ロックされていることを確認してくださ い。

* ロックが不完全な場合、エプロンが落下 してケガをする恐れがあります。

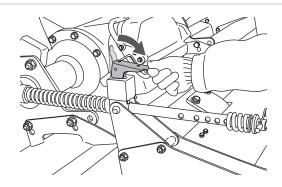
4 エプロンを下ろすときは、エプロンハネア ゲロックレバー(2か所)を倒します。

⚠注意



エプロンハネアゲロックレバーを持っ て、操作を行ってください。

必ず実行 * 指が挟まるなどのケガにつながる恐れが あります。



5 エプロンをしっかり支えながら、「カチッ」 と音がするまでエプロンを持ち上げ、ゆっ くりと下ろします。

(取扱上の注意)

・エプロンをハネアゲロックピンではね上げた状態で、耕うん作業・路上走行・トラクタとの着脱作業を行わないでください。作業機が破損する恐れがあります。

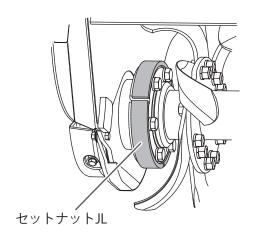
セットナット JL の交換 SRV(HJ・J 仕様)

セットナット JL は爪軸取付けフランジの保護も兼ねています。

破損した場合は、早期の交換を行ってください。

取扱上の注意

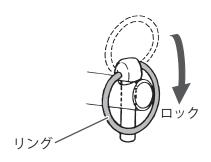
・セットナット ルの交換は、必ず 1 つずつ順に 取外し取付けを行ってください。同時に取外す と爪軸が落下する恐れがあります。



各部のボルト・ナットの点検

以下のことを確認してください。

- ・各部のボルト・ナット類に緩みはないか 増締めしながら確認 (特に、耕うん爪取付けボルトやマスト取付け ボルトは緩みやすいため、点検が必要です。)
- ピン類がすべてそろっているか
- ガンマピンのリングが確実にロックされているか



耕うん爪、爪ホルダの点検

「耕うん爪の取付け」(→ p.50) に従って、以下のことを確認してください。

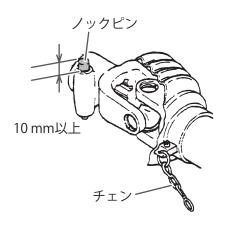
- ・ 耕うん爪が摩耗していないか
- 爪ホルダが摩耗、折損していないか

異常が見つかった場合、新しいものと交換してくだ さい。

ジョイントのノックピンの点検

トラクタ側と作業機側のノックピンについて、以下 のことを確認してください。

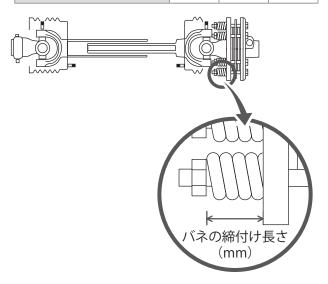
- ノックピンが正確に軸溝にはまっているか。
- ピンの頭が 10 mm 以上出ているか。



■スリップクラッチ付ジョイント (B895SA) の調整

出荷時は 2200 N・m でセットしています。使用 中にクラッチ板の摩耗で設定トルクが下がるの で、バネの締付け長さを確認し、調整してくだ さい。また、出荷時とバネの締付け長さを変え ることで伝達トルクの設定を変更することがで きます。

バネの締付け長さ(mm)	30.0	29.7	29.5
伝達トルク (N・m)	1800	2200	2400



フローティングシールの保守

フローティングシールの固着を防ぐため、使用しな い時期でも1か月に1回程度の頻度で、耕うん軸 を手でゆっくり回して、シール面にオイルを馴染ま せてください。

空転による作動確認

空転させ、各部から異音、異常振動など異常が発生 していないことを確認してください。

警告表示ラベルの点検

「警告表示ラベルと機番プレート」(→p.11) に 従って、警告表示ラベルを点検してください。

- 損傷や破損していないか
- 汚れていないか
- ・ 剥がれていないか

異常が見つかった場合、新しいものと交換してくだ さい。

消耗品の早期交換

「消耗品一覧」(→ p.74) に記載の消耗品を点検し てください。

必要に応じて、新しいものと交換してください。 早期の交換をお勧めします。

オイルシールの組替え

整備などの目的でチェンケースなどを分解する場合は、必ず新しいオイルシール、パッキン、液状ガスケットと交換してください。

新しいオイルシール、パッキン、液状ガスケットに 交換しないと、オイル漏れの原因になります。

液状ガスケットは、スリーボンド 1208 相当品を使用してください。

フローティングシールの組替え (SRV 全仕様)

フローティングシールの組替えは、必ず別売のフローティングシールメンテナンスキット 102(部品コード:D020007)を使用して行ってください。 詳細内容については、『組替え要領書』を参照してください。

作業機の水洗い

作業後には、作業機を水洗いし、ゴミや汚れを取除 きます。水洗いが終了後、水分を拭き取ってくださ い。

高圧洗車機を使って水洗いする場合は、十分注意してください。

高圧洗車機の使用方法を誤ると、人をケガさせたり、 作業機を破損・損傷・故障させたりすることがあり ます。高圧洗車機の『取扱説明書』やラベルに従っ て、正しく使用してください。

企注意



高圧洗車機で水洗いする場合

作業機を損傷させないように洗車ノズル 必ず実行 は拡散にし、2m以上離して洗車してく ださい。

* 直射や不適切に近距離から洗車すると作業機の破損・損傷・故障や事故につながる恐れがあります。

例)

- シール・ラベルの剥がれ
- 樹脂類 (カバーなど) の破損
- ・ 塗装・メッキ皮膜の剥がれ



消耗品一覧

消耗部品は早めの交換をお勧めします。

当社では、お客様にご迷惑が掛からないよう消耗部品を用意しておりますが、シーズンによっては特定の部品 が品薄になる場合があります。シーズン到来前の準備として、消耗部品の事前確認をして、早めの交換をお勧 めします。1 台分個数の記入のないものは「耕うん爪の取付け」(→p.50)を参照してください。

9	部品名	チェンケースシュース	ベキットB	部品コード	5630650	1 台分個数	1		
	備考	各型式共通 チェンケースシュース	ぐと取付けボル	ノトのセット					
	部品名	サポートシューズキッ	<i>/</i>	部品コード	5630651	1 台分個数	1		
	備考	 各型式共通 サポートシューズと耳	双付けボルト <i>の</i>)セット					
	部品名	クミボルト ASSY	ウミボルト ASSY M16 × 39 セットコード 0050057						
	備考	耕うん軸中央部の耕る	#うん軸中央部の耕うん爪取付け用						
	部品名	ツメボルト ASSY	M12 × 30 (11T)	部品コード	0050060				
Am D D	備考	SRV(HSW・KZW 仕札 ホルダ仕様爪取付け月	SRV(HSW・KZW 仕様) ホルダ仕様爪取付け用ボルト・ナット・スプリングワッシャのセット						
			M16 × 40	_		9011961			
			M16 × 45	-		9011963			
	部品名	ボルト	M16 × 50	部品コード	9011964				
O D			M16 × 55	-	6570016				
		スプリングワッシャ	M16 × 60	-	9011967				
		<u> </u>	INTO			9210016			
	備考		カッタなど取付	付け用					
O on the	部品名	セットナット	M16	部品コード	6560064				
	備考	耕うん軸左端フランジ用							
	部品名	フィードカッタ R		部品コード	5610404				
	備考	耕うん軸右端フランシ	グ用						

		I		1				
	部品名	セットナット ル	部品コード	D073073				
	備考	SRV(HJ・J 仕様) 耕うん軸左端フランジ用 注)交換の際は、「セットナット JL 容に従ってください。	の交換 SRV(I	HJ・J仕様) ₋	」(→ p.71)の内			
	部品名	フィードカッタ	部品コード	6160060				
00000	備考	SRV(HJ・J 仕様) 耕うん軸右端フランジ用						
_	部品名	フィードカッタ RV	部品コード	D073072				
	備考	SRV(HS・KZ・A・E・S・HSW・KZ 耕うん軸左端フランジ用	ZW 仕様)					
	部品名	フィードカッタ RZ	部品コード	D083033				
	備考	SRZ(全仕様) 耕うん軸左端フランジ用 SRZ(HS・KZ・E 仕様) 耕うん軸右端フランジ用						

部品名 バイパーゼットツメ HS2995ZL 単品コード 50592 耕幅 220 240 260 280 300 350	
1 台分個数 RL 各 22 RL 各 24 RL 各 26 RL 各 28 RL 各 30 RL 各 34	
「	
KZ 仕様 カイテキゼットツメ KZ2705R 単品コード 68521	
カイテキゼットツメ KZ2705L ^{キロコート} 68522	
耕幅 220 240 260 280 300 350	
1 台分個数 RL 各 22 RL 各 24 RL 各 26 RL 各 28 RL 各 30 RL 各 34	
E 仕様 キョウリョクゼットツメ 113EZR 単品コード 67521	
キョウリョクゼットツメ 113EZL キョウリョクゼットツメ 67522	
対幅 220 240 260 280	
1 台分個数 RL 各 22 RL 各 24 RL 各 26 RL 各 28	
A 仕様	
PP	
(対幅 240 260 280 300 100 280 240 260 280 280 280 280 280 280 280 280 280 28	
1 台分個数 RL 各 24 RL 各 26 RL 各 28 RL 各 30	
「Mセットコード 7662S 4223S 4005S 4204S	
S 仕様 S ゼットツメ SE3012ZR 単品コード 68251	
S ゼットツメ SE3012ZL	
対幅 220 240 260 280 300	
1 台分個数 RL 各 22 RL 各 24 RL 各 26 RL 各 28 RL 各 30	
「Tセットコード 4264S 4265S 4266S 4268S 4269S	

##編 240 260 280 300 350	HSW 仕様	,	ハイパーゼ	ットツメ HS	525967R		50931		
##編 240 260 280 300 350 RL 名 2 RL A		部品名				単品コード			
1台分個数 RL名2 RL名3 RL名3 RL名2 RL名2 RL名3 RL名3 RL名2 RL名3 RL名3 RL名3 RL名3 RL名3 RL名3 RL名3 RL名3 RLA3	90	耕幅	-			300			
##幅 240 260 280 300 350 75625									
##6 240 260 280 300 350									
##幅 240 260 280 300 350		部品名				単品コード			
T 台分個数 RL 各 23 RL 各 26 RL 各 28 RL 名 29 RL 名 34		耕幅				300			
The property is a constraint of the property is a constrai									
## 240 260 280		爪セットコード	75570						
## 240 260 280	KZW 仕様		カイテキゼ	ー ットツメ KZ	Z2605R	W = 19	68511		
##幅 240 260 280 1 台分個数 RL 各 2 RL A 3 RL A		部品名				甲品コード	68512		
##幅 200 220 240 260 280 300 350 1 台分個数 RL 各 33 RL 各 36 RL 各 39 RL 各 42 RL 各 48 RL 各 54 RL 各 78 RL 各 38 RL 各 38 RL 各 38 RL 各 48 RL A 49 RL A 4129 RL A 4130 RL A 4129 RL A 4129 RL A 4130 RL A 4129		耕幅	240	260	280				
部品名 カイテキゼットツメ KZ3545R カイテキゼットツメ KZ3545R カイテキゼットツメ KZ3545L #幅 240 260 280 1 台分個数 RL 各 23 RL 各 26 RL 各 28			RL 各 2		RL 各 2				
## 240 260 280						W = 18	68021		
##幅 240 260 280	+ u. /i'm	部品名				甲品コード	68022		
田山 仕様 部品名		耕幅	240	260	280				
HJ 仕様 部品名) \\((1 台分個数	RL 各 23	RL 各 26	RL 各 28				
お品名 Sゼットツメ SE2412ZL 単品コード 68532		爪セットコード	41515	41985					
##幅 260 280 300 1 台分個数 RL 各 42 RL 各 45 RL 各 48	HJ 仕様		S ゼットツメ SE2412ZR			出ロコーに	68531		
1 台分個数 RL 各 42 RL 各 45 RL 各 48	90	可加力	S ゼットツメ SE2412ZL			キョコート	68532		
The state		耕幅	260	280	300				
J仕様 S ゼットツメ SE3012ZR S ゼットツメ SE3012ZL 単品コード 68252 対しています。 財職 200 220 240 260 280 300 350 350 350 350 350 350 350 350 35		1 台分個数	RL 各 42	RL 各 45	RL 各 48				
おいまな Sゼットツメ SE3012ZL 単品コート 68252		爪セットコード	41285	4129S	4130S				
##幅 200 220 240 260 280 300 350 1 台分個数 RL 各 33 RL 各 36 RL 各 39 RL 各 42 RL 各 45 RL 各 48 RL 各 54 M セットコード 42715 42725 42735 42745 42325 42335 42345 インメ C29130R 単品コード 47161 サニコード 47162	J仕様	立口口口	S ゼットツ.	メ SE3012ZF	}	#	68251		
1 台分個数 RL 各 33 RL 各 36 RL 各 39 RL 各 42 RL 各 45 RL 各 48 RL 各 54 Mセットコード 4271S 4272S 4273S 4274S 4232S 4233S 4234S 4234			S ゼットツ.	メ SE3012ZL	-	于四山 I	68252		
ボセットコード 4271S 4272S 4273S 4274S 4232S 4233S 4234S CV 仕様		耕幅	200	220	240	260	280	300	350
CV 仕様		1 台分個数	RL 各 33	RL 各 36	RL 各 39	RL 各 42	RL 各 45	RL 各 48	RL 各 54
部品名 Lッメ C29130L 単品コード 47162 耕幅 200 220 1 台分個数 RL 各 24 RL 各 27 爪セットコード 5486S 7802S SV 仕様		爪セットコード	4271S	4272S	4273S	42745	4232S	4233S	42345
##幅 200 220 1 台分個数 RL 各 24 RL 各 27 爪セットコード 5486S 7802S SV 仕様 部品名 S ツメ S30130R ドツメ S30130L 耕幅 200 220 料幅 200 220	CV 仕様	- 郊旦夕	L ツメ C291	130R		単凸コード	47161		
1 台分個数 RL 各 24 RL 各 27 爪セットコード 5486S 7802S SV 仕様 S ツメ S30130R 単品コード 47171 47172 耕幅 200 220			L ツメ C291	130L		于四一 「	47162		
ボセットコード 5486S 7802S SV 仕様 S ツメ S30130R S ツメ S30130L 単品コード 47171 47172 耕幅 200 220		耕幅	200	220					
SV 仕様 S ツメ S30130R 単品コード 47171 S ツメ S30130L 排幅 200 220		1 台分個数	RL 各 24	RL 各 27					
部品名 S ツメ S30130L 単品 J ート 47172 耕幅 200 220		爪セットコード	5486S	7802S					
S 9 × S30130L	SV 仕様	郭 旦 夕	Sツメ 5301	30R		単品コード	47171		
			Sツメ 5301	30L		キロコート	47172		
/ // \\	P / 1	耕幅	200	220					
		1 台分個数	RL 各 24	RL 各 27					
「Mセットコード 5616S 7774S		爪セットコード	5616S	7774S					

アタッチメント・オプションー

アタッチメント・オプションを下記に示します。

用途	品名	コード No.	 型式	規格(単位)	 適応型式・耕幅
		4073034	RH-KR2	60 角× 207 cm	SRV、SRZ 各 2.0 m 以上
取付	リヤーヒッチ	4070286	RH-KR2-2	60 角× 227 cm	SRV、SRZ 各 2.4 m 以上
取付けヒッチ		【仕様】	注 1) SRZ は 必要 注 2) 2L ヒッ		ッチ ニンチョウプレートキット RH-EP(4073054)が 〜 (M16 × 70)(9011969)6 本、U ナット(M16)
		4072849	RML18X		SRV201、221、241、SRZ241
	平うねマルチ	【仕様】		150 cm /うね高 RH-KR2 が必要	
	924 T T T T T T T T T T T T T T T T T T T	4071242	RML18C		SRV201、221、241、SRZ241
マルチ		【仕様】		150 cm ∕うね高 :具付(リヤーヒッ 双付け不可	
チ		4071168	PHMV19C		SRV、SRZ
	平高マルチ	【仕様】		175 cm /うね高 上げ状態で作業し	
		4071169	PHMV22C		SRV221、241、261、281、SRZ241、261、281
		【仕様】		205 cm /うね高 上げ状態で作業し	
		4072943	SDK40KRV-L	左側	SRV
	サイドディスク	4072944	SDK40KRV-R	右側	SRV
畦		4073056	SDK40KRZ-L	左側	SRZ
畦 際処理		4073057	SDK40KRZ-R	右側	SRZ
理	サイドディスクS	4072942	SDK40S-KRV	右側	SRV
			SDK40S-KRZ	右側	SRZ
		【仕様】	サイドディス	クSは整形器付	
カ	油圧シリンダ 2 本タイプ	4070471	EKR310RE-C	ローラ幅 306 cm	SRV281、SRZ281
2 🗆		4070472	EKR330RE-C	ローラ幅 326 cm	SRV301、SRZ301
L I だラ けE		4070473	EKR380RE-C	ローラ幅 376 cm	SRZ351
KR	•	【仕様】	油圧上下調整注)オスカブ	式/トラクタ外部 う 1/2 を標準装備	が油圧(複動)を使用。 情。耕深ゲージ付き。

用途	品名	コード No.	型式	 規格(単位)	 適応型式・耕幅			
		4073241	CKR-VH250	手動ネジ式	SRV221			
		4073242	CKR-VH270	手動ネジ式	SRV241、SRZ241			
		4073243	CKR-VH290	手動ネジ式	SRV261、SRZ261			
カゴ		4073244	CKR-VH310	手動ネジ式	SRV281、SRZ281			
	カゴローラ	4073245	CKR-VH330	手動ネジ式	SRV301、SRZ301			
ーラ	セット	4073246	CKR-VO250	油圧式	SRV221			
(2 Lだけ)		4073247	CKR-VO270	油圧式	SRV241、SRZ241			
だけ		4073248	CKR-VO290	油圧式	SRV261、SRZ261			
		4073249	CKR-VO310	油圧式	SRV281、SRZ281			
		4073250	CKR-VO330	油圧式	SRV301、SRZ301			
		【仕様】	「ローラキッ 「トリツケカ:	ト」「シリンダキッ ナグキット」の3	ルト(油圧)または ネジキット(手動)」 点セット			
		4072950	CKR-RE25	ローラ幅 246 cm	SRV221			
カゴ	ローラキット	4072951	CKR-RE27	ローラ幅 266 cm	SRV241			
	ローフャット センター支持 タイプ	4072952	CKR-RE29	ローラ幅 286 cm	SRV261			
ーラC		4072953	CKR-RE31	ローラ幅 306 cm	SRV281、SRZ281			
K		4072954	CKR-RE33	ローラ幅 326 cm	SRV301、SRZ301			
R		4070485	CKR-C4		SRV、SRZ			
(2 L だ	シリンダキット	【仕様】		由圧上下調整式/トラクタ外部油圧(複動)を使用。 主)オスカプラ 1/2 を標準装備。耕深ゲージ付き。				
けり	ネジキット	4072571	CKR-N1	-	SRV、SRZ			
	トリツケカナグ キット	4070481	CKR-TK3	-	SRV、SRZ			
	コールタ	D030049	PJV-L	-	SRV			
	ASSY.L	D040038	DJZ-L	-	SRZ			
踏圧	コールタ ASSY.R	D030052	PJV-R	-	SRV			
踏圧防止	7.551.11	D040039	DJZ-R	-	SRZ			
		【仕様】	を膨軟にし、	踏圧を防止します	ラクタのタイヤ幅に合わせて取付け、タイヤ跡 け。 イールゲージとで併用して使用します。			
移動・保管	スタンドキット	8052500	RS-KV	-	SRV ※ 2L ヒッチ仕様を除く			

用途	 品名 	コード No.	 型式 	規格(単位)	適応型式・耕幅			
うね立て成形	リッジャ	4073212	KR-L	-	SRV221、SRV241			
て成形		4073213	KR-R	-	SRV221、SRV241			
		6160186	-	歯数;20	CDV			
		5610233	-	歯数;29	SRV			
		6160005	-	歯数;21	CDV			
		5610234	-	歯数;28	SRV			
		6160187	-	歯数;23	CDV			
		5610047	-	歯数;26	SRV			
		6160008	-	歯数;24	CDV			
		6160188	-	歯数;25	SRV			
		5630328	-	歯数;15	CD7			
		5630329	-	歯数;36	SRZ			
		5630330	-	歯数;16	SRZ			
耕		5630331	-	歯数;35	SRZ			
つん		5630332	-	歯数;17	SRZ			
耕うん軸回転速度調整	チェンジギヤ―	5630333	-	歯数;34	SRZ			
転速	, _, , , ,	5630334	-	歯数;18	SRZ			
度 調		5630335	-	歯数;33	SNZ			
整		5630336	-	歯数;19	CD7			
		5630337	-	歯数;32	SRZ			
		5630338	-	歯数;20	SRZ			
		5630339	-	歯数;31	SNZ			
		5630340	-	歯数;21	SRZ			
		5630341	-	歯数;30	SRZ			
		5630344	-	歯数;23	CD7			
	-	5630345	-	歯数;28	SRZ			
		5630346	-	歯数;24	CD7			
	-	5630347	-	歯数;27	SRZ			
	【注意】 お選びの際は、「耕うん軸回転速度の選択」(→ p.39) に記載している組合わせ表を確認してください。							

注)アタッチメントは取付け金具などの関係上、ロータリ型式を指定のうえ、ご注文ください。 油圧揚力3t未満のトラクタには装着できません。

格納・運搬・保管

格納・運搬・保管するときは、作業機をきれいに清掃し、塗装できない箇所はサビ止めのためにグリスを塗っ てください。

保管・格納の際は、以下のことを守ってください。

企注意



ジョイントは、必ずチューブのオス側と メス側をいっぱいまで差込んだ状態で保 管してください。

* サビついて故障し、事故・ケガにつなが る恐れがあります。



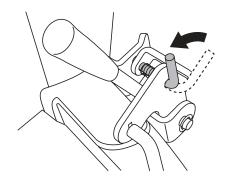
格納後は、みだりに子供などが触れない ような処置をしてください。

必ず実行 *事故・ケガにつながる恐れがあります。



オートヒッチを作業機に取付けて保管す る場合は、レバーに付いているロックピ トの穴に挿入し、確実にロックしてくだ さい。

* 事故・ケガにつながる恐れがあります。





雨や風があたらない、平らで固い場所に 格納してください。

必ず実行 * 作業機が転倒し、事故・ケガ・故障につ ながる恐れがあります。

ここでは各型式の主要諸元を紹介します。

	型式		SRV221HST (OL、3L、4L)	SRV241HST (OL、3L、4L)	SRV261HST (OL、3L、4L)	SRV281HST (OL、3L、4L)	SRV301HST (OL、3L、4L)		
機	全長	(mm)		1	315、1635、163	5			
機体寸法	全幅(r	mm) ^{注1}	2435	2635	2835	3035	3235		
法	全高(r	mm) ^{注2}		1	075、1240、124	0			
栈	機体質量	(kg) ^{注3}	672、728、735	713、769、776	745、801、808	775、831、838	813、869、876		
	使用ジョー			-、KGC	80 (3L)、KGC79	M (4L)			
· 本代		(kW)	44.1 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ~ 84.6	66.2 ~ 84.6		
旭川	ふトラクタ	(PS)	60 ~ 115	70 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115	90 ~ 115		
	標準耕幅	(cm)	220	240	260	280	300		
	標準耕深	(cm)			12 ~ 15				
標準	集作業速度	₹(km/h)	2.0 ~ 4.0						
耕う	ん作業能率	区(分 /10a)	10 ~ 19	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	7 ~ 14		
≢壯	本数	HS2995ZL	22	24	26	28	30		
耕うん爪	4 女X	HS2995ZR	22	24	26	28	30		
6	回転外征	圣(cm)			55				
711	取付に	ナ方法			フランジタイプ				
	駆動方	法	サイドドライブ						
入力	入力軸回転速度 (rpm)		540						
	装着方法			JIS 標準 3P Ⅱ形(L ヒッチ)					
	耕深調	節		前ゲージ輪・	オートロータリ	(オプション)			

	型式		SRV221HS (2L)	SRV241HS (2L)	SRV261HS (2L)	SRV281HS (2L)	SRV301HS (2L)		
機	全長	(mm)		1390					
機体寸法	全幅(i	mm) ^{注1}	2435	2635	2835	3035	3235		
法	全高	(mm)			1215				
榜	條体質量	(kg) ^{注3}	749	790	822	852	889		
	使用ジョ・	イント			KG87				
2亩内	トラクタ	(kW)	44.1 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ~ 84.6	66.2 ~ 84.6		
旭儿	ハトノング	(PS)	60 ~ 115	70 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115	90 ~ 115		
	標準耕幅	(cm)	220	240	260	280	300		
	標準耕深	(cm)	12 ~ 15						
標準	上作業速度	₹(km/h)	2.0 ~ 4.0						
耕う	ん作業能率	区(分 /10a)	10 ~ 19	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	7 ~ 14		
≢壯	本数	HS2995ZL	22	24	26	28	30		
耕う	平奴	HS2995ZR	22	24	26	28	30		
ん爪	回転外	径(cm)			55				
//\	取付に	ナ方法			フランジタイプ				
	駆動方法				サイドドライブ				
入力	入力軸回転速度 (rpm)		540						
	装着方法		標準 3P Ⅱ形(2 点オートヒッチ)						
	耕深調	節			前ゲージ輪				

※この主要諸元は改良のため予告なく変更することがあります。※耕うん作業能率は効率 0.75 の計算値です。 ※トラクタ排気量は 4500 cc 未満に限ります。

注 1:EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2:0L だけ、公道走行対応型式(N 仕様)は +65 mm。注 3:公道走行対応型式(N 仕様)は + 10kg。

	型式		SRV221KZT (0L、3L、4L)	SRV241KZT (0L、3L、4L)	SRV261KZT (0L、3L、4L)	SRV281KZT (0L、3L、4L)	SRV301KZT (0L、3L、4L)		
機	全長	(mm)		1	315、1635、163	5			
機体寸法	全幅(r	mm) ^{注1}	2435	2635	2835	3035	3235		
法	全高(r	nm) ^{注2}		1	075、1240、124	0			
模	條体質量	(kg) ^{注3}	676、732、739	717、773、780	749、805、812	780、836、843	817、873、880		
	使用ジョー	イント		-、KGC	80 (3L)、KGC79	M (4L)			
海点	トラクタ	(kW)	44.1 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ~ 84.6	66.2 ~ 84.6		
旭儿	ハトノノブ	(PS)	60 ~ 115	70 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115	90 ~ 115		
	標準耕幅	(cm)	220	240	260	280	300		
	標準耕深	(cm)			12 ~ 15				
標準	峰作業速度	₹ (km/h)	2.0 ~ 4.0						
耕う	ん作業能率	区(分 /10a)	10 ~ 19	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	7 ~ 14		
# #	本数	KZ2705L	22	24	26	28	30		
耕う	4 女人	KZ2705R	22	24	26	28	30		
ん爪	回転外征	圣(cm)			55				
71(取付に	ナ方法	フランジタイプ						
	駆動方	法	サイドドライブ						
入力]軸回転速	度 (rpm)	540						
	装着方	法	JIS 標準 3P Ⅱ形(L ヒッチ)						
	耕深調	節		前ゲージ輪・	オートロータリ	(オプション)			

	型式		SRV221KZ (2L)	SRV241KZ (2L)	SRV261KZ (2L)	SRV281KZ (2L)	SRV301KZ (2L)			
機		(mm)		1390						
機体寸法	全幅(i	mm) ^{注1}	2435	2635	2835	3035	3235			
法	全高	(mm)			1215					
模	條体質量	(kg) ^{注3}	753	794	826	857	894			
	使用ジョ	イント			KG87					
2部内	トラクタ	(kW)	44.1 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ~ 84.6	66.2 ~ 84.6			
心心	トレング	(PS)	60 ~ 115	70 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115	90 ~ 115			
	標準耕幅	(cm)	220	240	260	280	300			
	標準耕深	(cm)			12 ~ 15					
標準	善作業速度	麦(km/h)	2.0 ~ 4.0							
耕う	ん作業能率	区(分 /10a)	10 ~ 19	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	7 ~ 14			
# #	本数	KZ2705L	22	24	26	28	30			
耕う	一个奴	KZ2705R	22	24	26	28	30			
6	回転外征	径(cm)			55					
71					フランジタイプ					
	駆動方	法	サイドドライブ							
入力	力軸回転速	速度 (rpm)	540							
	装着方	法	標準 3P Ⅱ形(2 点オートヒッチ)							
	耕深調	節			前ゲージ輪					

注1: EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2:0L だけ、公道走行対応型式(N 仕様)は +65 mm。注 3:公道走行対応型式(N 仕様)は +10 kg。

	型式	Ò	SRV221ET (0L、3L、4L)	SRV241ET (0L、3L、4L)	SRV261ET (0L、3L、4L)	SRV281ET (0L、3L、4L)		
機	全長	(mm)	1315、1655、1655					
機体寸法	全幅(r	nm) ^{注1}	2435	2635	2835	3035		
	全高(r			1075、12	30、1230			
木	機体質量	(kg) ^{注3}	690、746、753	732、788、795	765、821、828	798、854、861		
	使用ジョー	イント		-、KGC80 (3L)、	KGC79M (4L)			
2益口	たトラクタ	(kW)	44.1 ~ 84.6	51.5 ∼ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ~ 84.6		
儿包儿	いトノンブ	(PS)	60 ∼ 115	70 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115		
	標準耕幅(cm)		220	240	260	280		
	標準耕深	(cm)	12 ~ 15					
標準	隼作業速度	₹ (km/h)	2.0 ~ 4.0					
耕	るん作業能率	区(分 /10a)	10 ~ 19	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15		
≢壯	本数	113EZL	22	24	26	28		
耕う	4 女人	113EZR	22	24	26	28		
6	回転外征	圣(cm)		5	8			
П	取付に	ナ方法		フランシ	ブタイプ			
	駆動方法			サイドト	ドライブ			
入	入力軸回転速度 (rpm)			54	10			
	装着方	法		JIS 標準 3P II 形(L ヒッチ)				
	耕深調	節		前ゲージ輪・オートロ	iータ <mark>リ(オプシ</mark> ョン)			

	大型	Ò	SRV221E (2L)	SRV241E (2L)	SRV261E (2L)	SRV281E (2L)		
機	全長		1420					
機体寸法	全幅(r	nm) ^{注1}	2435	2635	2835	3035		
法	全高	(mm)		12	10			
模	條体質量	(kg) ^{注3}	767	809	842	875		
	使用ジョー	イント		KG	87			
2亩内	トラクタ	(kW)	44.1 ~ 84.6	51.5 ∼ 84.6	51.5 ∼ 84.6	58.8 ~ 84.6		
心心	ルドノフタ	(PS)	60 ~ 115	70 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115		
	標準耕幅(cm)		220	240	260	280		
	標準耕深	(cm)	12 ~ 15					
標準	善作業速度	₹ (km/h)	2.0 ~ 4.0					
耕う	ん作業能率	区(分 /10a)	10 ~ 19	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15		
耕	本数	113EZL	22	24	26	28		
耕うん爪	个奴	113EZR	22	24	26	28		
1/h	回転外征	圣(cm)		5	8			
71(取付に	ナ方法		フランシ	ジタイプ			
	駆動方	法		サイドト	· ライブ			
入力	入力軸回転速度 (rpm)			54	10			
	装着方	法	標準 3P Ⅱ形(2 点オートヒッチ)					
	耕深調	節		前ゲー	- ジ輪			

注1: EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2:0L だけ、公道走行対応型式(N 仕様)は +70 mm。注 3:公道走行対応型式(N 仕様)は +10 kg。

	型式	Ç	SRV241AT (0L、3L、4L)	SRV261AT (0L、3L、4L)	SRV281AT (0L、3L、4L)	SRV301AT (0L、3L、4L)		
機	全長	(mm)		1315、15		SRV301AT (0L、3L、4L) 3235 794、850、857 66.2 ~ 84.6 90 ~ 115 300		
機体寸法	全幅(r	mm) ^{注1}	2635	2835	3035	3235		
法	全高(r	nm) ^{注2}		1075、12	50、1250			
杉	幾体質量	(kg) ^{注3}	698、754、761	728、784、791	758、814、821	794、850、857		
	使用ジョ	イント		-、KGC80(3L)、	KGC79M (4L)			
2亩己	ふトラクタ	(kW)	51.5 ∼ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ∼ 84.6	66.2 ~ 84.6		
心心	ルドフグダ	(PS)	70 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115	90 ~ 115		
	標準耕幅(cm)		240	260	280	300		
	標準耕深	(cm)	11 ~ 14					
標準	集作業速度	麦(km/h)	2.0 ~ 5.0					
耕う	ん作業能率	区(分 /10a)	7 ~ 17	7 ~ 16	6 ~ 15	6 ~ 14		
≢ #	本数	HS2596ZL	24	26	28	30		
耕うん爪	4 女人	HS2596ZR	24	26	28	30		
6	回転外征	圣(cm)		5	1			
71(取付り	ナ方法		フランシ	ジタイプ			
	駆動方	法		サイドト	ドライブ			
入力	入力軸回転速度 (rpm)			540				
	装着方法		JIS 標準 3P Ⅱ形(L ヒッチ)					
	耕深調	節		前ゲージ輪・オートロ	Iータリ(オプション)			

	型式	Ç	SRV241A (2L)	SRV261A (2L)	SRV281A (2L)	SRV301A (2L)				
機		(mm)		1370						
機体寸法	全幅(r	nm) ^{注1}	2635	2835	3035	3235				
法	全高	(mm)		12.	20					
栈	幾体質量	(kg) ^{注3}	775	805	835	864				
	使用ジョ	イント		KG	87					
2亩点	ふトラクタ	(kW)	51.5 ∼ 84.6	51.5 ∼ 84.6	58.8 ∼ 84.6	66.2 ~ 84.6				
心心	ふドフグダ	(PS)	70 ~ 115	70 ~ 115	80 ~ 115	90 ~ 115				
	標準耕幅(cm)		240	260	280	300				
	標準耕深	(cm)	11 ~ 14							
標準	集作業速度	麦(km/h)	2.0 ~ 5.0							
耕う	ん作業能率	区(分 /10a)	7 ~ 17	7 ~ 16	6 ~ 15	6 ~ 14				
≢ #	本数	HS2596ZL	24	26	28	30				
耕うん爪	一个奴	HS2596ZR	24	26	28	30				
6	回転外征	圣(cm)		5	1					
Ж	取付り	ナ方法		フランシ	ジタイプ					
	駆動力	法		サイドト	ドライブ					
入力	入力軸回転速度 (rpm)			54	10					
	装着方法			標準 3P Ⅱ形(2 点オートヒッチ)						
	耕深調	節		前ゲー	- ジ輪					

※トラクタ排気量は 4500 cc 未満に限ります。 注1: EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2:0L だけ、公道走行対応型式(N 仕様)は + 60mm。注 3:公道走行対応型式(N 仕様)は +10 kg。

	型式	Ç	SRV221S (2L)	SRV241S (2L)	SRV261S (2L)	SRV281S (2L)	SRV301S (2L)	
機	全長	(mm)			1375			
機体寸法	全幅(i	mm) ^{注 1}	2435	2635	2835	3035	3235	
法	全高	(mm)			1215			
機	維質量	(kg) ^{注2}	755	795	826	857	894	
1	使用ジョ	イント			KG87			
油片	トラクタ	(kW)	44.1 ~ 88.3	51.5 ∼ 88.3	51.5 ~ 88.3	58.8 ~ 88.3	66.2 ~ 88.3	
	ハトノンダ	(PS)	60 ∼ 120	70 ~ 120	70 ~ 120	80 ~ 120	90 ~ 120	
7	標準耕幅	(cm)	220	240	260	280	300	
7	標準耕深	(cm)	12 ~ 15					
標準	峰作業速度	麦(km/h)	2.0 ~ 4.0					
耕う	ん作業能率	区(分/10a)	10 ~ 19	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	7 ~ 14	
≢壯	本数	SE3012ZL	22	24	26	28	30	
耕う	4 女人	SE3012ZR	22	24	26	28	30	
ん爪	回転外	径(cm)			52			
//\	取付に	ナ方法			フランジタイプ			
	駆動方法				サイドドライブ			
入力	入力軸回転速度 (rpm)				540			
	装着方法		標準 3P Ⅱ形(2 点オートヒッチ)					
	耕深調	節			前ゲージ輪			

※トラクタ排気量は 4500 cc 未満に限ります。

注1: EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2:公道走行対応型式(N 仕様)は +10 kg。

	世 型 士	<u>`</u>	SRV241HSWT (0L、3L、4L)	SRV261HSWT (0L、3L、4L)	SRV281HSWT (0L、3L、4L)	SRV301HSWT (0L、3L、4L)	SRV351HSWT (0L、3L、4L)	
機	全長	(mm)		1	315、1610、161	0		
体寸法	全幅(r	nm) ^{注1}	2635	2835	3035	3235	3735	
法	全高(r	mm) ^{注2}		1	075、1250、125)		
模	人 体質量	(kg) ^{注3}	659、715、722	688、744、751	714、770、777	744、800、807	831、887、894	
	使用ジョー	イント		-、KGC	80 (3L)、KGC79	M (4L)		
2亩内	ふトラクタ	(kW)	44.1 ~ 84.6	51.5 ~ 84.6	58.8 ~ 84.6	66.2 ~ 84.6	66.2 ~ 84.6	
	ルドフンヌ	(PS)	60 ∼ 115	70 ~ 115	80 ~ 115	90 ~ 115	90 ~ 115	
	標準耕幅(cm)		240	260	280	300	350	
	標準耕深	(cm)	12 ~ 15					
標準	善作業速度	₹ (km/h)	2.0 ~ 4.0					
耕う	ん作業能率	区(分 /10a)	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	7 ~ 14	6 ~ 12	
≢壯	本数	HS2660Z	23 • 23	26 · 26	28 • 28	29 • 29	34 • 34	
耕う	(左•右)	HS2596Z	2 • 2	2 • 2	2 • 2	2 • 2	2 • 2	
ん爪	回転外征	圣(cm)			52			
71	取付に	ナ方法			ホルダタイプ			
	駆動方法				サイドドライブ			
入力軸回転速度 (rpm)		540						
	装着方法		JIS 標準 3P Ⅱ形(L ヒッチ)					
	耕深調	節		前ゲージ輪・	オートロータリ	(オプション)		

	型式	<u>`</u>	SRV241KZWT (0L、3L、4L)	SRV261KZWT (0L、3L、4L)	SRV281KZWT (OL、3L、4L)		
機	全長	(mm)		1315、1595、1595			
機体寸法		mm) ^{注1}	2635	2835	3035		
		mm) ^{注2}		1075、1250、1250			
杉	機体質量	(kg) ^{注3}	656、712、719	685、741、748	710、766、773		
	使用ジョー	イント	-	KGC80 (3L)、KGC79M (4L	_)		
2亩点	ふトラクタ	(kW)	44.1 ~ 84.6	51.5 ∼ 84.6	58.8 ∼ 84.6		
地心	3 F フクダ	(PS)	60 ∼ 115	70 ∼ 115	80 ~ 115		
	標準耕幅(cm)		240	260	280		
	標準耕深	(cm)	12 ~ 15				
標準	集作業速度	₹ (km/h)	2.0 ∼ 4.0				
耕う	ん作業能率	区(分 /10a)	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15		
≢#	本数	KZ3545	23 • 23	26 • 26	28 • 28		
耕う	(左・右)	KZ2605	2 • 2	2 • 2	2 • 2		
6	回転外征	圣(cm)		51			
Л	取付に	ナ方法		ホルダタイプ			
	駆動方	法		サイドドライブ			
入力	力軸回転速	速度 (rpm)		540			
	装着方法			JIS 標準 3P Ⅱ形(L ヒッチ)			
	耕深調	節	前ゲー	ジ輪・オートロータリ(オプ)	ション)		

注1:EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2:0L だけ、公道走行対応型式(N 仕様)は +60 mm。注 3:公道走行対応型式(N 仕様)は +10 kg。

	型式	Ç	SRV201J (2L)	SRV221J (2L)	SRV241J (2L)	SRV261J (2L)	SRV281J (2L)	
機	全長	(mm)			1380			
機体寸法	全幅(i	mm) ^{注1}	2235	2435	2635	2835	3035	
法	全高(mm)				1215			
模	條体質量	(kg) ^{注2}	776	812	856	892	927	
	使用ジョ	イント			KG87			
海内	トニカカ	(kW)	44.1 ~ 88.3	44.1 ~ 88.3	51.5 ~ 88.3	51.5 ∼ 88.3	58.8 ~ 88.3	
旭儿	ふトラクタ	(PS)	60 ∼ 120	60 ~ 120	70 ~ 120	70 ~ 120	80 ~ 120	
	標準耕幅(cm)		200	220	240	260	280	
	標準耕深	(cm)	12 ~ 15					
標準	善作業速度	麦(km/h)	2.0 ~ 5.0					
耕う	ん作業能率	区(分 /10a)	8 ~ 20	8 ~ 19	7 ~ 17	7 ~ 16	6 ~ 15	
# #	本数	SE3012ZL	33	36	39	42	45	
耕うん爪	4 女人	SE3012ZR	33	36	39	42	45	
h	回転外	径(cm)			54			
71	取付(ナ方法			フランジタイプ			
	駆動方法		サイドドライブ					
入力	入力軸回転速度 (rpm)				540			
	装着方	法		標準 3P	Ⅱ形(2点オート	トヒッチ)		
	耕深調	節			前ゲージ輪			

型式		t	SRV261HJ (2L)	SRV281HJ (2L)	SRV301HJ (2L)			
機	全長	(mm)		1370				
機体寸法	全幅(i	mm) ^{注1}	2835	3035	3235			
法	全高	(mm)		1220				
榜	機体質量	(kg) ^{注2}	880	914	954			
	使用ジョ	イント		KG87				
油片	ふトラクタ	(kW)	51.5 ∼ 88.3	58.8 ∼ 88.3	66.2 ~ 88.3			
旭儿	ルトノング	(PS)	70 ~ 120	80 ~ 120	90 ~ 120			
	標準耕幅(cm)		260	280	300			
	標準耕深	(cm)		11 ~ 14				
標準	上作業速度	麦(km/h)	3.0 ∼ 5.0					
耕う	ん作業能率	区(分 /10a)	7 ~ 11	6 ~ 10	6~9			
≢壯	本数	SE2412ZL	42	45	48			
耕うん爪	平奴	SE2412ZR	42	45	48			
6	回転外	径(cm)		51				
11	取付に	ナ方法		フランジタイプ				
	駆動力	法		サイドドライブ				
入力	力軸回転退	速度 (rpm)		540				
	装着方	法	標準	単 3P Ⅲ形(2 点オートヒッ	チ)			
	耕深調	節		前ゲージ輪				

注1: EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2:公道走行対応型式(N 仕様)は +10 kg。

	型式	Ò	SRV201CV (2L)	SRV221CV (2L)		
機		(mm)	14	10		
機体寸法	全幅(r	mm) ^{注1}	2235	2435		
法	全高	(mm)	12	10		
人	幾体質量	(kg) ^{注2}	761	799		
	使用ジョ	イント	B89	5SA		
海点	ふトラクタ	(kW)	44.1 ~ 80.9	51.5 ∼ 80.9		
旭儿		(PS)	60 ∼ 110	70 ~ 110		
	標準耕幅	(cm)	200	220		
	標準耕深	(cm)	12			
標準	集作業速度	₹(km/h)	2.0			
耕う	ん作業能率	壓(分 /10a)	14 ~ 20	13 ~ 19		
耕	本数	C29130L	24	27		
耕うん爪	十级	C29130R	24	27		
h	回転外征	怪(cm)	5	7		
71	取付に	ナ方法	フランシ	ジタイプ		
	駆動方法		サイドト	ドライブ		
入力	入力軸回転速度 (rpm)		54	40		
	装着方法		標準 3P Ⅱ形(2	点オートヒッチ)		
	耕深調	節	前ゲー	- ジ輪		

	型式	Ç	SRV201SV (2L)	SRV221SV (2L)			
機		(mm)	14	1400			
機体寸法	全幅(r	mm) ^{注 1}	2235	2435			
		(mm)	12	210			
榜	幾体質量	(kg) ^{注2}	753	790			
	使用ジョ	イント	B89.	5SA			
盗合	ふトラクタ	(kW)	44.1 ~ 80.9	51.5 ~ 80.9			
心心儿	ルドフグダ	(PS)	60 ∼ 110	70 ~ 110			
	標準耕幅(cm)		200	220			
	標準耕深	(cm)	12				
標準	集作業速度	麦(km/h)	2.0				
耕う	ん作業能率	区(分 /10a)	14 ~ 20	13 ~ 19			
≢ #	本数	S30130L	24	27			
耕うん爪	一个奴	S30130R	24	27			
6	回転外征	径(cm)	5	6			
711	取付に	ナ方法	フランシ	ジタイプ			
	駆動方法		サイドト	ドライブ			
入力	入力軸回転速度 (rpm)		54	40			
	装着方法		標準 3P Ⅱ形(2	点オートヒッチ)			
	耕深調	節	前ゲー	- ジ輪			

※トラクタ排気量は 4500 cc 未満に限ります。

注1:EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注2:公道走行対応型式(N 仕様)は +10 kg。

	型式	t	SRZ241HST (OL、3L、4L)	SRZ261HST (0L、3L、4L)	SRZ281HST (OL、3L、4L)		
機	全長	(mm)		1310、1630、1630			
機体寸法		mm) ^{注 1}	2635	2835	3035		
法	全高(i	mm) ^{注 2}		1120、1285、1285			
模	條体質量	(kg) ^{注3}	798、854、861	832、888、895	865、921、928		
	使用ジョ・	イント	-,	KGC80 (3L)、KGC79M (4L	_)		
2亩内	トラクタ	(kW)	66.2 ~ 103.0	66.2 ~ 103.0	69.9 ~ 103.0		
心心	ハドノフヌ	(PS)	90 ∼ 140	90 ~ 140	95 ~ 140		
	標準耕幅(cm)		240	260	280		
	標準耕深	(cm)	12 ~ 15				
標準	上作業速度	芰(km/h)	2.0 ~ 4.0				
耕う	ん作業能率	区 (分 /10a)	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15		
≢壯	本数	HS2995ZL	24	26	28		
耕うんが	平奴	HS2995ZR	24	26	28		
6	回転外	径(cm)		58			
Т	取付に	ナ方法		フランジタイプ			
	駆動方	法		サイドドライブ			
入ナ	力軸回転退	速度 (rpm)		1000			
	装着方	法		JIS 標準 3P II 形(L ヒッチ)			
	耕深調	節	前ゲー	ジ輪・オートロータリ(オプ [.]	ション)		

	型式	t	SRZ241HS (2L)	SRZ261HS (2L)	SRZ281HS (2L)	SRZ301HS (2L)	SRZ351HS (2L)						
機	全長	(mm)			1375								
機体寸法	全幅(mm) ^{注1}	2635	2835	3035	3235	3735						
法	全高	(mm)		1270									
模	條体質量	(kg) ^{注3}	883	917	950	990	1096						
	使用ジョ	イント		KG	87		KGD91						
\ \	トラクタ	(kW)	66.2 ~ 103.0	66.2 ~ 103.0	69.9 ~ 103.0	73.5 ~ 103.0	73.5 ~ 103.0						
旭心	トフクダ	(PS)	90 ~ 140	90 ~ 140	95 ~ 140	100 ~ 140	100 ~ 140						
	標準耕幅	(cm)	240	350									
	標準耕深	(cm)	12 ~ 15										
標準	上作業速度	隻(km/h)	2.0 ~ 4.0										
耕う	ん作業能率	率(分 /10a)	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	7 ~ 14	6 ~ 12						
≢壯	本数	HS2995ZL	24	26	28	30	36						
耕う	4 奴	HS2995ZR	24 26 28 30 36										
ん爪	回転外	径(cm)			58								
)/\ [取付	け方法			フランジタイプ								
	駆動力	法			サイドドライブ								
入力	入力軸回転速度(rpm) 1000												
装着方法 標準 3P II 形 (2 点オートヒッチ)													

注 1:EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2:0L だけ、公道走行対応型式(N 仕様)は +65 mm。注 3:公道走行対応型式(N 仕様)は +10 kg。

	型式	Ò	SRZ241KZT (0L、3L、4L)	SRZ261KZT (0L、3L、4L)	SRZ281KZT (0L、3L、4L)						
機		(mm)		1310、1630、1630							
機体寸法	全幅(r	mm) ^{注1}	2635	2835	3035						
法	全高(r	mm) ^{注2}		1120、1285、1285							
模	機体質量	(kg) ^{注3}	802、858、865	836、892、899	869、925、932						
	使用ジョ・	イント	-	KGC80 (3L)、KGC79M (4L	_)						
2亩内	トラクタ	(kW)	66.2 ∼ 103.0	66.2 ~ 103.0	69.9 ~ 103.0						
儿包儿	ルドフクブ	(PS)	90 ∼ 140	90 ~ 140	95 ~ 140						
	標準耕幅	(cm)	240	240 260							
	標準耕深	(cm)		12 ~ 15							
標準	上作業速度	₹(km/h)	2.0 ~ 4.0								
耕う	ん作業能率	区(分 /10a)	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15						
≢壯	本数	KZ2705L	24	26	28						
耕う	平奴	KZ2705R	24 26 28								
ん爪	回転外征	怪(cm)		58							
71	取付に	ナ方法	フランジタイプ								
	駆動方	法	サイドドライブ								
入力	力軸回転速	速度 (rpm)		1000							
	装着方	法		JIS 標準 3P Ⅱ形(L ヒッチ)							
	耕深調	節	前ゲー	ジ輪・オートロータリ(オプ [:]	ション)						

	型式	t	SRZ241KZ (2L)	SRZ261KZ (2L)	SRZ281KZ (2L)	SRZ301KZ (2L)	SRZ351KZ (2L)					
機	全長	(mm)			1375							
機体寸法	全幅(r	mm) ^{注1}	2635	2835	3035	3235	3735					
法	全高	(mm)			1270							
模	人体質量	(kg) ^{注3}	887	921	955	995	1102					
	使用ジョ・	イント		KG	87		KGD91					
\	- L = 4 4	(kW)	66.2 ~ 103.0	66.2 ~ 103.0	69.9 ~ 103.0	73.5 ~ 103.0	73.5 ~ 103.0					
旭儿	ふトラクタ	(PS)	90 ~ 140	90 ~ 140	95 ~ 140	100 ~ 140	100 ~ 140					
	標準耕幅	(cm)	240	350								
	標準耕深	(cm)	12 ~ 15									
標準	上作業速度	芰(km/h)	2.0 ~ 4.0									
耕う	ん作業能率	〉 (分 /10a)	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	7 ~ 14	6 ~ 12					
≢壯	本数	KZ2705L	24	26	28	30	36					
耕う	4 女X	KZ2705R	24 26 28 30 36									
h	回転外征	径(cm)			55							
Т	取付に	け方法			フランジタイプ							
	駆動力	法			サイドドライブ							
入力	入力軸回転速度 (rpm) 1000											
	装着方	法		標準 3P Ⅱ形(2	点オートヒッチ)		標準 3P Ⅱ・Ⅲ N 形カラー(2 点オートヒッチ)					
耕深調節 前ゲージ輪												

注 1:EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2:0L だけ、公道走行対応型式(N 仕様)は +65 mm。注 3:公道走行対応型式(N 仕様)は +10 kg。

	型式	Ò	SRZ241ET (0L、3L、4L)	SRZ261ET (0L、3L、4L)	SRZ281ET (OL、3L、4L)							
機	全長	(mm)		1310、1650、1650								
体寸法	全幅(r		2635	2835	3035							
		nm) ^{注2}		1120、1280、1280								
村	幾体質量((kg) ^{注3}	817、873、880	853、909、916	887、943、950							
	使用ジョー	イント	-,	KGC80 (3L)、KGC79M (4L	_)							
2盆口	ふトラクタ	(kW)	66.2 ∼ 103.0	66.2 ~ 103.0	69.9 ~ 103.0							
儿包儿	ントノンブ	(PS)	90 ∼ 140	90 ~ 140	95 ~ 140							
	標準耕幅	(cm)	240	240 260								
	標準耕深	(cm)		12 ~ 15								
標準	隼作業速度	₹ (km/h)	2.0 ~ 4.0									
耕き	ん作業能率	区(分 /10a)	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15							
≢壯	本数	113EZL	24	26	28							
耕う	4 女 人	113EZR	24	26	28							
h	回転外征	圣(cm)		60								
Т	取付に	ナ方法	フランジタイプ									
	駆動方	法		サイドドライブ								
入力	力軸回転速	度 (rpm)		1000								
	装着方	法		JIS 標準 3P Ⅱ形(L ヒッチ)								
	耕深調	節	前ゲー	ジ輪・オートロータリ(オプ [.]	ション)							

	大型	Ò	SRZ241E (2L)	SRZ261E (2L)	SRZ281E (2L)	SRZ301E (2L)					
機	全長			13	90						
機体寸法	全幅(r	nm) ^{注1}	2635	3035	3235						
法	全高	(mm)		12	70						
模	條体質量	(kg) ^{注3}	902	938	972	1014					
	使用ジョー	イント		KG	87						
) (油内	トラクタ	(kW)	66.2 ~ 103.0	66.2 ~ 103.0	69.9 ~ 103.0	73.5 ~ 103.0					
心心	ハトノンダ	(PS)	90 ~ 140	90 ~ 140	95 ~ 140	100 ~ 140					
	標準耕幅	(cm)	240	300							
	標準耕深	(cm)	12 ~ 15								
標準	善作業速度	₹ (km/h)	2.0 ~ 4.0								
耕う	ん作業能率	区(分 /10a)	9 ~ 17	8 ~ 16	8 ~ 15	7 ~ 14					
≢ #	本数	113EZL	24	26	28	30					
耕うん爪	个奴	113EZR	24 26 28 30								
16 L	回転外征	圣(cm)		6	0						
71(取付に	ナ方法		フランシ	ジタイプ						
	駆動方	法		サイドト	ドライブ						
入ナ	力軸回転速	速度 (rpm)		10	00						
	耕深調	節		前ゲー	-ジ輪						

注1: EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2:0L だけ、公道走行対応型式(N 仕様)は +70 mm。注 3:公道走行対応型式(N 仕様)は +10 kg。

	型式	Ç	SRZ281J (2L)	SRZ301J (2L)	SRZ351J (2L)							
機	全長	(mm)		1370								
機体寸法	全幅(i	mm) ^{注1}	3035	3235	3735							
法	全高	(mm)		1270								
模	体質量	(kg) ^{注2}	1041	1086	1180							
	使用ジョ	イント	KG	87	KGD91							
法内	トラクタ	(kW)	69.9 ~ 117.7	73.5 ~ 117.7	73.5 ~ 117.7							
迎儿	ハトノング	(PS)	95 ~ 160	100 ~ 160	100 ~ 160							
	標準耕幅	(cm)	280	300	350							
	標準耕深	(cm)		15 ~ 18								
標準	峰作業速度	₹(km/h)	2.0 ~ 5.0									
耕う	ん作業能率	区(分/10a)	6 ~ 15	6 ~ 14	5 ~ 12							
≢壯	本数	SE3012ZL	45	48	54							
耕うん爪	4 安义	SE3012ZR	45	48	54							
6	回転外	径(cm)		56								
71	取付に	ナ方法	フランジタイプ									
	駆動力	法		サイドドライブ								
入力	」軸回転速	速度 (rpm)		1000								
	装着方	法	標準 3P Ⅱ形(2	標準 3P Ⅱ形(2 点オートヒッチ) 標準 3P Ⅱ・Ⅲ N 形 カラー(2 点オートヒッチ								
	耕深調	節		前ゲージ輪								

注 1: EX エプロンを閉じた状態の寸法を示しています。

注 2:公道走行対応型式(N 仕様)は +10 kg。

トラクタ別装着表 OL、3L、4L(JIS規格)

この表はあくまで装着表であり、トラクタ適応馬力を示すものではありません。トラクタ適応馬力の範囲内で使用してください。また、トラクタ別装着表にお客様のトラクタ型式が記載していない場合は、お買い求めの販売店へお問い合わせください。

企注意



装着表記載の寸法からトップリンク長など変更される場合は、作業機を上下させてジョイントの抜け・突きがないことを十分確認してから作業を行ってください。

・ 必ず実行 * ケガ・破損につながる恐れがあります。



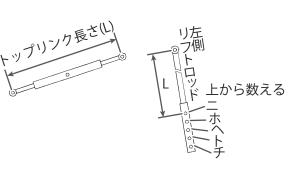
ジョイントの抜け・突きがある場合は、ジョイントの切断・交換などして作業してください。 * ケガ・破損につながる恐れがあります。

必ず実行

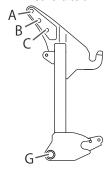
トップリンク取付け穴



トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



ロアリンク取付け穴



SRV·SRZ T-4L/3L 仕様

		トラクタ	部の調整	<u> </u>	作業	機側	ジョイ	<u> </u>	
トラクタ型式	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピ ン 取付け穴	切断寸》 4L KGC79M	去 (mm) 3L KGC80	備考
MR600·650·700H	4	1	^	570	В	G		30	ロアピン内向きロアリンク長さ標準仕様
MR650-PC • 700-PC	4	1	^	570	В	G		30	ロアピン内向きロアリンク長さ標準仕様

トラクタ型式	トップ	ロア	部の調整 リフト	トップリンク	トップ リンク	機側 ヒッチ ピ ン	切断寸	イント 法 (mm)	
	リンク取付け穴	リンク取付け穴		リンク 長さ(mm)	リンク 取付け穴	ピ´シ 取付け穴	4L KGC79M	3L KGC80	
MR800(H) • 900(H) • 1000(H) • 1050H	4	1	^ L=617	610	В	G			モンロ仕様合、リフトド穴数が左に異なるのでと(モンリンダ側穴)
MR800(H)-PC· 900(H)-PC· 1000(H)-PC· 1050H-PC	4	1	△ L=617	610	В	G			モンロ仕様に合、リフトド穴数が左に異なるので、のこと(モシリンダ側穴)
M100GE·110GE·115GE· 125GE·135GE	3		ホ L=722	675	А	G	KGC84M に交換		
M110GE-PC · 125GE-PC	3		ホ L=722	675	А	G	KGC84M に交換		
M1060W	3		L=575	660	А	G			
M860W-SE • 1010W-SE	3	1	^ L=617	670	A	G			様の が が が が で が で が で で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に で に の に に に に に に に に に に に に に
M720W	3	イ	L=480	630	А	G		30	
YT460A·465A	4	1	ホ	620	В	G			
YT472A	3	1	赤	540	В	G		30	
YT465AD·472AD	3	1	ホ	540	В	G		30	
YT472AC	3	1	ホ	540	С	G			
YT488R•498R•4104R	3	1	ホ	600	В	G			
YT488RD·498RD· 4104RD	3	1	ホ	600	В	G			
YT5114R	3	1	ホ	650	А	G			
YT5114RD	3	イ	ホ	650	А	G			
YT5114RC	2	1	=	610	В	G			ジョイント 時 PTO 切

			部の調整			機側	- ジョイ 切断寸》	イント 去 (mm)	
トラクタ型式	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピ ン 取付け穴	4L KGC79M	3L KGC80	備 考
TJV655 • 755	3	1	ホ L=535	550	А	G			TJV755 は ZWX,GWD 型式 だけ
TJV655C • 755C	3	1	^	550	А	G			
TJV755L·885·985	4	1	ホ L=535	650	А	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	
TJV885C • 985C	4	1	ホ L=535	650	А	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	
TJX743·873·973(WX)	3	П	ホ	590	А	G			PTO540 rpm 仕 様のため、SRZ 適応不可
TJX743C(WX)	3		^	590	А	G			
TJX743·873· 973(WX 以外)	4		L=570	640	А	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	SRZ 適応は WD 仕様に限るクイックヒッチタイプのトップリンク・ロアリンク水平制御なし
TJX743C(WD)	4		L=570	640	А	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	クイックヒッチタイプのトップリンクロアリンク水平制御なし
TJW1153·1233	3	1	ホ L=565	650	А	G			ロアリンク最奥 の穴はスタビラ イザ取付け用(ナ ロー用)の穴の ため、リフトロッ ド取付け位置注 意のこと
TJW1153C • 1233C	3	1	ホ L=565	650	А	G			ロアリンク最奥 の穴はスタビラ イザ取付け用(ナ ロー用)の穴の ため、リフトロッ ド取付け位置注 意のこと
TA-C1130	2	1	=	610	В	G			ジョイント異音時 PTO 切ヤンマー OEM YT5113AC
TA-C1380	2	1	=	710	А	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	三菱マヒンドラ 農機 OEM GCR1380
GV601·651·701	4	1	^	570	В	G		30	ロアピン内向きクボタ OEM MR600・650・700ロアリンク長さ標準仕様

トラクタ型式	トップ リンク 取付け穴	トラクタ ロア リンク 取付け穴	部の調整 リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ(mm)	1°F業 トップ リンク 取付け穴	機側 ヒッチ ピ ン 取付け穴	ジョ〜 切断寸シ 4L	3L	│ │ 備 [╡] ·
			40000	RC (IIIII)	40000	40007	KGC79M	KGC80	・ロアピン
GVK651·701	4	1	^	570	В	G		30	クボタ (MR650P 700PCロアリン さ標準化
GV800·900·1000· 1050	4	1	^ L=617	610	В	G			モンコート・ ローリア ローリア 日本で注でえる。リアン・ボスのとリアン・ボスのとリアン・ボスの・1000・100・100・100・100・100・100・100・1000・1000・1000・1000・1000・1000・1000・1000・1000・1000・1000・1000・1000・1000・1000・1000・1000・10000・1000・1000・10000・10000・10000・10000・10000・10000・10000・10000・10000
GVK800·900·1000· 1050	4	1	^ L=617	610	В	G			・ モンロイリー 場っ おったで注 のと リン が
GR100F·110F·115F· 125F·135F	3	П	ホ L=722	675	А	G	KGC84M に交換		クボタ OE M100GE・ 115GE・12 135GE
GCR1130	2	1	=	610	В	G			・ジョイン 音時 PT(・ヤンマ- YT5113/
GCR1380	2	1	=	710	А	G	KGC94M に交換	KGC90 に交換	
MF4506J·4507J	3	1	ホ L=535	550	А	G			・ MF4507 ZWX,GW 型式だけ ・ 井関 OE TJV655・ (ZWX,GV 型式だけ
MF4507J·4508J· 4509J	4	1	ホ L=535	650	А	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	井関 OEM TJV755・88
MF1775M·1785M· 1795M(WX)	3		ホ	590	A	G			PTO540 様のため 適応不同井関 OE TJX743・ 973(WX

		トラクタ	部の調整	ζ Ξ	作業	機側	ジョイ	イント + />	
トラクタ型式	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピ ン 取付け穴	りかり 4L KGC79M	去 (mm) 3L KGC80	備 考
MF1775M・1785M・ 1795M(WX 以外)	4		L=570	640	А	G	KGC84M に交換	KGC90 に交換	 SRZ 適応は WD 仕様に限る クイックヒッチタイプのトップリンク・アリンク・水平制御なし・井関 OEM TJX743・873・973(WX 以外)
T2.65	4	1	^	570	В	G		30	・ロアピン内向 き ・クボタ OEM MR65
MF4709	1	1	L=640	700	В	G			ジョイント異音 時 PTO 切
MF5710	2	1	L=700	700	А	G			ジョイント異音 時 PTO 切
MF5711SL • 5713SL	3	1	L=700	660	А	G	KGC84M に交換		ジョイント異音 時 PTO 切
MF5608·5609·5610	2	1	L=670	680	А	G			ジョイント異音 時 PTO 切
MF6445·6455·6460· 6470	4	1	L=690	640	А	G		30	
MF6465·6475·6480	4	1	L=720	680	А	G			
T4.75	3	1	L=513	710	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
T4.85 · 4.95 · 4.105 · 4.115	3	1	L=650	660	В	G			ジョイント異音 時 PTO 切
T5.95·5.105·5.115	2	1	L=620	650	В	G			ジョイント異音 時 PTO 切
T4030·4040	2	口	L=670	600	А	G		40	
T5050·5060·5070	2	1	L=595	635	В	G		40	
T6010Delta·6015Delta·6030Delta	2	口	L=750	710	А	G	KGC84M に交換		
T6020Elite · 6030Plus · T6060Elite	2		L=810	720	А	G	KGC84M に交換		
JD5100R	3	1	L=740	600	А	G		30	
JD6090MC·6100MC· 6110MC(~ 2017) JD6090RC·6100RC· 6110RC(~ 2017)	3	1	L=740	600	В	G		30	ジョイント異音 時 PTO 切
JD6115M·6125M(~ 2017)	3	1	L=715	610	В	G			
JD6105R·6115R(~ 2017)	3		L=890	670	А	G			

トラクタ別装着表 2L

この表はあくまで装着表であり、トラクタ適応馬力を示すものではありません。トラクタ適応馬力の範囲内で 使用してください。また、トラクタ別装着表にお客様のトラクタ型式が記載していない場合は、お買い求めの 販売店へお問い合わせください。

企注意



装着表記載の寸法からトップリンク長など変更される場合は、作業機を上下させてジョイントの抜 け・突きがないことを十分確認してから作業を行ってください。

________* ケガ・破損につながる恐れがあります。



ジョイントの抜け・突きがある場合は、ジョイントの切断・交換などして作業してください。 * ケガ・破損につながる恐れがあります。

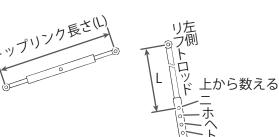
必ず実行

トップリンク取付け穴

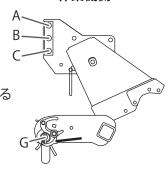


5番目

トップリンク・リフトロッド調整



作業機側



ロアリンク取付け穴



トラクタ側から数える

SRV-2L 仕様

		トラクタ	部の調整	<u> </u>	作業	機側	ジョ	<u>イント</u>	
トラクタ型式	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピ ン 取付け穴	切断寸》 2L KG87	法 (mm) CV・SV B895SA	備考
MR600·650·700H	1	1	^	570	В	G	11307	50	・ ジ音 PTO クチがな I PTO クチがな I トリック サック サック サック サック サック サック サック サック サック サ

		トラクタ	部の調整	<u> </u>	作業	機側	ジョイ	イント 法 (mm)	
トラクタ型式	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピ ン 取付け穴	りかり 2L KG87	CV • SV B895SA	備考
MR650-PC•700-PC	1	1	^	560	C	G		50	・ ジ音 ロチン渉合 I ーにだ取 アロック手がな II ーにだい アット ファッとして ファック ファック ファック ファック ファック ファック ファック ファック
MR800(H) • 900(H) • 1000(H) • 1050H	2	1	^ L=617	650	C	G			・ ジョ PTO 切 の ト 切 の ト が る で と で で で で で で で で で で で で で で で で で
MR800(H)-PC· 900(H)-PC· 1000(H)-PC· 1050H-PC	2	1	^ L=617	650	C	G			ジ音・アントリントのサロ、アントリントのサロ、ドウン・アントのサロ、ドウン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン
M100GE·110GE·115GE	1		ホ L=722	750	В	G			ジョイント異音 時 PTO 切
M110GE-PC	1		ホ L=722	750	В	G			ジョイント異音 時 PTO 切
M1060W	1		L=575	730	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
M860W-SE 1010W-SE	1	П	^ L=617	730	А	G		50	・ ジョ PTO 切 ・ ジョ時 PTO 切 ・ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
M720W	1	1	L=480	680	С	G		50	ジョイント異音 時 PTO 切
YT460A · 465A	2	1	ホ	600	В	G			ジョイント異音 時 PTO 切

		トラクタ	部の調整	ζ -	作業	機側	ジョイ	イント、	
トラクタ型式	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピ ン 取付け穴	切断可 2L KG87	法 (mm) CV・SV B895SA	備考
YT472A	2	1	ホ	590	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT465AD·472AD	2	1	ホ	590	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT472AC	2	1	=	560	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT488R·498R·4104R	1	1	=	690	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT488RD·498RD· 4104RD	1	1	=	690	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT5114R	2	1	=	730	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT5114RD	2	1	=	730	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT5114RC	1	1	=	700	В	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJV655 • 755	3	1	ホ L=535	590	С	G			ジョイント異音時 PTO 切TJV755 はZWX,GWD 型式だけ
TJV655C • 755C	3	1	^	590	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJV755L·885·985	1	1	ホ L=535	760	А	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJV885C • 985C	1	1	ホ L=535	760	А	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJX743·873·973(WX)	1	1	朩	670	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJX743C(WX)	1	1	ホ	670	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJX743·873· 973(WX 以外)	1	1	L=530	750	С	G			ジョイント異音時 PTO 切クイックヒッチタイプのトップリンク・ロアリンク・水平制御なし
TJX743C(WD)	1	1	L=570	750	С	G			ジョイント異音時 PTO 切クイックヒッチタイプのトップリンクロアリンク水平制御なし
TA-C1130	1	1	=	700	В	G			ジョイント異音時 PTO 切ヤンマー OEM YT5113AC

		トラクタ	部の調整	<u> </u>	作業	機側	ジョ	イント、	
トラクタ型式	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピ ン 取付け穴	切断寸; 2L KG87	法 (mm) CV・SV B895SA	備考
GV601·651·701	1	1	^	570	В	G		50	 ・ PTO クチがなII と変さけい ・ サン渉合2Lチレク ・ カーチン渉合2Lチレク ・ トにだりの ・ クチがなII と変さけい ・ クチがるII と変さけい ・ のEM MR600・650・700
GVK651·701	1	1	^	560	С	G		50	・ ジ音 PTO クチがな II ト切 クチがな II トで アエとし、オーくン オーくン シーン がない II ト変さけ が がん MR650PC・700PC
GV800·900·1000· 1050	2	1	^ L=617	650	С	G			・ ジョ PTO 切・ ジョ PTO 切の・ 場っては・ 場ったで・ 大で注を・ クボること・ クボタの・900・1000・1050

		トラクタ	部の調整		作業	機側	ジョイ	イント	
トラクタ型式	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピ ン 取付け穴	切断可 2L KG87	法 (mm) CV・SV B895SA	備考
GVK800·900·1000· 1050	2	1	^ L=617	650	C	G			 ジョサ PTO 切 サ FTO 切 サ 日
GR100F·110F·115F	1	П	ホ L=722	750	В	G			・ジョイント異 音時 PTO 切 ・クボタ OEM M100GE・ 110GE・ 115GE・125GE・ 135GE
GCR1130	1	1	=	700	В	G			ジョイント異音時 PTO 切ヤンマー OEM YT5113AC
MF4506J·4507J	3	1	ホ L=535	590	С	G			 ジョイント異音時 PTO 切 MF4507J はZWX,GWD型式だけ 井関 OEMTJV655・755(ZWX,GWD型式だけ)
MF4507J·4508J· 4509J	1	1	ホ L=535	760	A	G			ジョイント異音時 PTO 切井関 OEM TJV755・885・985
MF1775M·1785M· 1795M(WX)	1	1	ホ	670	С	G			ジョイント異音時 PTO 切井関 OEM TJX743・873・973(WX)

		トラクタ	部の調整	ζ Ξ	作業	機側	ジョイ	イント 法 (mm)	
トラクタ型式	トップ リンク	ロア リンク	リフト ロッド	トップ リンク	トップ リンク	ヒッチピン	9JMT 13 7 2L	云 (mm) CV・SV	備考
	取付け穴	取付け穴	取付け穴	長さ (mm)	取付け穴	取付け穴	KG87	B895SA	
MF1775M·1785M· 1795M(WX 以外)	1	イ	L=530	750	С	G			 ジョイント異音時 PTO 切 クイックヒッチタイプのトップリンク・アリンク 水平制御なし 井関 OEM TJX743・873・973(WX 以外)
T2.65	1	1	^	570	В	G		50	ジョサアTO クチャント切りサロアエとし、オーマントののでは、オーマンをできる。オールのでは、オールのでは、オールのでは、オールのでは、カールの
MF4709	1	1	L=640	730	С	G		30	
MF5710	1	1	L=695	760	В	G			
MF5711SL	2	1	L=700	760	В	G			
MF5608 • 5609 • 5610	1	1	L=680	760	А	G			
MF6445·6455· 6460·6470	1	1	L=670	670	А	G		50	
MF6465	1	1	L=720	730	А	G			
T4.75	1	1	L=510	730	С	G			
T4.85 · 4.95 · 4.105 · 4.115	1	1	L=650	740	А	G			
T5.95·5.105·5.115	1	1	L=620	700	В	G		50	
T4030·4040	1	1	L=620	710	В	G		50	
T5050·5060·5070	1	1	L=595	700	В	G		50	
T6010Delta·6015Delta· 6030Delta	1	П	L=760	790	В	G			
T6030Plus	1	П	L=790	800	В	G			

		トラクタ	部の調整	<u> </u>	作業機側		ジョイント			
トラクタ型式	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピ ン 取付け穴	切断寸》 2L KG87	去 (mm) CV・SV B895SA	備考	
JD5100R	1	1	L=740	700	В	G		50		
JD6090MC·6100MC· 6110MC(~ 2017) JD6090RC· 6100RC(~ 2017)	1	1	L=740	650	В	G		50		

SRZ -2L 仕様

		トラクタ	部の調整	<u> </u>	作業	機側		イント、	
トラクタ型式	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピ ン 取付け穴	切断可 2L KG87	法 (mm) 350J KGD91A	備 考
MR900(H)·1000(H)· 1050H	2	1	^ L=617	650	C	G			・ サイヤ (1) では、・ サイト (1) では、・ サイン (1) では
MR900(H)-PC • 1000(H)-PC • 1050H-PC	2	1	^ L=617	650	C	G			・ 5日・ 5日
M100GE·110GE·115GE· 125GE·135GE	1		ホ L=722	750	В	G			ジョイント異音 時 PTO 切
M110GE-PC · 125GE-PC	1		ホ L=722	750	В	G			ジョイント異音 時 PTO 切
M1060W	1		L=575	730	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
M7-132	1	1	L=800	780	А	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT498R·4104R	1	1	_	690	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT498RD·4104RD	1	1	=	690	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT5114R	2	1	_	730	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切

		トラクタ	部の調整	<u>.</u>	作業	機側	ジョ	イント 法 (mm)	
トラクタ型式	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピ ン 取付け穴	切断寸》 2L KG87	去 (mm) 350J KGD91A	 備 考
YT5114RD	2	1	=	730	С	G			ジョイント異音 時 PTO 切
YT5114RC	1	1	=	700	В	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJV985	1	1	ホ L=535	760	А	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJV985C	1	1	ホ L=535	760	А	G			ジョイント異音 時 PTO 切
TJX873·973(WD)	1	1	L=530	750	С	G			ジョイント異音時 PTO 切クイックヒッチタイプリンクロアリンク・水平制御なし
TJW1153·1233	1	1	ホ L=565	720	С	G			ジョキアTO 切お音 PTO 切り 中 アウン クスス で アウン の で アウン の で アウン の で アウン の で の で の で の で の で の で の で の で の で の
TJW1153C·1233C· 1303C	1	1	ホ L=565	720	С	G			・ ジョサ PTO り 音 PTO クター ・ ツークス アーク リーク リーク リーク リーク リーク リーク アーク リーク アーク リーク アーク リーク アーク アーク アーク アーグ アーク アーグ
TA-C1130	1	イ	=	700	В	G			・ジョイント異 音時 PTO 切 ヤンマー OEM YT5113AC
TA-C1380	2	1	=	730	В	G	KG97 に交換	KGD106A に交換	ジョイント異音時 PTO 切三菱マヒンドラ農機 OEM GCR1380

		トラクタ	部の調整	ζ	作業	機側	ジョイ	イント、	
トラクタ型式	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	リフト ロッド 取付け穴	トップ リンク 長さ(mm)	トップ リンク 取付け穴	ヒッチ ピ ン 取付け穴	切断寸》 2L KG87	去 (mm) 350J KGD91A	
GV900·1000·1050	2	1	^ L=617	650	C	G	11407	, AGDJIN	 ジョサ PTO 切 ・ジョ時 PTO 切 ・モント切の ・モントのとりの ・カボタのに ・クボタのを ・クボタのの・1000・1050
GVK900·1000·1050	2	1	^ L=617	650	C	G			・ジョヤント切の・サロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
GR100F·110F·115F· 125F·135F	1		ホ L=722	750	В	G			ジョイント異音時 PTO 切クボタ OEM M100GE・110GE・115GE・125GE・135GE
GCR1130	1	1	_	700	В	G			ジョイント異音時 PTO 切ヤンマー OEM YT5113AC
GCR1380	2	1	=	730	В	G	KG97 に交換	KGD106A に交換	ジョイント異音 時 PTO 切
MF4509J	1	1	ホ L=535	760	А	G			ジョイント異音時 PTO 切井関 OEM TJV985
MF1785M· 1795M(WD)	1	1	L=530	750	С	G			ジョイント異音時 PTO 切クイックヒッチタイプのトップリンクロアリンク・水平制御なし井関 OEMTJX873・973(WD)

		トラクタ	部の調整	<u> </u>	作業	機側		イント 法 (mm)	
トラクタ型式	トップリンク	ロア リンク	リフトロッド	トップリンク	トップリンク	ヒッチピン	2L	350J	備考
NE 1700	取付け穴	取付け穴	取付け穴	長さ (mm)	取付け穴	取付け穴	KG87	KGD91A	
MF4709	1	1	L=640	730	С	G			
MF5710	1	1	L=695	760	В	G			
MF5711SL·5713SL	2	1	L=700	760	В	G			
MF5609·5610	1	1	L=660	760	А	G			
MF6613	1	1	L=715	730	С	G			
MF6455·6460·6470	1	1	L=670	670	А	G		30	
MF6465 • 6475 • 6480	1	1	L=720	730	А	G			
MF6485·6490	2	1	L=900	800	С	G			
MF7614	1	1	L=720	710	А	G			
MF7485 • 7490	1	1	L=700	860	А	G		KGD106A に交換	
T4.95·4.105·4.115	1	1	L=650	740	А	G			
T5.95·5.105·5.115	1	1	L=620	700	В	G		30	
T6.140·6.150	1		L=770	790	С	G			
T5050·5060·5070	1	1	L=595	700	В	G			
T6010Delta · 6015Delta · 6030Delta T6050Delta · 6070Delta	1		L=760	790	В	G			
T6020Elite · T6060Elite T6030Plus · T6070Plus	1		L=790	800	В	G			
T6050RC·6070RC· 6080RC	1		L=800	800	В	G			
T6080PC	1		L=800	800	В	G			
JD5100R	1	1	L=740	700	А	G		30	
JD6130R(2017 ~)	1	1	L=890	740	В	G			
JD6105R·6115R· 6125R· 6130R(~ 2017)	1	1	L=890	740	В	G			
JD6115M⋅ 6125M(~ 2017)	2	1	L=700	650	А	G		30	
JD6130M·6140M· 6150M(~ 2017)	1	1	L=940	700	В	G		30	

		トラクタ	部の調整	<u> </u>	作業	機側	ジョイ		
トラクタ型式	トップ リンク 取付け穴	ロア リンク 取付け穴	ロッド		リンク	ヒッチ ピ ン 取付け穴	切断寸》 2L KG87	去 (mm) 350J KGD91A	備考
JD6090MC·6100MC· 6110MC(~ 2017) JD6090RC·6100RC· 6110RC(~ 2017)	1	1	L=740	650	В	G		30	

フロントウエイト装着表

このフロントウエイト装着表は、作業性能を発揮するための必要ウエイト量を示します。

作業機を装着して道路走行する際は、表示のウエイト以上に必要な場合がありますので注意してください。

作業機を装着して道路走行する場合のウエイト量は下記ホームページより確認してください。

一般社団法人 日本農業機械工業会ホームページアドレス http://www.jfmma.or.jp/

下表には作業性能に最低限必要なフロントウエイト枚数を示しています。

また、"-"はフロントウエイト不要、グレー部は適応外を示します。

トラクタメーカーによってはバランス基準が異なりますので、必ず下記の適正フロントウエイト重量を搭載し

トラクタ型式によっては、オプションウエイト台が必要になります。詳しくはお買い求めの販売店へお問い合 わせください。

SRV T-0L/3L/4L

■株式会社クボタ

トラクタ						MR					
型式	600	650	700	650-PC	700-PC	800(H)	900(H) • 1000(H)	1050H	800(H)- PC	900(H) • 1000(H)-PC	1050H- PC
SRV221 HST • KZT	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV241 HST • KZT			80 kg ※ 1		180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HST • KZT			180 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281 HST • KZT						45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301 HST • KZT							45 kgx4	-		45 kgx4	45 kgx4
SRV221ET	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV241ET			180 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261ET			180 kg ※ 1		230 kg ※ 1	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281ET						45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241AT			80 kg ※ 1		180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261AT			180 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281AT						45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301AT							45 kgx4	-		45 kgx4	45 kgx4
SRV241 HSWT • KZWT	80 kg ※ 1	30 kg ※ 1	30 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV261 HSWT • KZWT			80 kg ※ 1		180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV281 HSWT • KZWT						-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4

トラクタ						MR					
型式	600	650	700	650-PC	700-PC	800(H)	900(H) • 1000(H)	1050H	800(H)- PC	900(H) • 1000(H)-PC	1050H- PC
SRV301 HSWT							45 kgx4	-		45 kgx4	45 kgx4
SRV351 HSWT							45 kgx4	-		45 kgx4	45 kgx4

- ※1 様々なフロントウェイト台種類があるため、フロントウェイト台とフロントウェイトの総質量を示しま す。(板金製フロントウェイト台:30kg と鋳物製フロントウェイト台:80kg のどちらかと、フロントウェ イト: 25kg/45kg の選択組合せのこと)
- ※2 H仕様の場合は、()内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

			1	VI		
トラクタ型式	100GE • 110GE	110GE-PC	720W	860W-SE	1010W-SE	1060W
SRV221 HST • KZT	-	-	45 kgx4	-	-	-
SRV241 HST • KZT	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV261 HST • KZT	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281 HST • KZT	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301 HST • KZT	-	45 kgx4			45 kgx4	45 kgx4
SRV221ET	-	-	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV241ET	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261ET	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281ET	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241AT	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV261AT	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281AT	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301AT	-	45 kgx4			45 kgx4	45 kgx4
SRV241 HSWT • KZWT	-	-	45 kgx4	-	-	-
SRV261 HSWT • KZWT	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV281 HSWT • KZWT	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	-
SRV301 HSWT	-	45 kgx4			45 kgx4	45 kgx4
SRV351 HSWT	-	45 kgx4			45 kgx4	45 kgx4

■ヤンマーホールディングス株式会社

		YT										
トラクタ型式	460A • 465A	472A (キャビン 仕様)	472A (安全フレーム 仕様)	465AD	472AD	472AC						
SRV221 HST • KZT	30 kgx8	30 kgx7	30 kgx8	50 kgx6	50 kgx6	30 kgx10						

			Υ	Т		
トラクタ型式	460A • 465A	472A (キャビン 仕様)	472A (安全フレーム 仕様)	465AD	472AD	472AC
SRV241 HST • KZT		30 kgx8	30 kgx10		50 kgx6	50 kgx6 ※ 3
SRV261 HST • KZT		30 kgx9	30 kgx10		50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV281 HST • KZT						
SRV301 HST • KZT						
SRV221ET	30 kgx8	30 kgx7	30 kgx9	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx6 ※ 3
SRV241ET		30 kgx9	30 kgx10		50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV261ET		30 kgx10	50 kgx6 ※ 3		50 kgx8	50 kgx8 ※ 3
SRV281ET						
SRV241AT		30 kgx8	30 kgx9		50 kgx6	50 kgx6 ※ 3
SRV261AT		30 kgx9	30 kgx10		50 kgx6	50 kgx6 ※ 3
SRV281AT						
SRV301AT						
SRV241 HSWT • KZWT	30 kgx8	30 kgx7	30 kgx8	50 kgx6	50 kgx6	30 kgx10
SRV261 HSWT • KZWT		30 kgx8	30 kgx9		50 kgx6	50 kgx6 ※ 3
SRV281 HSWT • KZWT						
SRV301 HSWT						
SRV351 HSWT						

				ΥT			
トラクタ型式	488R	498R • 4104R	488RD	498RD • 4104RD	5114R	5114RD	5114RC
SRV221 HST • KZT	50 kgx2	50 kgx2	50 kgx4	50 kgx4	-	50 kgx4	50 kgx6
SRV241 HST • KZT	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV261 HST • KZT	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV281 HST • KZT	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV301 HST • KZT		50 kgx4		50 kgx6	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx8
SRV221ET	50 kgx2	50 kgx2	50 kgx4	50 kgx4	-	50 kgx4	50 kgx6
SRV241ET	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV261ET	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV281ET	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8

				YT			
トラクタ型式	488R	498R • 4104R	488RD	498RD • 4104RD	5114R	5114RD	5114RC
SRV241AT	50 kgx2	50 kgx2	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx2	50 kgx4	50 kgx6
SRV261AT	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV281AT	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV301AT		50 kgx4		50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV241 HSWT • KZWT	50 kgx2	50 kgx2	50 kgx4	50 kgx4	-	50 kgx4	50 kgx6
SRV261 HSWT • KZWT	50 kgx2	50 kgx2	50 kgx4	50 kgx4	-	50 kgx4	50 kgx6
SRV281 HSWT • KZWT	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx2	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV301 HSWT		50 kgx4		50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV351 HSWT		50 kgx4		50 kgx6	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8

^{※3} フロントウェイト台をオプションのウェイト台(最大 50 kg x 10 枚搭載)に変更のこと。

■井関農機株式会社

				TJV			
トラクタ型式	655	755	655C	755C	755L	885 • 985	885C • 985C
SRV221 HST • KZT	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx2	45 kgx2	-	-	-
SRV241 HST • KZT		45 kgx2		45 kgx3	-	-	-
SRV261 HST • KZT		45 kgx2		45 kgx3	-	-	45 kgx1
SRV281 HST • KZT						-	45 kgx1
SRV301 HST • KZT						-	45 kgx2
SRV221ET		45 kgx1	45 kgx2	45 kgx2	-	-	-
SRV241ET		45 kgx2		45 kgx3	_	-	-
SRV261ET		45 kgx2		45 kgx4	-	-	45 kgx1
SRV281ET						-	45 kgx1
SRV241AT		45 kgx1		45 kgx3	-	-	-
SRV261AT		45 kgx2		45 kgx3	-	-	-
SRV281AT						-	45 kgx1
SRV301AT						-	45 kgx1
SRV241 HSWT • KZWT	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx2	45 kgx2	-	-	-
SRV261 HSWT • KZWT		45 kgx1		45 kgx2	-	-	-
SRV281 HSWT • KZWT						-	-
SRV301 HSWT						-	45 kgx1

^{※ 4} 有段変速仕様の場合は、()内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

トラクタ型式		TJV									
アプラダ空丸	655	755	655C	755C	755L	885 • 985	885C • 985C				
SRV351 HSWT						-	45 kgx2				

			T.	JX			TA-C
トラクタ型式	743 (WX)	743C (WX)	873 • 973 (WX)	743 (WX 以外)	743C (WD)	873・973 (WX 以外)	1130
SRV221 HST • KZT	45 kgx1	45 kgx3	-	45 kgx1	45 kgx3	- (1) <u>*</u> 5	50 kgx6
SRV241 HST • KZT	45 kgx2	45 kgx4	-	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6
SRV261 HST • KZT	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx3 (2) ※ 5	45 kgx5	45 kgx2	50 kgx6
SRV281 HST • KZT			45 kgx2			45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV301 HST • KZT			45 kgx2			45 kgx3 (4) ※ 5	50 kgx8
SRV221ET	45 kgx1	45 kgx3	-			- (1) <u>*</u> 5	50 kgx6
SRV241ET	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx3 (2) ※ 5	45 kgx5	45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6
SRV261ET	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx5	45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV281ET			45 kgx2			45 kgx3 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV241AT	45 kgx1	45 kgx3	-	45 kgx2 (1) ※ 5	45 kgx4	45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6
SRV261AT	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6
SRV281AT			45 kgx1			45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx6
SRV301AT			45 kgx2			45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV241 HSWT • KZWT	45 kgx1	45 kgx3	-	45 kgx1	45 kgx3	- (1) <u>*</u> 5	50 kgx6
SRV261 HSWT • KZWT	45 kgx1	45 kgx3	-	45 kgx2 (1) ※ 5	45 kgx4	45 kgx1	50 kgx6
SRV281 HSWT • KZWT			-			45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6
SRV301 HSWT			45 kgx1			45 kgx2	50 kgx6
SRV351 HSWT			45 kgx2			45 kgx3 (4) ※ 5	50 kgx8

^{※5} 安全フレーム仕様の場合は、()内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

		GV									
トラクタ型式	601	651	701	800(H)	900(H) • 1000(H)	1050H					
SRV221 HST • KZT	210 kg ※ 6	180 kg ※ 6	180 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4					

			G	V		
トラクタ型式	601	651	701	800(H)	900(H) • 1000(H)	1050H
SRV241 HST • KZT			210 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HST • KZT			260 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281 HST • KZT				45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4
SRV301 HST • KZT					45 kgx6	45 kgx4
SRV221ET	210 kg ※ 6	180 kg ※ 6	210 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241ET			230 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261ET			260 kg ※ 6	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4	45 kgx4
SRV281ET				45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4
SRV241AT			210 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261AT			230 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281AT				45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301AT					45 kgx6	45 kgx4
SRV241 HSWT • KZWT	180 kg ※ 6	180 kg ※ 6	180 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HSWT • KZWT			210 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281 HSWT • KZWT				45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301 HSWT					45 kgx4	45 kgx4
SRV351 HSWT					45 kgx6	45 kgx4

			GVK			GR	GCR
トラクタ型式	651	701	800(H)	900(H) • 1000(H)	1050H	100F • 110F	1130
SRV221 HST • KZT	300 kg ※ 6	300 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	-	50 kgx6
SRV241 HST • KZT		330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	-	50 kgx6
SRV261 HST • KZT		390 kg ※ 6	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx6
SRV281 HST • KZT			45 kgx8	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV301 HST • KZT				45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV221ET		300 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	-	50 kgx6
SRV241ET		350 kg ※ 6	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	-	50 kgx6
SRV261ET		390 kg ※ 6	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8

			GVK			GR	GCR
トラクタ型式	651	701	800(H)	900(H) • 1000(H)	1050H	100F • 110F	1130
SRV281ET			45 kgx8	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV241AT		330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	-	50 kgx6
SRV261AT		350 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	-	50 kgx6
SRV281AT			45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx6
SRV301AT				45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV241 HSWT • KZWT	300 kg ※ 6	300 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	-	50 kgx6
SRV261 HSWT • KZWT		330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	-	50 kgx6
SRV281 HSWT • KZWT			45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	-	50 kgx6
SRV301 HSWT				45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx6
SRV351 HSWT				45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8

- ※6 様々なフロントウェイト台種類があるため、フロントウェイト台とフロントウェイトの総質量を示しま す。(板金製フロントウェイト台:30 kg と鋳物製フロントウェイト台:80 kg のどちらかと、フロントウェ イト 25 kg/45 kg の選択組合せのこと)
- ※7 H仕様の場合は、()内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

SRV-2L

■株式会社クボタ

						MR					
トラクタ 型式	600	650	700	650-PC	700-PC	800(H)	900(H) • 1000(H)	1050H	800(H)- PC	900(H) • 1000(H)-PC	1050H- PC
SRV221 HS • KZ • S	180 kg ※ 1	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241 HS • KZ • S			180 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HS • KZ • S			180 kg ※ 1		230 kg ※ 1	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281 HS • KZ • S						45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301 HS • KZ • S							45 kgx4	45 kgx4		45 kgx6 (4) ※ 2	45 kgx4
SRV221E	180 kg ※ 1	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	-	-	_	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241E			180 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4	45 kgx4	_	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261E			180 kg ※ 1		230 kg ※ 1	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281E						45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx6 (4) ※ 2	45 kgx6 (4) ※ 2	45 kgx4

						MR					
トラクタ 型式	600	650	700	650-PC	700-PC	800(H)	900(H) • 1000(H)	1050H	800(H)- PC	900(H) • 1000(H)-PC	1050H- PC
SRV241A			80 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261A			180 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281A						45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301A							45 kgx4	-		45 kgx4	45 kgx4
SRV201 CV • SV	180 kg ※ 1	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	-	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV221 CV • SV			180 kg ※ 1		210 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV201J	180 kg ※ 1	80 kg ※ 1	80 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4 (-) ※ 2	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV221J	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	180 kg ※ 1	210 kg ※ 1	45 kgx4 (-) ※ 2	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241J			180 kg ※ 1		260 kg ※ 1	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HJ•J			180 kg ※ 1		280 kg ※ 1	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx6 (4) ※ 2	45 kgx6 (4) ※ 2	45 kgx4
SRV281 HJ•J						45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4
SRV301HJ							45 kgx4	45 kgx4		45 kgx6	45 kgx6

- ※1 様々なフロントウェイト台種類があるため、フロントウェイト台とフロントウェイトの総質量を示しま す。(板金製フロントウェイト台:30 kg と鋳物製フロントウェイト台:80 kg のどちらかと、フロントウェ イト: 25 kg/45 kg の選択組合せのこと)
- ※2 H仕様の場合は、()内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

			Λ	Λ		
トラクタ型式	100GE • 110GE	110GE-PC	720W	860W-SE	1010W-SE	1060W
SRV221 HS • KZ • S	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV241 HS • KZ • S	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HS • KZ • S	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281 HS • KZ • S	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301 HS • KZ • S	-	45 kgx4			45 kgx4	45 kgx4
SRV221E	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	-
SRV241E	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261E	-	45 kgx4	45 kgx8	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281E	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241A	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261A	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281A	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301A	-	45 kgx4			45 kgx4	45 kgx4
SRV201 CV • SV	-	45 kgx4	45 kgxб	45 kgx4	45 kgx4	-

			Λ	Л		
トラクタ型式	100GE • 110GE	110GE-PC	720W	860W-SE	1010W-SE	1060W
SRV221 CV • SV	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV201 J	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV221 J	-	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241 J	-	45 kgx4	45 kgx8	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HJ•J	-	45 kgx4	45 kgx8	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV281 HJ•J	-	45 kgx4		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV301 HJ	-	45 kgx4			45 kgx4	45 kgx4

■ヤンマーホールディングス株式会社

			Y	Т		
トラクタ型式	460A • 465A	472A (キャビン 仕様)	472A (安全フレーム 仕様)	465AD	472AD	472AC
SRV221 HS • KZ • S	50 kgx4 ※ 3	30 kgx8	30 kgx9	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV241 HS • KZ • S		30 kgx9	50 kgx6 ※ 3		50 kgx8	50 kgx8 ※ 3
SRV261 HS • KZ • S		30 kgx10	50 kgx6 ※ 3		50 kgx8	50 kgx8 ※ 3
SRV281 HS • KZ • S						
SRV301 HS • KZ • S						
SRV221E	50 kgx6 ※ 3	30 kgx8	30 kgx10	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV241E		30 kgx10	50 kgx6 ※ 3		50 kgx8	50 kgx8 ※ 3
SRV261E		50 kgx8 ※ 3	50 kgx6 ※ 3		50 kgx8	50 kgx8 ※ 3
SRV281E						
SRV241A		30 kgx9	30 kgx10		50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV261A		30 kgx10	50 kgx6 ※ 3		50 kgx8	50 kgx8 ※ 3
SRV281A						
SRV301A						
SRV201 CV • SV	50 kgx4 ※ 3	30 kgx8	30 kgx9	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV221 CV • SV	50 kgx4 ※ 3	30 kgx9	30 kgx10	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV201 J	50 kgx6 ※ 3	30 kgx9	30 kgx10	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8 ※ 3
SRV221 J	50 kgx6 ※ 3	30 kgx10	50 kgx6 ※ 3	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx8 ※ 3

	YT								
トラクタ型式	460A • 465A	472A (キャビン 仕様)	472A (安全フレーム 仕様)	465AD	472AD	472AC			
SRV241 J		50 kgx8 ※ 3	50 kgx6 ※ 3		50 kgx8	50 kgx10 ※ 3			
SRV261 HJ•J		50 kgx8 ※ 3	50 kgx8 ※ 3		50 kgx8	50 kgx10 ※ 3			
SRV281 HJ•J									
SRV301 HJ									

				YT			
トラクタ型式	488R	498R • 4104R	488RD	498RD • 4104RD	5114R	5114RD	5114RC
SRV221 HS • KZ • S	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx4	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV241 HS • KZ • S	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV261 HS • KZ • S	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV281 HS • KZ • S	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx8
SRV301 HS • KZ • S		50 kgx6		50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRV221E	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV241E	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV261E	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx8
SRV281E	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRV241A	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV261A	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV281A	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV301A		50 kgx6		50 kgx6	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRV201 CV • SV	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx4			
SRV221 CV • SV	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6			
SRV201 J	50 kgx4 (2) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx6
SRV221 J	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRV241 J	50 kgx6 (4) ※ 4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx8
SRV261 HJ•J	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRV281 HJ•J	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx10
SRV301 HJ		50 kgx6		50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx10

^{※3} フロントウェイト台をオプションのウェイト台(最大 50 kg x 10 枚搭載)に変更のこと。

^{※ 4} 有段変速仕様の場合は、()内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

■井関農機株式会社

トラクタ型式				TJV			
トラクダ空式	655	755	655C	755C	755L	885 • 985	885C • 985C
SRV221 HS • KZ • S	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	-	-	-
SRV241 HS • KZ • S		45 kgx2		45 kgx3	-	-	45 kgx1
SRV261 HS • KZ • S		45 kgx3		45 kgx4	-	-	45 kgx1
SRV281 HS • KZ • S						-	45 kgx2
SRV301 HS • KZ • S						-	45 kgx2
SRV221E	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3	45 kgx3	-	-	-
SRV241E		45 kgx2		45 kgx4	-	-	45 kgx1
SRV261E		45 kgx3		45 kgx4	45 kgx1	-	45 kgx1
SRV281E						-	45 kgx2
SRV241A		45 kgx2		45 kgx3	-	-	-
SRV261A		45 kgx2		45 kgx4	-	-	45 kgx1
SRV281A						-	45 kgx1
SRV301A						-	45 kgx2
SRV201 CV • SV	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	-	-	-
SRV221 CV • SV	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3	45 kgx3	-	_	-
SRV201 J	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3	45 kgx3	-	_	-
SRV221 J	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx4	-	-	45 kgx1
SRV241 J		45 kgx3		45 kgx5	45 kgx1	_	45 kgx2
SRV261 HJ•J		45 kgx4		45 kgx5	45 kgx1	-	45 kgx2
SRV281 HJ•J						45 kgx1	45 kgx3
SRV301 HJ						45 kgx2	45 kgx3

			T.	JX			TA-C
トラクタ型式	743 (WX)	743C (WX)	873 • 973 (WX)	743 (WX 以外)	743C (WD)	873・973 (WX 以外)	1130
SRV221 HS • KZ • S	45 kgx1	45 kgx3	-	45 kgx2 (1) ※ 5	45 kgx4	45 kgx1	50 kgx6
SRV241 HS • KZ • S	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx3 (2) ※ 5	45 kgx5	45 kgx2	50 kgx8
SRV261 HS • KZ • S	45 kgx3	45 kgx5	45 kgx2	45 kgx3	45 kgx6	45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV281 HS • KZ • S			45 kgx2			45 kgx3	50 kgx8
SRV301 HS • KZ • S			45 kgx3			45 kgx3 (4) ※ 5	50 kgx8
SRV221E	45 kgx2	45 kgx4	-	45 kgx2 (1) ※ 5	45 kgx4	45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6

			T.	JX			TA-C
トラクタ型式	743 (WX)	743C (WX)	873 • 973 (WX)	743 (WX 以外)	743C (WD)	873・973 (WX 以外)	1130
SRV241E	45 kgx3	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx3 (2) ※ 5	45 kgx5	45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV261E	45 kgx3	45 kgx5	45 kgx2	45 kgx4 (3) ※ 5	45 kgx6	45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV281E			45 kgx3			45 kgx3 (4) ※ 5	50 kgx8
SRV241A	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx2	45 kgx5	45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6
SRV261A	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx3 (2) ※ 5	45 kgx5	45 kgx2	50 kgx8
SRV281A			45 kgx2			45 kgx2 (3) ※ 5	50 kgx8
SRV301A			45 kgx2			45 kgx3 (4) ※ 5	50 kgx8
SRV201 CV • SV	45 kgx1	45 kgx3	-	45 kgx2 (1) ※ 5	45 kgx4	45 kgx1	
SRV221 CV • SV	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx2	45 kgx5	45 kgx1 (2) ※ 5	
SRV201 J	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1 (2) ※ 5	50 kgx6
SRV221 J	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx1	45 kgx3 (2) ※ 5	45 kgx5	45 kgx2	50 kgx8
SRV241 J	45 kgx3	45 kgx5	45 kgx2	45 kgx4 (3) ※ 5	45 kgx6	45 kgx3	50 kgx8
SRV261 HJ•J	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx3	45 kgx4	45 kgx7	45 kgx3 (4)	50 kgx8
SRV281 HJ•J			45 kgx3			45 kgx4 (5) ※ 5	50 kgx10
SRV301 HJ			45 kgx4			45 kgx4 (5) ※ 5	50 kgx10

^{※ 5} 安全フレーム仕様の場合は、()内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

			G	V		
トラクタ型式	601	651	701	800(H)	900(H) • 1000(H)	1050H
SRV221 HS • KZ • S	210 kg ※ 6	210 kg ※ 6	210 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241 HS • KZ • S			260 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261 HS • KZ • S			260 kg ※ 6	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4
SRV281 HS • KZ • S				45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4
SRV301 HS • KZ • S					45 kgx6	45 kgx4
SRV221E	230 kg ※ 6	230 kg ※ 6	230 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241E			260 kg ※ 6	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4	45 kgx4

			G	V		
トラクタ型式	601	651	701	800(H)	900(H) • 1000(H)	1050H
SRV261E			280 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4
SRV281E				45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4
SRV241A			230 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV261A			260 kg ※ 6	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4	45 kgx4
SRV281A				45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4
SRV301A					45 kgx6	45 kgx4
SRV201 CV • SV	230 kg ※ 6	210 kg ※ 6	210 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV221 CV • SV			230 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV201J	230 kg ※ 6	230 kg ※ 6	210 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV221J	260 kg ※ 6	260 kg ※ 6	260 kg ※ 6	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRV241J			300 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4
SRV261 HJ•J			330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4
SRV281 HJ•J				45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6
SRV301HJ					45 kgx8	45 kgx6

			GVK			GR	GCR
トラクタ型式	651	701	800(H)	900(H) • 1000(H)	1050H	100F • 110F	1130
SRV221 HS • KZ • S	330 kg ※ 6	330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	-	50 kgx6
SRV241 HS • KZ • S		390 kg ※ 6	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV261 HS • KZ • S		390 kg ※ 6	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV281 HS • KZ • S			45 kgx8	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV301 HS • KZ • S				45 kgx10 (8) ※ 7	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV221E	330 kg ※ 6	330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	-	50 kgx6
SRV241E		390 kg ※ 6	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV261E		390 kg ※ 6	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV281E			45 kgx8	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV241A		350 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	-	50 kgx6
SRV261A		390 kg ※ 6	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV281A			45 kgx8	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8

			GVK			GR	GCR
トラクタ型式	651	701	800(H)	900(H) • 1000(H)	1050H	100F • 110F	1130
SRV301A				45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV201 CV • SV	330 kg ※ 6	330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	-	
SRV221 CV • SV		350 kg ※ 6	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	-	
SRV201J	330 kg ※ 6	330 kg ※ 6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx6
SRV221J	390 kg ※ 6	390 kg ※ 6	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx8 (6) ※ 7	45 kgx6	45 kgx4	50 kgx8
SRV241J		440 kg ※ 6	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV261 HJ•J		440 kg ※ 6	45 kgx10 (8) ※ 7	45 kgx10 (8) ※ 7	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx8
SRV281 HJ•J			45 kgx10	45 kgx10	45 kgx8	45 kgx4	50 kgx10
SRV301HJ				45 kgx10	45 kgx10	45 kgx4	50 kgx10

^{※6} 様々なフロントウェイト台種類があるため、フロントウェイト台とフロントウェイトの総質量を示しま す。(板金製フロントウェイト台:30 kg と鋳物製フロントウェイト台:80 kg のどちらかと、フロントウェ イト: 25 kg/45 kg の選択組合せのこと)

※7 H仕様の場合は、()内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

SRZ T-0L/3L/4L

■株式会社クボタ

			N	lR					М		
トラクタ 型式	900(H)	1000(H)	1050H	900(H)- PC	1000(H)- PC	1050H- PC	100GE • 110GE	115GE • 125GE • 135GE	110GE- PC	125GE- PC • 135GE- PC	1060W
SRZ241 HST • KZT	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ261 HST • KZT	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ281 HST • KZT		45 kgx4	45 kgx4		45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ241 ET	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ261 ET	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ281 ET		45 kgx4	45 kgx4		45 kgx6	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4

^{※1} H仕様の場合は、()内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

■ヤンマーホールディングス株式会社

トラクタ型式				YT			
トラグダ空丸	498R	4104R	498RD	4104RD	5114R	5114RD	5114RC
SRZ241 HST • KZT	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx2	50 kgx6	50 kgx8
SRZ261 HST • KZT	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRZ281 HST • KZT	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRZ241 ET	50 kgx4	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx4	50 kgx6	50 kgx8
SRZ261 ET	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8
SRZ281 ET	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx10

^{※2} フロントウェイト台をオプションのウェイト台(最大 50 kg x 14 枚搭載)に変更のこと。

■井関農機株式会社

		T.	JV		T.	JX	TJ	W	TA-C	
トラクタ型式	885	985	885C	985C	873 (WX 以外)	973 (WX 以外)	1153 • 1233	1153C • 1233C • 1303C	1130	1380
SRZ241 HST • KZT	-	-	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	-	-	50 kgx8	-
SRZ261 HST • KZT	-	-	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3 (4) ※ 3	45 kgx3 (4) ※ 3	-	-	50 kgx8	-
SRZ281 HST • KZT	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	45 kgx4	45 kgx4	-	-	50 kgx8	-
SRZ241 ET	-	-	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3 (4) ※ 3	45 kgx3 (4) ※ 3	-	-	50 kgx8	-
SRZ261 ET	-	-	45 kgx2	45 kgx2		45 kgx3 (4) ※ 3	-	-	50 kgx8	-
SRZ281 ET	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	45 kgx4 (5) ※ 3	45 kgx4 (5) ※ 3	-	45 kgx1	50 kgx10	-

^{※3} 安全フレーム仕様の場合は、()内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

		GV			GVK		G	R	GCR	
トラクタ型式	900(H)	1000(H)	1050H	900(H)	1000(H)	1050H	100F • 110F	115F • 125F • 135F	1130	1380
SRZ241 HST • KZT	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx6 (4) ※ 7	45 kgx4	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	-	50 kgx8	-
SRZ261 HST • KZT	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	-	50 kgx8	-
SRZ281 HST • KZT		45 kgx6	45 kgx6		45 kgx10 (8) ※ 7	45 kgx8	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx8	-
SRZ241 ET	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx8	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	-	50 kgx8	-

		GV			GVK			R	GCR	
トラクタ型式	900(H)	1000(H)	1050H	900(H)	1000(H)	1050H	100F • 110F	115F • 125F • 135F	1130	1380
SRZ261 ET	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx10 (8) ※ 7	45 kgx10 (8) ※ 7	45 kgx8	45 kgx4	-	50 kgx8	-
SRZ281 ET		45 kgx6	45 kgx6		45 kgx10	45 kgx8	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx10	-

^{※7} H仕様の場合は、()内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

SRZ-2L

■株式会社クボタ

			N	IR					М		
トラクタ 型式	900(H)	1000(H)	1050H	900(H)- PC	1000(H)- PC	1050H- PC	100GE • 110GE	115GE • 125GE • 135GE	110GE-PC	125GE-PC • 135GE-PC	1060W
SRZ241 HS • KZ	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx4	-		45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ261 HS • KZ	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ281 HS • KZ		45 kgx4	45 kgx4		45 kgx6	45 kgx6	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ301 HS • KZ		45 kgx4	45 kgx4		45 kgx8 (6) ※ 1	45 kgx6	-	-	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx6
SRZ351 HS • KZ		45 kgx6	45 kgx4		45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	-	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx6
SRZ241 E	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx4	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ261 E	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ281 E		45 kgx4	45 kgx4		45 kgx6	45 kgx6	-	-	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx4
SRZ301 E		45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx4		45 kgx8 (6) ※ 1	45 kgx6	-	-	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx6
SRZ281 J		45 kgx6 (4) ※ 1	45 kgx4		45 kgx8	45 kgx6	45 kgx4	-	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx6
SRZ301 J		45 kgx6	45 kgx4		45 kgx8	45 kgx8	45 kgx4	-	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6
SRZ351 J		45 kgx8	45 kgx6		45 kgx10	45 kgx10	45 kgx4	-	45 kgx8	45 kgx6	45 kgx8

^{※1} H仕様の場合は、()内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

■ヤンマーホールディングス株式会社

トラクタ型式		YT										
トノンダ空丸	498R	4104R	498RD	4104RD	5114R	5114RD	5114RC					
SRZ241 HS•KZ	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8					

	YT									
トラクタ型式 	498R	4104R	498RD	4104RD	5114R	5114RD	5114RC			
SRZ261 HS • KZ	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx10			
SRZ281 HS • KZ	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx10			
SRZ301 HS • KZ		50 kgx8		50 kgx8	50 kgx6	50 kgx10	50 kgx10			
SRZ351 HS • KZ		50 kgx8		50 kgx10	50 kgx8	50 kgx10				
SRZ241 E	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx8			
SRZ261 E	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx4	50 kgx8	50 kgx10			
SRZ281 E	50 kgx6	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx6	50 kgx8	50 kgx10			
SRZ301 E		50 kgx8		50 kgx10	50 kgx6	50 kgx10	50 kgx10			
SRZ281 J	50 kgx8	50 kgx8	50 kgx10	50 kgx10	50 kgx6	50 kgx10				
SRZ301 J		50 kgx8		50 kgx10	50 kgx6	50 kgx10				
SRZ351 J		50 kgx10		50 kgx10 ※ 2	50 kgx8	50 kgx12				

※ 2 フロントウェイト台をオプションのウェイト台 (最大 50 kg x 14 枚搭載) に変更のこと。

■井関農機株式会社

	VLT			XLT		TJW		TA-C		
トラクタ 型式	885	985	885C	985C	873 (WX 以外)	973 (WX 以外)	1153 • 1233	1153C • 1233C • 1303C	1130	1380
SRZ241 HS•KZ	-	-	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3 (4) ※ 3	45 kgx3 (4) ※ 3	-	-	50 kgx8	-
SRZ261 HS • KZ	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx1	50 kgx10	-
SRZ281 HS • KZ	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	45 kgx4 (5) ※ 3	45 kgx4 (5) ※ 3	-	45 kgx1	50 kgx10	-
SRZ301 HS • KZ		45 kgx2		45 kgx4		45 kgx5 (6) ※ 3	-	45 kgx2	50 kgx10	30 kgx1
SRZ351 HS • KZ		45 kgx4		45 kgx6		45 kgx7 (8) ※ 3	-	45 kgx4		30 kgx4
SRZ241 E	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx3 (4) ※ 3	45 kgx3 (4) ※ 3	-	-	50 kgx8	-
SRZ261 E	45 kgx1	45 kgx1	45 kgx3	45 kgx3	45 kgx4	45 kgx4	-	45 kgx1	50 kgx10	-
SRZ281 E	45 kgx2	45 kgx2	45 kgx4	45 kgx4	45 kgx5	45 kgx5	-	45 kgx1	50 kgx10	30 kgx1
SRZ301 E		45 kgx2		45 kgx4		45 kgx5 (6) ※ 3	-	45 kgx2	50 kgx10	30 kgx2
SRZ281 J	45 kgx3	45 kgx3	45 kgx5	45 kgx5	45 kgx6 (7) ※ 3	45 kgx6 (7) ※ 3	-	45 kgx3		30 kgx3
SRZ301 J		45 kgx4		45 kgx6		45 kgx7	-	45 kgx3		30 kgx4

		TJV			TJX		TJW		TA-C	
トラクタ 型式	885	985	885C	985C	873 (WX 以外)	973 (WX 以外)	1153 • 1233	1153C • 1233C • 1303C	1130	1380
SRZ351 J		45 kgx5		45 kgx7		45 kgx9	45 kgx1	45 kgx5		30 kgx7

^{※3} 安全フレーム仕様の場合は、()内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

	GV			GVK			GR		GCR	
トラクタ 型式	900(H)	1000(H)	1050H	900(H)	1000(H)	1050H	100F • 110F	115F • 125F • 135F	1130	1380
SRZ241 HS • KZ	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx4	45 kgx10	45 kgx10 (8) ※ 7	45 kgx8	45 kgx4	-	50 kgx8	-
SRZ261 HS • KZ	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx10	45 kgx10	45 kgx8	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx10	-
SRZ281 HS • KZ		45 kgx8	45 kgx6		45 kgx10	45 kgx10	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx10	-
SRZ301 HS • KZ		45 kgx8	45 kgx6		45 kgx10	45 kgx10	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx10	30 kgx1
SRZ351 HS • KZ		45 kgx10	45 kgx8		45 kgx12	45 kgx12	45 kgx6	45 kgx4		30 kgx4
SRZ241 E	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx10	45 kgx10 (8) ※ 7	45 kgx8	45 kgx4	-	50 kgx8	-
SRZ261 E	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx6	45 kgx10	45 kgx10	45 kgx10	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx10	-
SRZ281 E		45 kgx8	45 kgx6		45 kgx10	45 kgx10	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx10	30 kgx1
SRZ301 E		45 kgx8	45 kgx6		45 kgx12 (10) ※ 7	45 kgx10	45 kgx4	45 kgx4	50 kgx10	30 kgx2
SRZ281 J		45 kgx10 (8) ※ 7	45 kgx8		45 kgx12	45 kgx12	45 kgx6	45 kgx4		30 kgx3
SRZ301 J		45 kgx10	45 kgx8		45 kgx12	45 kgx12	45 kgx6	45 kgx4		30 kgx4
SRZ351 J		45 kgx12	45 kgx10		45 kgx14 ※ 8	45 kgx14 ※ 8	45 kgx8	45 kgx6		30 kgx7

^{※7} H仕様の場合は、()内のフロントウェイト枚数を装着のこと。

^{※8} ウェイト台オプション (最大 45 kg x 14 枚搭載) により指定枚数を装着のこと。

異常診断一覧表

使用中あるいは使用後の点検時に下表の異常が発生した場合、そのままにしておきますと故障、事故の原因と なります。

再使用せず、直ちに対策を行ってください。

本体各部	 	原 因	対策
		ベアリングの損傷	ベアリング交換
	異音の発生	ギヤーの損傷	ピニオンギヤーとベベルギ ヤーをセットで交換
		ギヤー同士のかみ合い不良	シムで調節
		入力軸:軸受け部オイルシールの損傷	オイルシール交換
ギヤー ケース	オイル漏れ	パッキンの劣化、損傷	パッキン交換
		カバー取付けボルトの緩み	ボルト増締め
		オイル量の不足	オイル補給
	異常な高温の	ベアリングの損傷	ベアリング交換
	発生 	耕深が深く、車速が速いなど負荷が 大きい	耕深を浅く、車速を遅くする
		チェンの破損	チェン交換
	異音の発生	テンショナの破損	テンショナ交換
		スプロケットの損傷	スプロケット交換
		ベアリングの損傷	ベアリング交換
チェン ケース	オイル漏れ	フローティングシール、O リング、 パッキンの劣化、損傷	フローティングシール、O リ ング、パッキン交換
		カバー取付けボルトの緩み	ボルトの増締め
		オイル量の不足	オイル補給
	異常な高温の 発生	ベアリングの損傷	ベアリング交換
		耕深が深く、車速が速いなど負荷が 大きい	耕深を浅く、車速を遅くする
	カバーゴムの 破損	耕うん時の石礫などによる損傷	カバーゴム交換
	エプロン作動	エプロンヒンジ部のセンターが 出ていない	ボルトを緩めて調節
	不良	可動部グリス切れ	グリス塗布
フレーム	ハネアゲロックピン の破損	エプロンをはね上げロック状態にした	ハネアゲロックピンの交換
	コンプレッション ロッドの曲がり	ままでの耕うん作業・路上走行	コンプレッションロッドの 交換
	クイックアシストの 作動不良	可動部グリス切れ	グリス塗布

本体各部	虚	原 因	対策			
		軸受け部のベアリングの損傷	ベアリング交換			
	異音の発生	耕うん爪取付けボルトの緩み	ボルト締付け			
		耕うん爪の変形によるカバーとの干渉	耕うん爪交換			
		耕うん軸の曲がり	耕うん軸交換			
	振動の発生	耕うん爪、爪軸へのワラ、草などの かかり	ワラ、草などの除去			
		耕うん爪の配列不良	爪配列の点検			
耕うん軸		チェンの切損	チェン交換			
がりん軸	軸回転不良	駆動軸の折損	駆動軸交換			
		ギヤーの破損	ギヤー交換			
	オイル漏れ	フローティングシール、軸付きシールの 損傷	フローティングシール、 軸付きシールの交換			
		パッキン、O リングの劣化、損傷	パッキン、O リング交換			
	残耕の発生	耕うん爪の摩耗、折損	耕うん爪交換			
	がる新り、光土	耕うん爪の配列不良	爪配列の点検			
	異常な土寄りの発生	耕うん爪の配列不良	爪配列の点検			
		グリス切れ	グリスアップ			
	異音の発生	ジョイント折れ角が不適格	マッチング姿勢の矯正			
ジョイント		作業機の上げすぎ	リフト量の規制			
	たわみ発生	シャフトのかみ合い幅不足	長いものと交換			
	スプライン部のガタ	ノックピンとヨークの摩耗	交換			

発棄について

廃棄物などの不適切な処理は、法律により処罰されることがあります。保守時に発生した廃棄物の処置は、適 切な処理をしてください。

この作業機やその保守時に発生する廃棄物の処分 は、国、または地方行政の法令の規制対象となるも のがあります。

廃棄する際は、国または地方行政の法令に従い産業 廃棄物処理業者に依頼するなど適切な処理をしてく ださい。

⚠ 注 意



この作業機やその保守時に発生した廃棄 物を廃棄するときは、国または地方行政 の法令に従ってください。

* 間違った廃棄を行うと、作業機からオイル が漏れ、川・海に流れだし汚染することが あります。

ガススプリングの廃棄方

⚠ 危 険



ガススプリングはガスを抜いてから廃棄 してください。

必ず実行 窒素ガスが高圧で封入しています。

*爆発によりケガをする恐れがあります。



ガススプリングのガスを抜くときは以下 を守ってください。

必ず実行・押しつぶさない

- 火に入れない
- ・指定の場所以外に孔を開けない
- 切断しない
- *爆発によりケガをする恐れがあります。



ガススプリングの孔を開ける順番を必ず 守ってください

必ず実行

* 爆発によりケガをする恐れがあります。

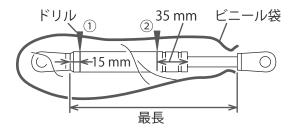
⚠ 注 意



ガススプリングはビニール袋をかぶせて から孔を開けてください。

必ず実行 ビニール袋を使用しない場合は、メガネ をかけて作業してください。

- * オイルや切粉が飛び、目に入る恐れがあ ります。
- 1 ビニール袋をかぶせ、その上から2~3 mm のドリルで①に孔を開けます。



- ガス・オイルを抜きます。
- ドリルで②の孔を開けます。
- ガススプリングを廃棄します

用語解説

ここでは用語について解説します。

お知らせ

• この取扱説明書に記載していない用語もありま す。

アタッチメント

作業機に後付けする部品

オートヒッチ

ワンタッチで作業機を装着できるヒッチ

クリープ

超低速の作業速度

耕深

耕うんする深さ

3点リンク

トラクタに作業機を装着するための3点で支持を 行うリンク

トップリンク

作業機を装着する3点のリンクのうち、作業機の 上部を吊り下げているリンク

ロアリンク

作業機を装着する3点リンクのうち、作業機の下 部を吊り下げているリンクで、左右1本ずつある

チェックチェン

トラクタに対し作業機が左右に振れる量を規制す るチェン

揚力

トラクタが作業機を上昇させるための力

ジョイント

トラクタの動力を作業機へ伝達するための軸

リフトロッド

トラクタが作業機を上げるためロアリンクと連結 しているアーム

ポジションコントロールレバー

作業機を上げ下げするために使用するレバー

MEMO



小橋工業株式会社

〒701-0292 岡山市南区中畦684 インターネットでも弊社の情報がご覧いただけます。 http://www.kobashiindustries.com

■北海道営業所 〒071-1248 北海道上川郡鷹栖町8線西2号6番 ☎(0166)49-0070 ■東北営業所 〒024-0004 岩手県北上市村崎野13地割35-1 ☎(0197)71-1160 ■関東営業所 〒321-3325 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台47-1 ☎(028)687-1600 ■岡山営業所 〒701-0165 岡山市北区大内田727 ☎(086)250-1833 ■九州営業所 〒861-2236 熊本県上益城郡益城町広崎1586-8 2F ☎(096)286-0202